

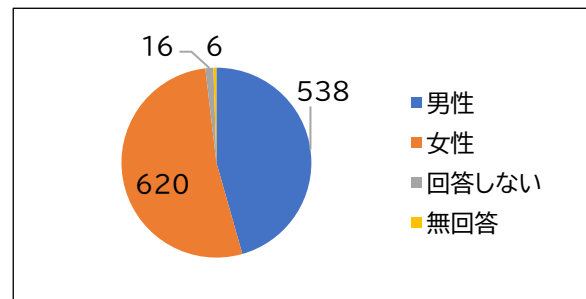
地域福祉に係る市民アンケート調査結果

- 【対象者】 無作為に抽出した 20 歳以上の市民 3,000 人
 【実施時期】 令和5年12月(回答期限:令和6年1月19日)
 【回収数】 1180 件(オンライン 210 件、郵送 970 件)
 【回収率】 39.3%

あなたのことについてお答えください。(令和5年12月1日時点)

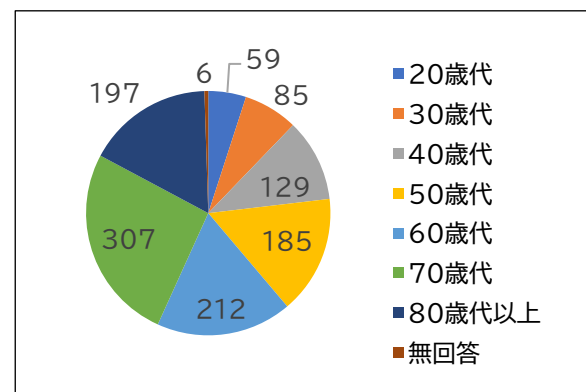
問1 性別を教えてください。(いずれか1つに○)

1	男性	538 人
2	女性	620 人
3	回答しない	16 人
4	無回答	6 人



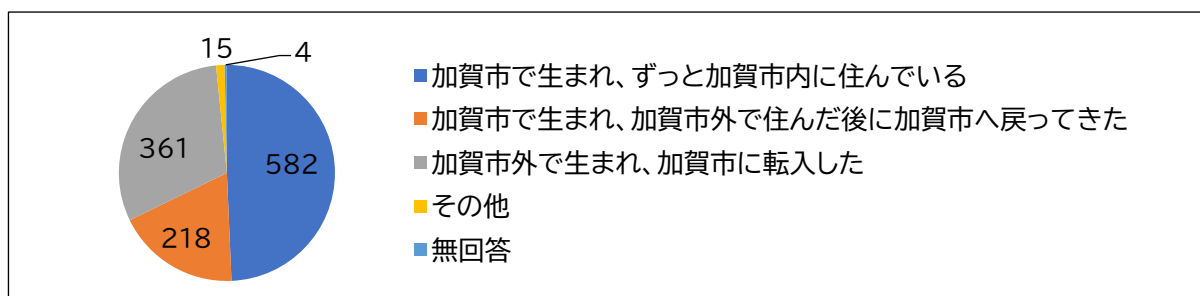
問2 年齢を教えてください。(いずれか1つに○)

1	20歳代	59 人
2	30 歳代	85 人
3	40 歳代	129 人
4	50 歳代	185 人
5	60 歳代	212 人
6	70 歳代	307 人
7	80 歳代以上	197 人
8	無回答	6 人



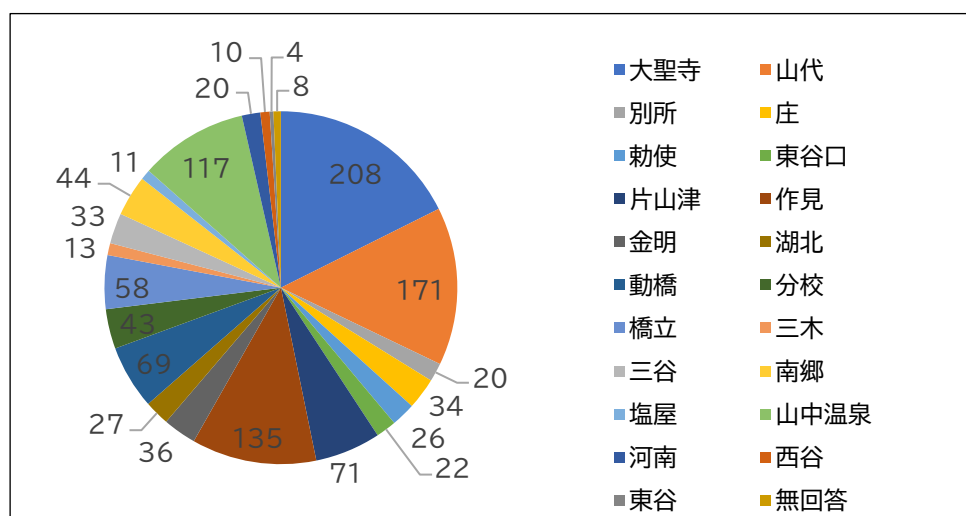
問3 加賀市での居住について教えてください。(いずれか1つに○)

1	加賀市で生まれ、ずっと加賀市内に住んでいる	582 人
2	加賀市で生まれ、加賀市外で住んだ後に加賀市へ戻ってきた	218 人
3	加賀市外で生まれ、加賀市に転入した	361 人
4	その他	15 人
5	無回答	4 人



問4 お住まいの地区を教えてください。(いずれか1つに○)

1	大聖寺	208 人	2	山代	171 人	3	別所	20 人
4	庄	34 人	5	勅使	26 人	6	東谷口	22 人
7	片山津	71 人	8	作見	135 人	9	金明	36 人
10	湖北	27 人	11	動橋	69 人	12	分校	43 人
13	橋立	58 人	14	三木	13 人	15	三谷	33 人
16	南郷	44 人	17	塩屋	11 人	18	山中温泉	117 人
19	河南	20 人	20	西谷	10 人	21	東谷	4 人
22	無回答	8 人						

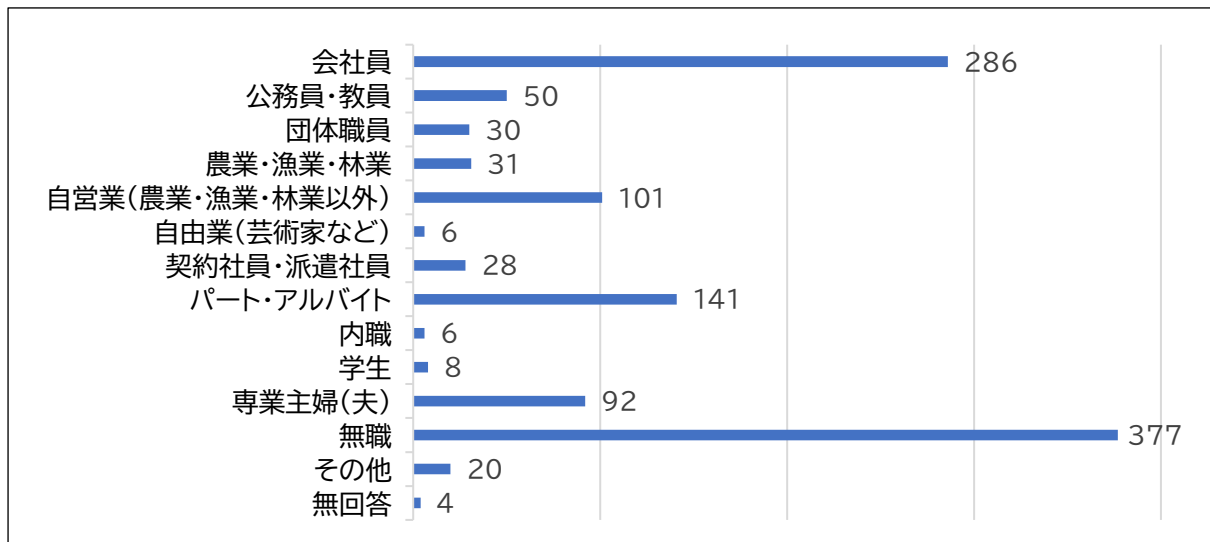


問5 職業を教えてください。(いずれか1つに○)

1	会社員	286 人	2	公務員・教員	50 人
3	団体職員	30 人	4	農業・漁業・林業	31 人
5	自営業(選択肢「4」以外)	101 人	6	自由業(芸術家など)	6 人
7	契約社員・派遣社員	28 人	8	パート・アルバイト	141 人
9	内職	6 人	10	学生	8 人
11	専業主婦(夫)	92 人	12	無職	377 人
13	その他	20 人	14	無回答	4 人

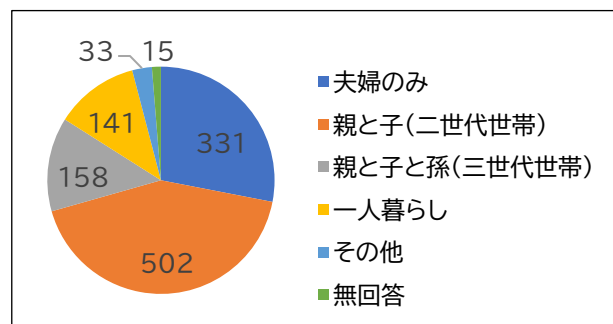
その他

- ・障害者施設通所
- ・施設入所中
- ・会社役員



問6 家族構成を教えてください。(いずれか1つに○)

1	夫婦のみ	331人
2	親と子(二世帯世帯)	502人
3	親と子と孫(三世帯世帯)	158人
4	一人暮らし	141人
5	その他	33人
6	無回答	15人

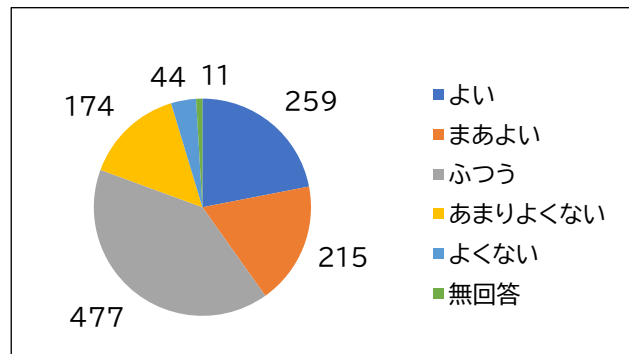


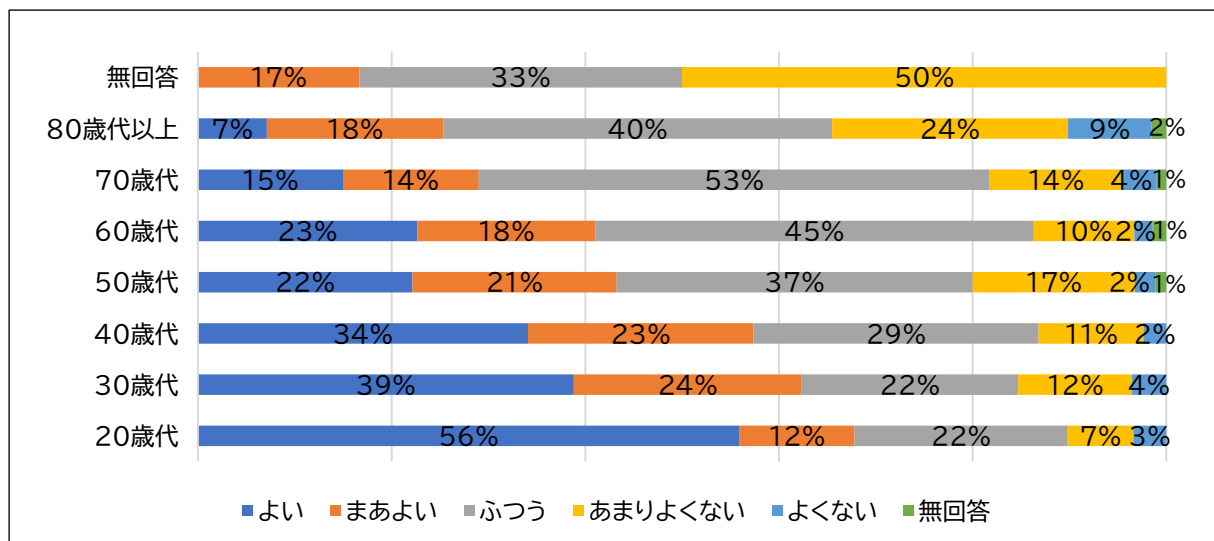
その他

- ・夫婦と孫
- ・4世代
- ・家主と同居
- ・特別養護老人ホーム入所
- ・姉(妹)と二人暮らし

問7 あなたの現在の健康状態を教えてください。(いずれか1つに○)

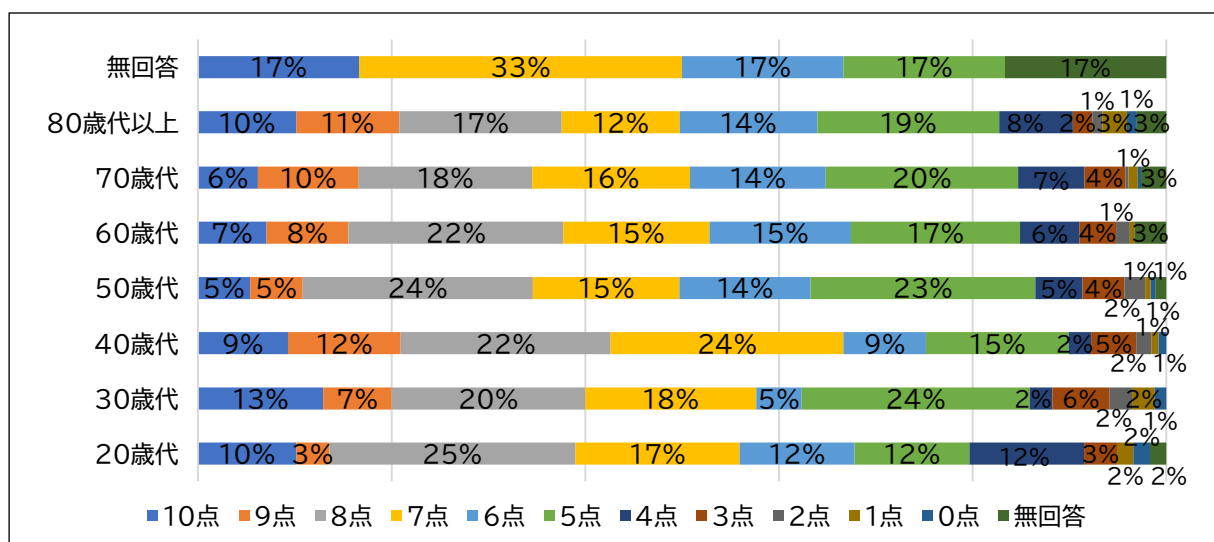
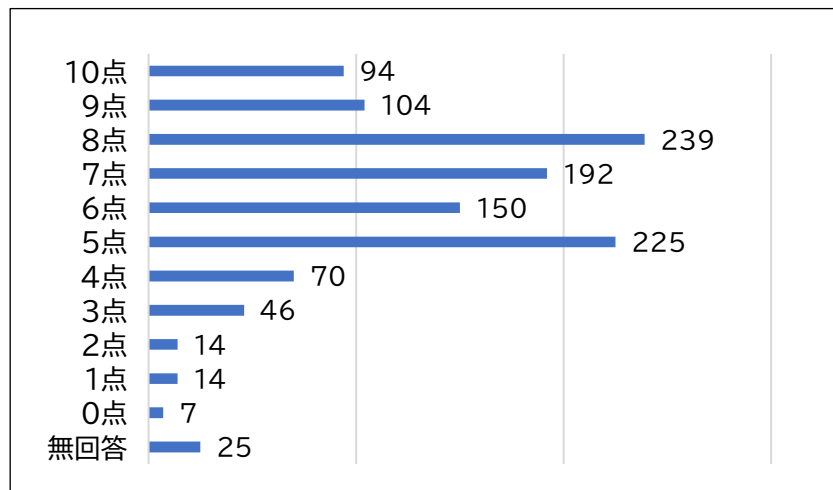
1	よい	259人
2	まあよい	215人
3	ふつう	477人
4	あまりよくない	174人
5	よくない	44人
6	無回答	11人





問8 あなたの現在の幸福度を教えてください。(いずれか1つに○)
 ※「とても不幸」を0点、「とても幸福」を10点とします。

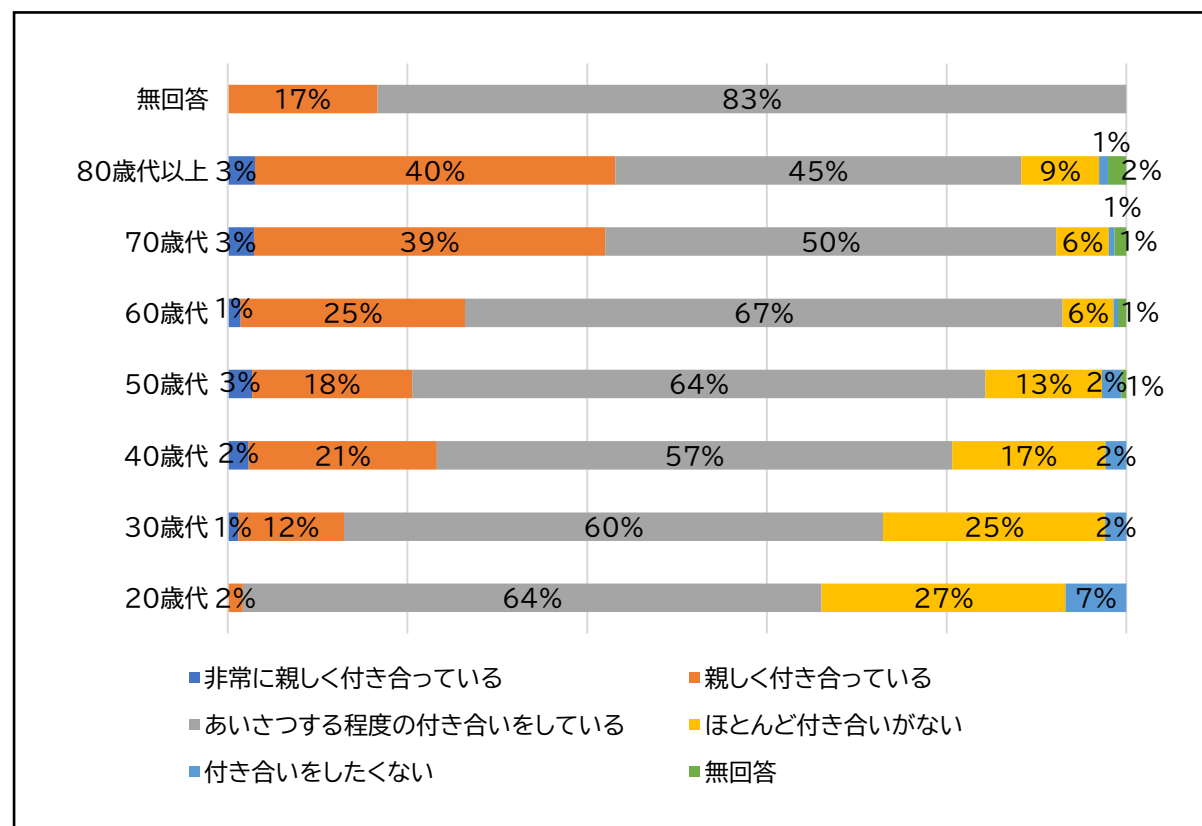
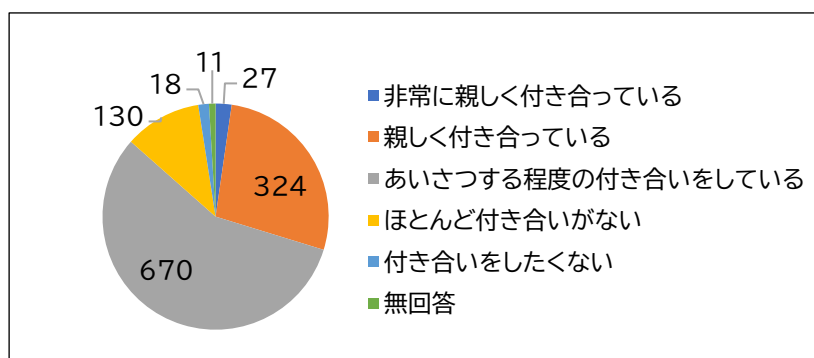
10	94 人
9	104 人
8	239 人
7	192 人
6	150 人
5	225 人
4	70 人
3	46 人
2	14 人
1	14 人
0	7 人
無回答	25 人



あなたのご近所との関わりや地域福祉についてお答えください。

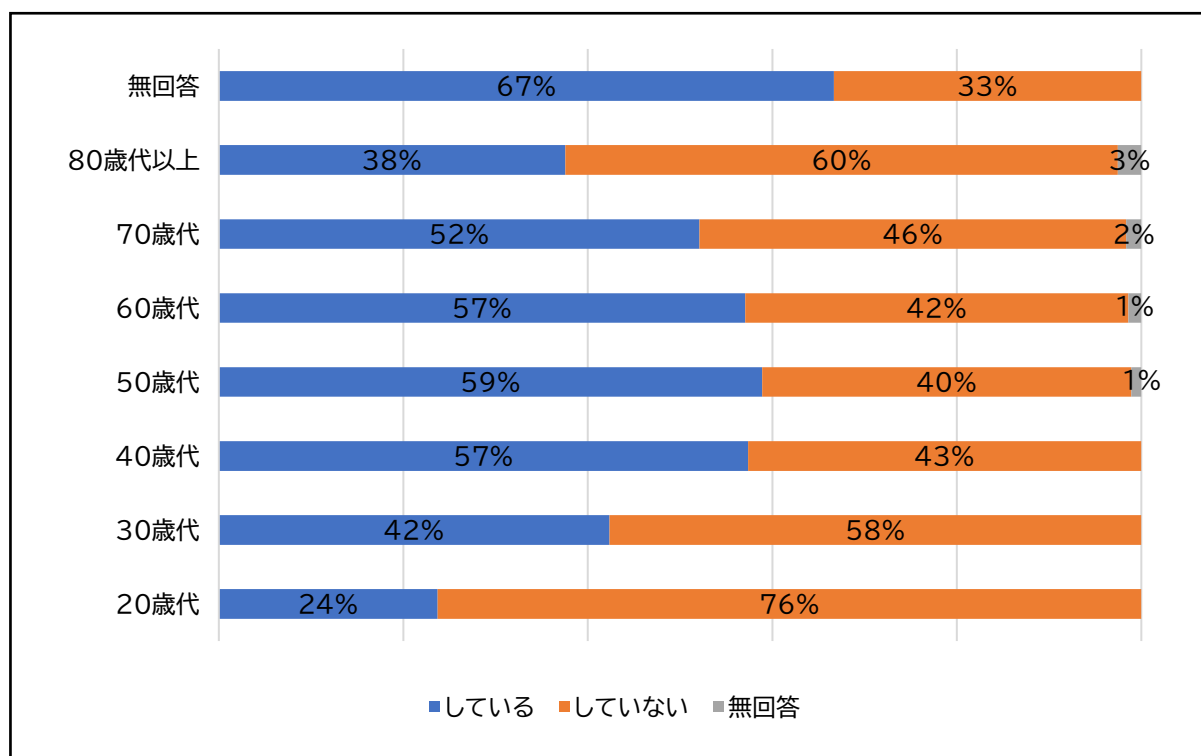
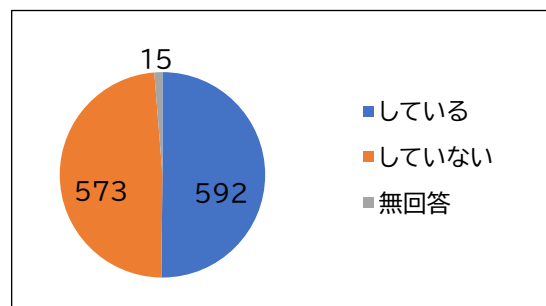
問9 あなたは近所の人とどの程度お付き合いがありますか。(最も近いもの1つに○)

1	非常に親しく付き合っている	27 人
2	親しく付き合っている	324 人
3	あいさつする程度の付き合いをしている	670 人
4	ほとんど付き合いがない	130 人
5	付き合いをしたくない	18 人
6	無回答	11 人



問 10 あなたは、お住まいの地域(町内や地区)の様々な住民活動(清掃活動や祭り、子ども会、PTA など)へ、現在参加していますか。(いずれか1つに○)

1	している	592 人
2	していない	573 人
3	無回答	15 人

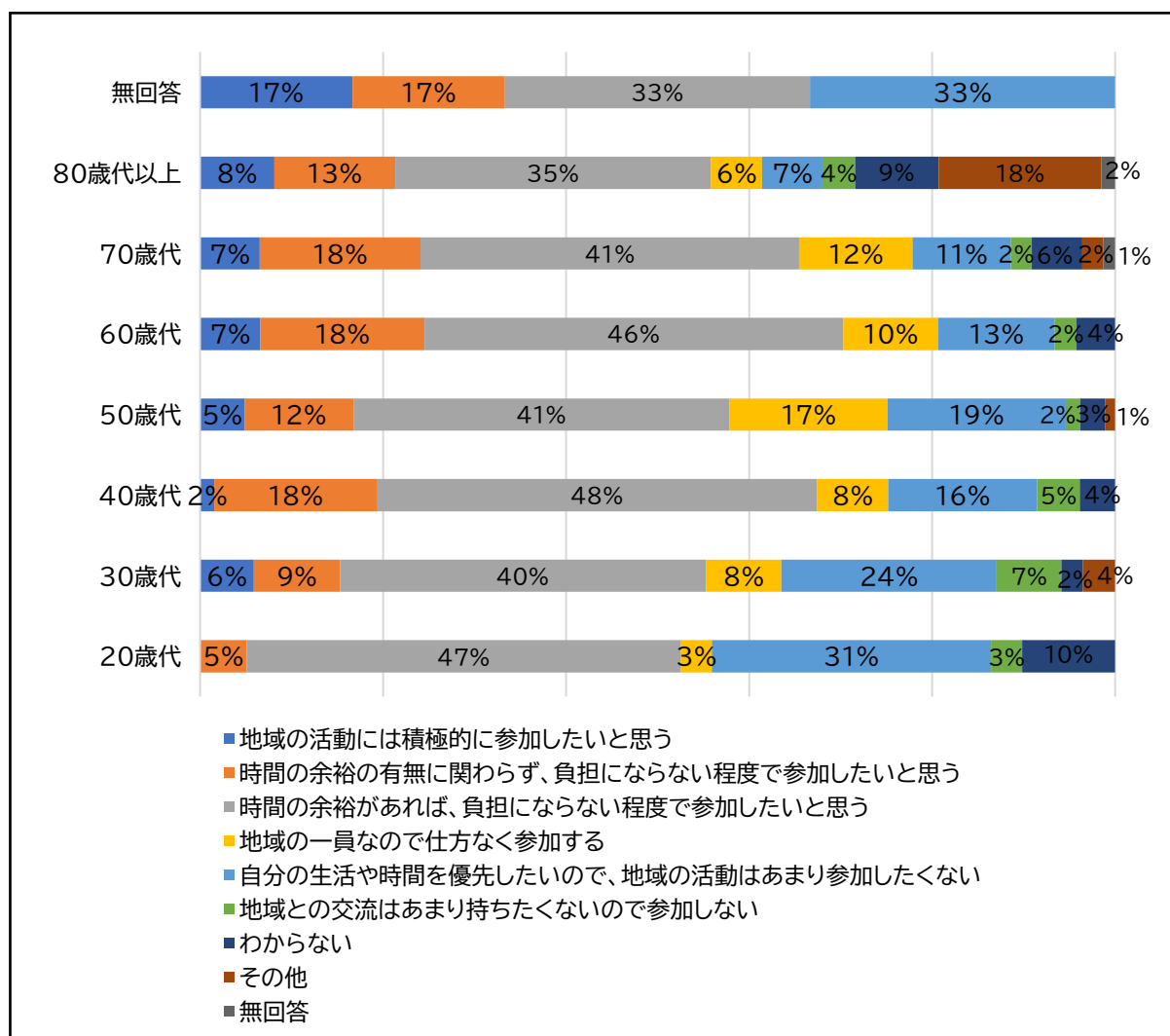
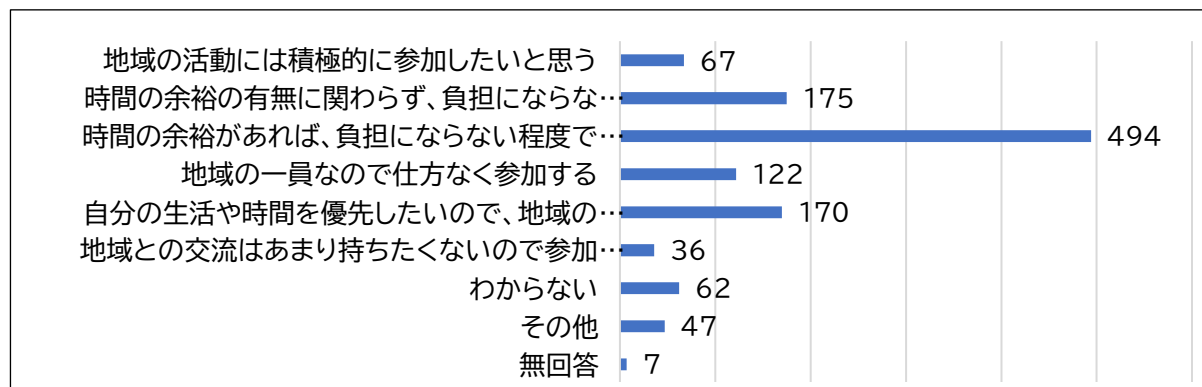


問 11 あなたは、お住まいの地域の様々な住民活動への参加について、どのように感じていますか。(最も近いもの1つに○)

1	地域の活動には積極的に参加したいと思う	67 人
2	時間の余裕の有無に関わらず、負担にならない程度で参加したいと思う	175 人
3	時間の余裕があれば、負担にならない程度で参加したいと思う	494 人
4	地域の一員なので仕方なく参加する	122 人
5	自分の生活や時間を優先したいので、地域の活動はあまり参加したくない	170 人
6	地域との交流はあまり持ちたくないので参加しない	36 人
7	わからない	62 人
8	その他	47 人
9	無回答	7 人

その他

- ・体が不自由なので参加はしたくない
- ・高齢の為、体を動かすのがやっとで、地域の活動に参加できない。
- ・障害者なので出来ない
- ・男の方の参加がほとんどで、人見知りの私は出にくい。
- ・事故後、体調が悪く迷惑になりそうで出にくい
- ・独身のためあまり参加していない。

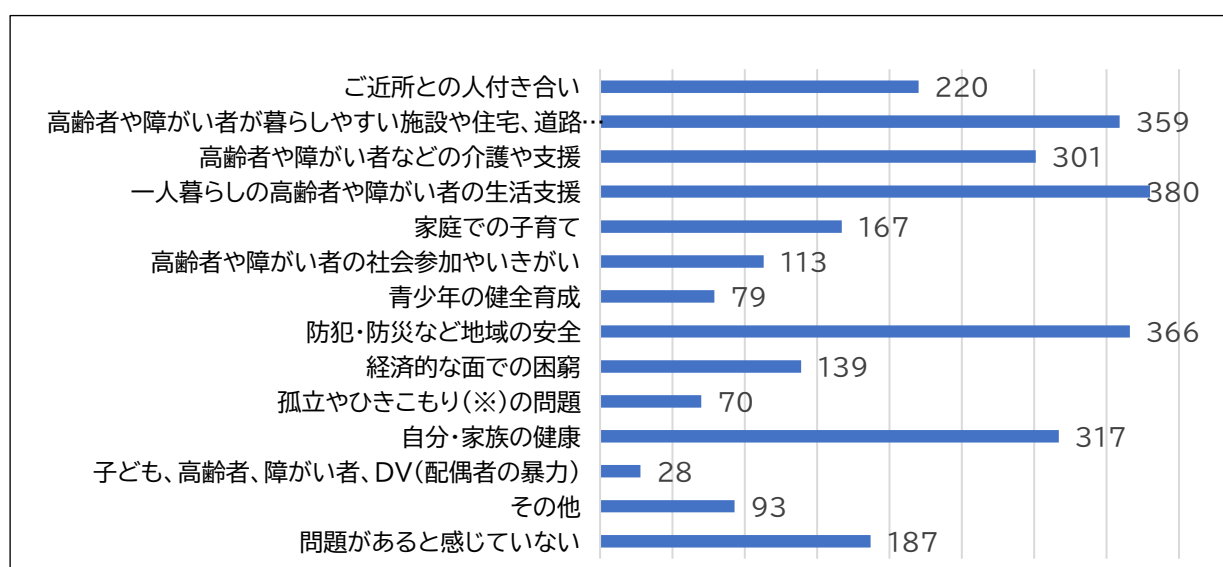


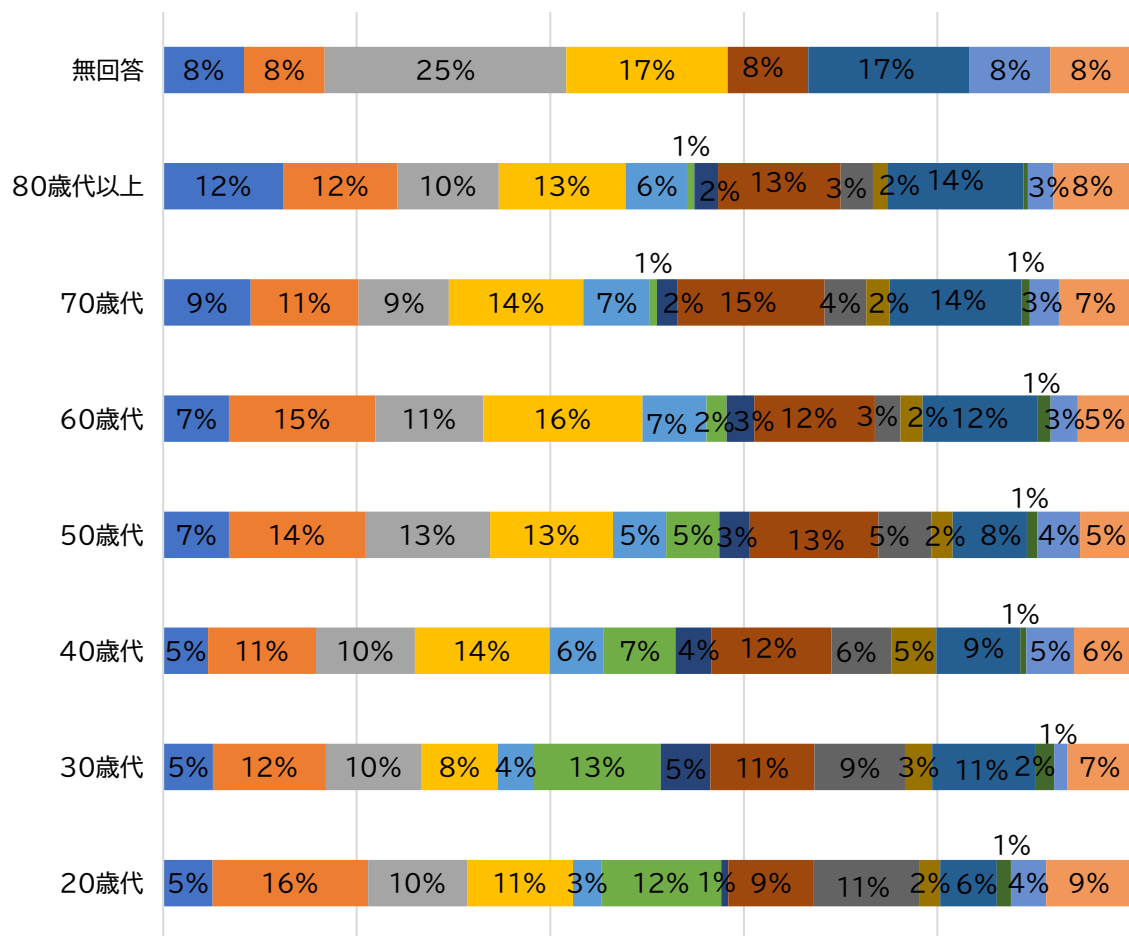
問12 あなたがお住まいの地域には、どのような課題や問題があると感じていますか。(優先順位が高いもの3つに○)

1	ご近所との人付き合い	220
2	高齢者や障がい者が暮らしやすい施設や住宅、道路の整備	359
3	高齢者や障がい者などの介護や支援	301
4	一人暮らしの高齢者や障がい者の生活支援	380
5	高齢者や障がい者の社会参加やいきがい	167
6	家庭での子育て	113
7	青少年の健全育成	79
8	防犯・防災など地域の安全	366
9	経済的な面での困窮	139
10	孤立やひきこもりの問題	70
11	自分・家族の健康	317
12	子ども、高齢者、障がい者、DV(配偶者の暴力)	28
13	その他	93
14	問題があると感じていない	187

その他

- ・高齢者が増え、それを支える世代の負担
- ・高齢者が増え、それを支える世代の負担
- ・車がないと買い物に行けない(交通の便の悪さ)
- ・車の運転が出来なくなった時の買い物などの足がない
- ・子供、若者が少ない
- ・一人暮らしの高齢者が多く、今後、空家が多くなる心配
- ・外国人労働者の増加 日本の社会のルールを守る
- ・空き家が増えている問題





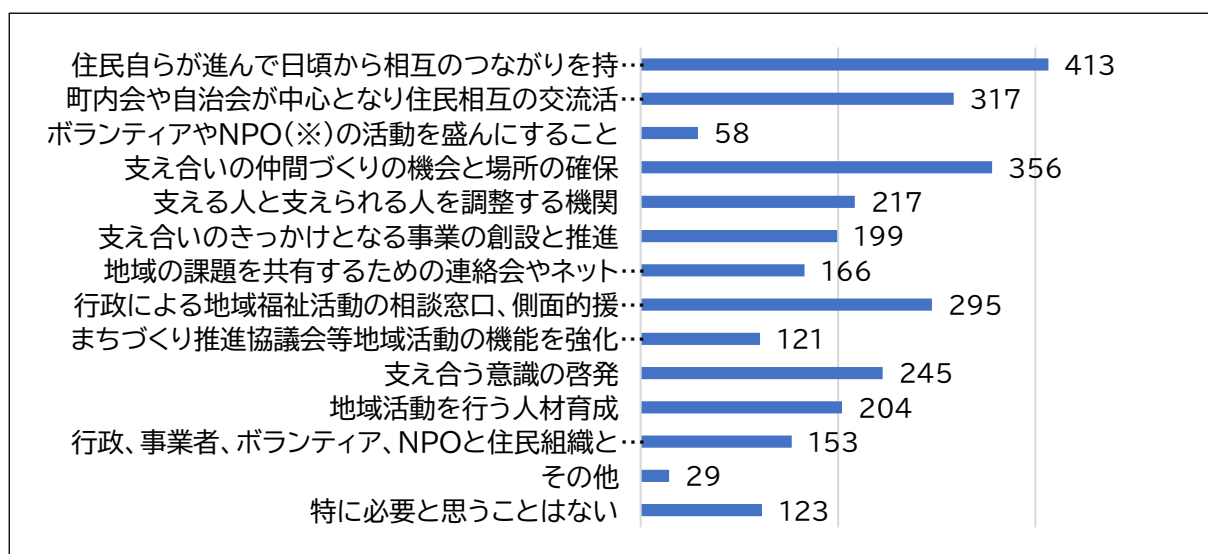
- ご近所との人付き合い
- 高齢者や障がい者が暮らしやすい施設や住宅、道路の整備
- 高齢者や障がい者などの介護や支援
- 一人暮らしの高齢者や障がい者の生活支援
- 高齢者や障がい者の社会参加やいきがい
- 家庭での子育て
- 青少年の健全育成
- 防犯・防災など地域の安全
- 経済的な面での困窮
- 孤立やひきこもり(※)の問題
- 自分・家族の健康
- 子ども、高齢者、障がい者、DV(配偶者の暴力)
- その他
- 問題があると感じていない

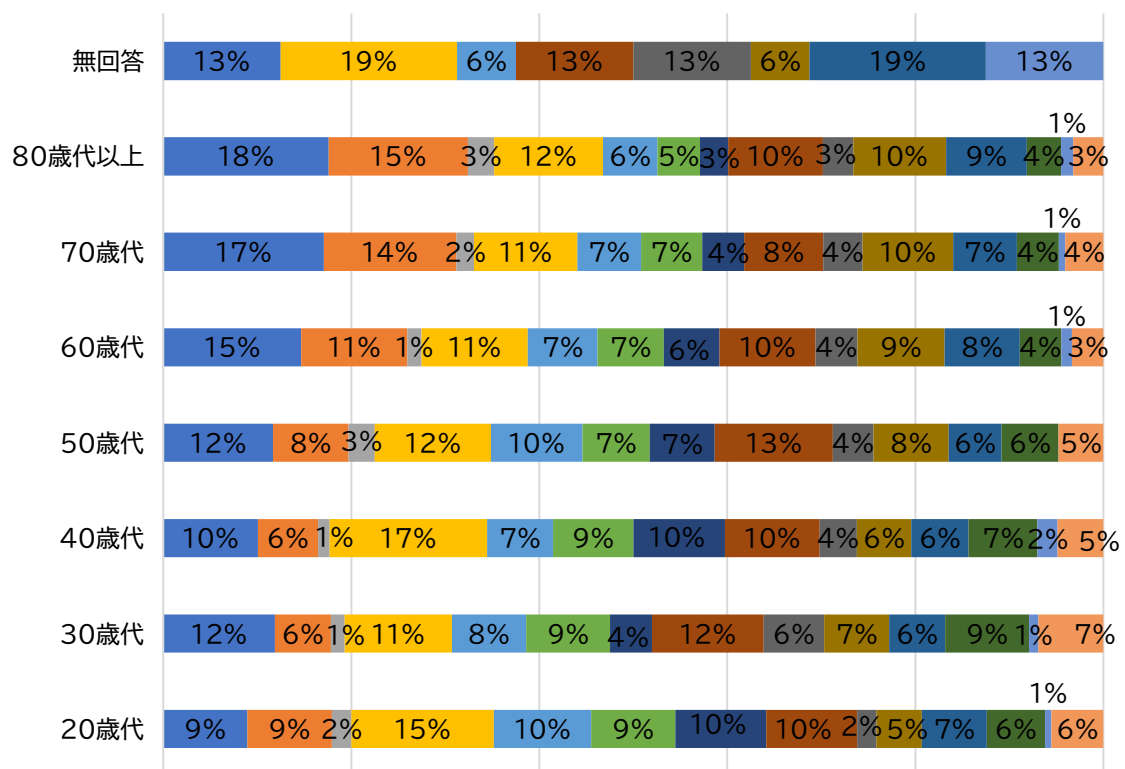
問 13 地域の住民が支え合って生活していく仕組みをつくるために、あなたが特に必要だと思うことはどのようなことですか。(優先順位が高いもの3つに○)

1	住民自らが進んで日頃から相互のつながりを持つように心がけること	413
2	町内会や自治会が中心となり住民相互の交流活動を積極的に進めること	317
3	ボランティアや NPO の活動を盛んにすること	58
4	支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保	356
5	支える人と支えられる人を調整する機関	217
6	支え合いのきっかけとなる事業の創設と推進	199
7	地域の課題を共有するための連絡会やネットワークの形成	166
8	行政による地域福祉活動の相談窓口、側面的援助の体制を充実すること	295
9	まちづくり推進協議会等地域活動の機能を強化すること	121
10	支え合う意識の啓発	245
11	地域活動を行う人材育成	204
12	行政、事業者、ボランティア、NPO と住民組織との連携	153
13	その他	29
14	特に必要と思うことはない	123

その他

- ・時間的な余裕が欲しい
- ・車がなくなると高齢者は本当に大変。お金のある人は金沢へ行ってしまう。
- ・若者を増やすこと、若い夫婦、家族世帯が増えること
- ・行政とまちづくり推進協議会と事業者、ボランティア、NPO、住民組織が連携すること
- ・町内会などが中心となりやっていくことが一番いいとは思いますが、現状、町内会も後齢になるとやりたがらない人が多く若い世代がしないといけなくなる。そうすると、働きながら、町内のこともとなると、負担が大きく、むずかしい。





- 住民自らが進んで日頃から相互のつながりを持つように心がけること
- 町内会や自治会が中心となり住民相互の交流活動を積極的に進めること
- ボランティアやNPO(※)の活動を盛んにすること
- 支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保
- 支える人と支えられる人を調整する機関
- 支え合いのきっかけとなる事業の創設と推進
- 地域の課題を共有するための連絡会やネットワークの形成
- 行政による地域福祉活動の相談窓口、側面的援助の体制を充実すること
- まちづくり推進協議会等地域活動の機能を強化すること
- 支え合う意識の啓発
- 地域活動を行う人材育成
- 行政、事業者、ボランティア、NPOと住民組織との連携
- その他
- 特に必要と思うことはない

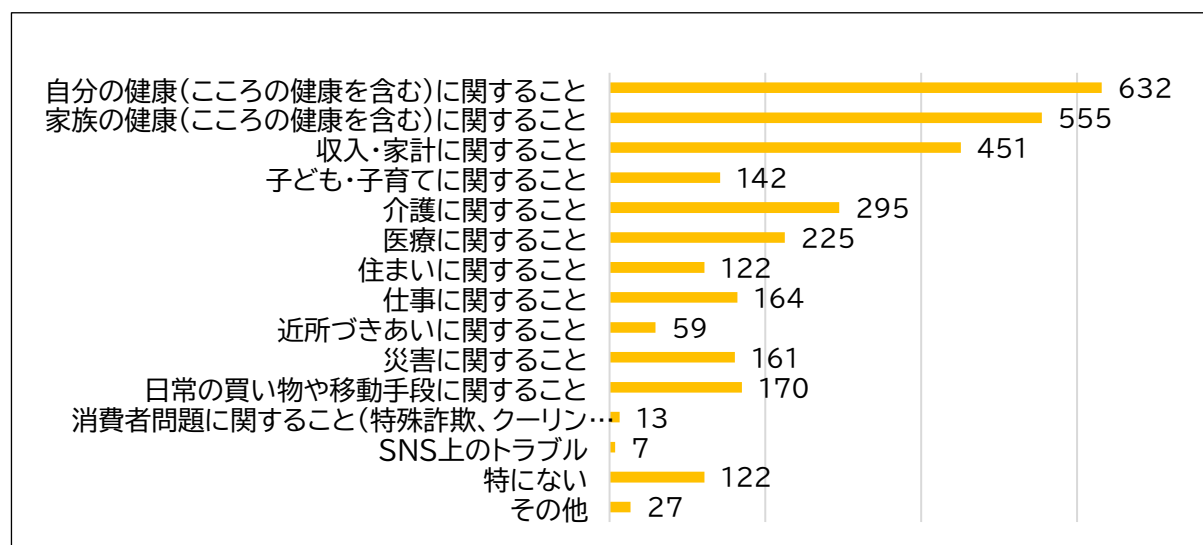
生活課題についてお答えください。

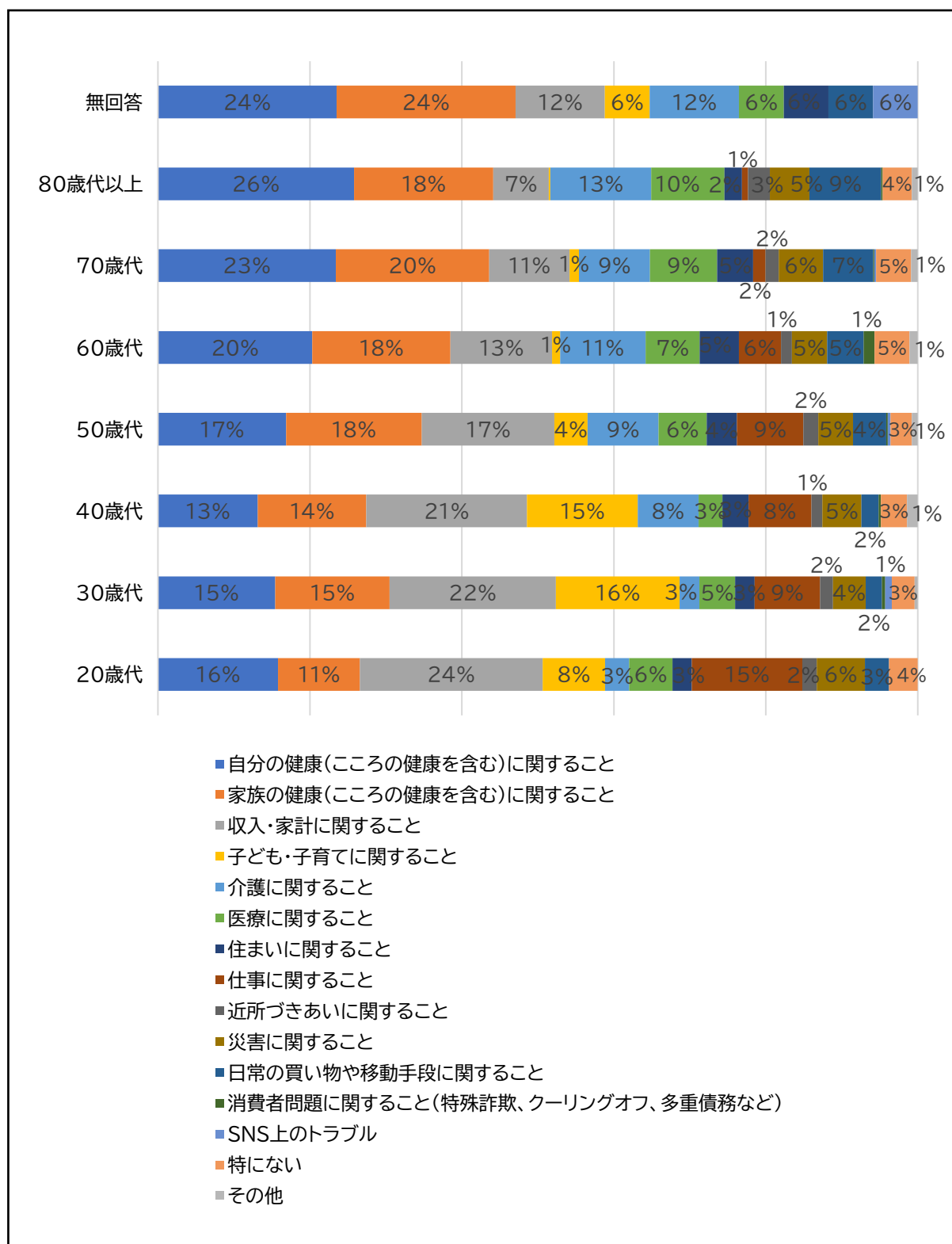
問 14 あなたは現在、日常生活を送る上で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。(優先順位が高いもの3つに○)

1	自分の健康(こころの健康を含む)に関すること	632
2	家族の健康(こころの健康を含む)に関すること	555
3	収入・家計に関すること	451
4	子ども・子育てに関すること	142
5	介護に関すること	295
6	医療に関すること	225
7	住まいに関すること	122
8	仕事に関すること	164
9	近所づきあいに関すること	59
10	災害に関すること	161
11	日常の買い物や移動手段に関すること	170
12	消費者問題に関すること(特殊詐欺、クーリングオフ、多重債務など)	13
13	SNS上のトラブル	7
14	特にない	122
15	その他	27

その他

- ・住居、田、畑じまいの事
- ・免許返納したら生活不能
- ・自分の老後のこと
- ・子供のクラスの親御さんとの関わり方
- ・将来の不安





問 15 あなたは、日常生活を送る上で困ったとき、誰に相談していますか。(優先順位が高いもの3つに○)

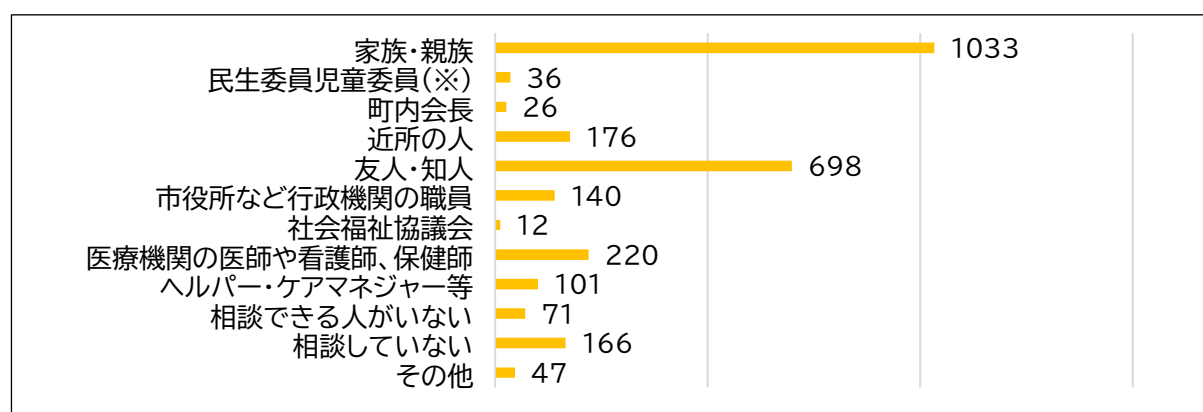
1	家族・親族	1033
2	民生委員児童委員	36
3	町内会長	26
4	近所の人	176
5	友人・知人	698
6	市役所など行政機関の職員	140
7	社会福祉協議会	12
8	医療機関の医師や看護師、保健師	220
9	ヘルパー・ケアマネジャー等	101
10	相談できる人がいない	71
11	相談していない	166
12	その他	47

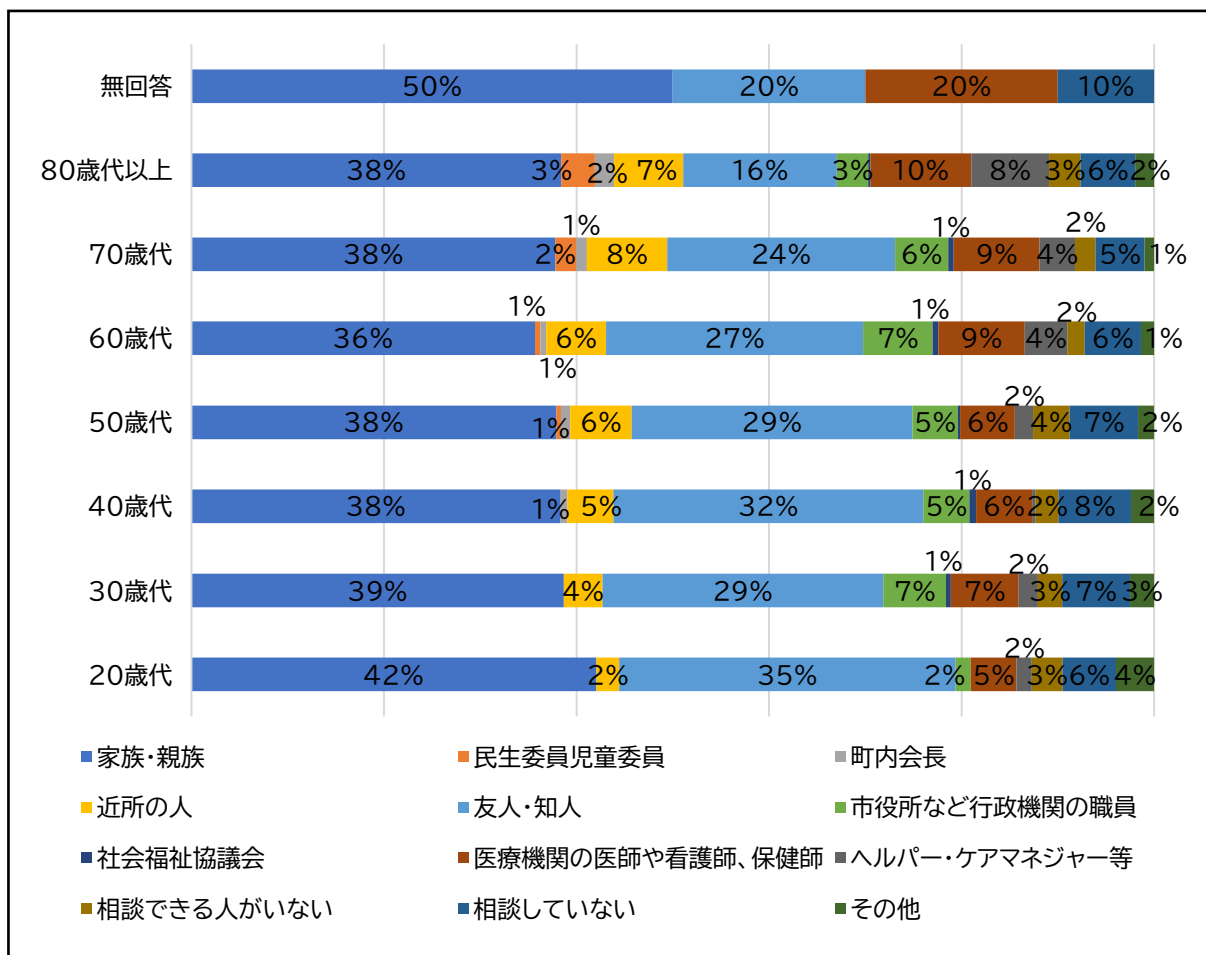
その他

- ・会社の同僚
- ・相談支援専門員
- ・相談しない
- ・会計士
- ・老人ホーム職員
- ・SNS

その他

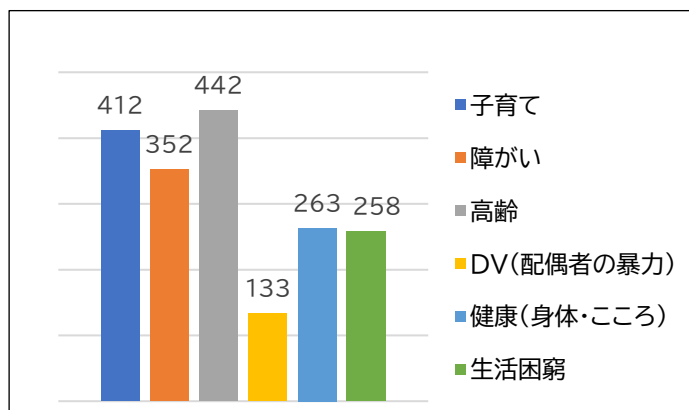
- ・会社の同僚
- ・相談支援専門員
- ・相談しない
- ・会計士
- ・老人ホーム職員
- ・SNS

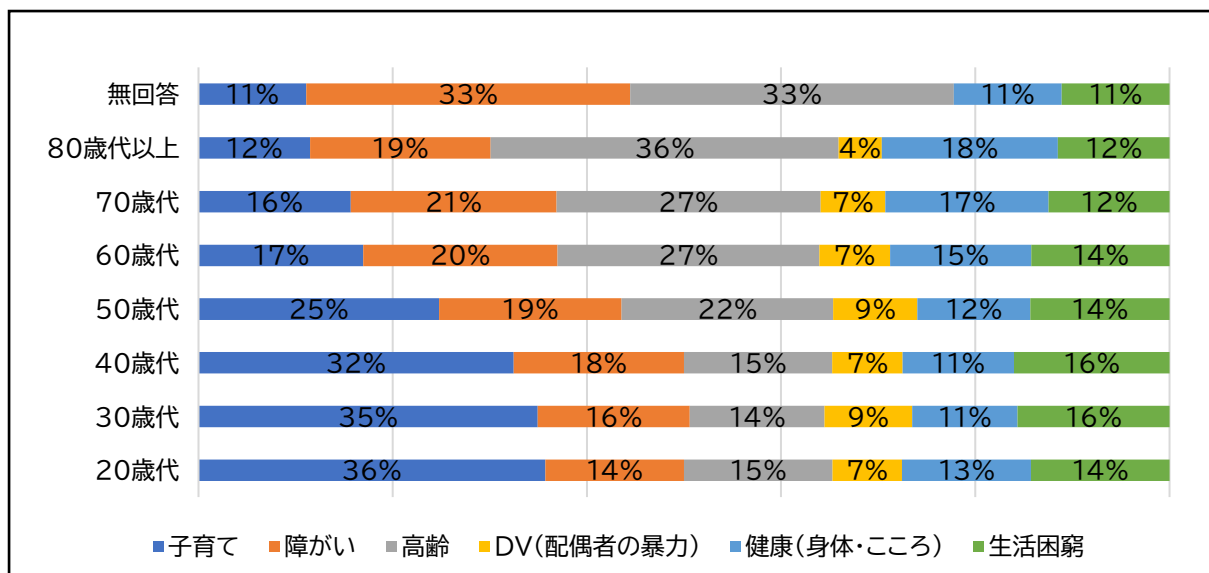




問 16 あなたは市の相談窓口を知っていますか。(知っている窓口に○)

1	子育て	412
2	障がい	352
3	高齢	442
4	DV(配偶者の暴力)	133
5	健康(身体・こころ)	263
6	生活困窮	258



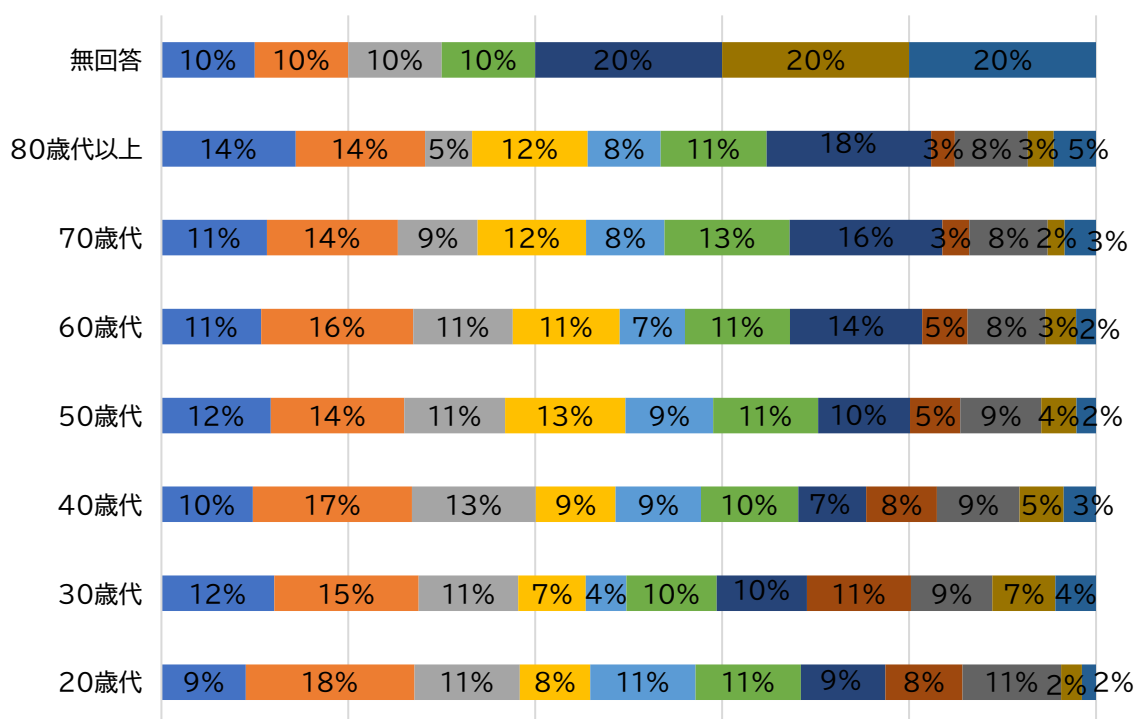
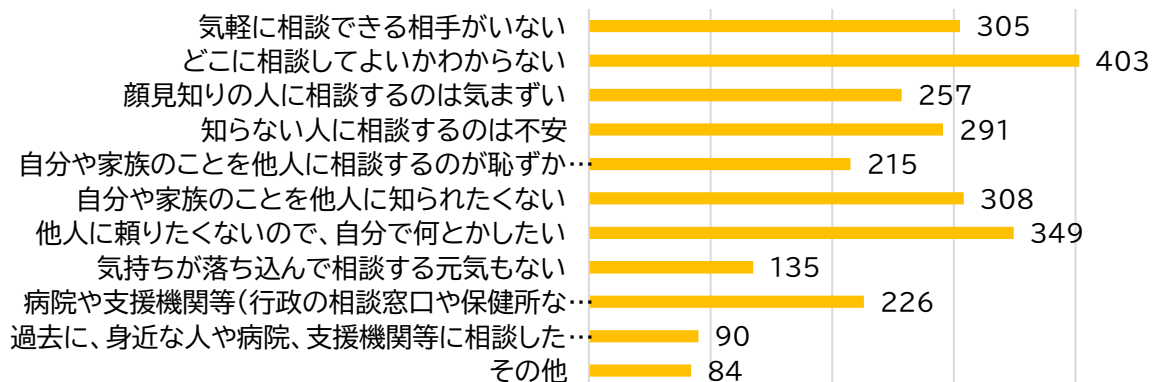


問 17 悩みやストレスを感じたときに、相談がしづらくなる(相談したくなくなる)ことがあるとしたら、その理由は何ですか。(優先順位が高いもの3つに○)

1	気軽に相談できる相手がいない	305
2	どこに相談してよいかわからない	403
3	顔見知りの人に相談するのは気まずい	257
4	知らない人に相談するのは不安	291
5	自分や家族のことを他人に相談するのが恥ずかしい	215
6	自分や家族のことを他人に知られたくない	308
7	他人に頼りたくないので、自分で何とかしたい	349
8	気持ちが落ち込んで相談する元気もない	135
9	病院や支援機関等(行政の相談窓口や保健所など)の専門家に相談したいが、ハードルが高く感じる	226
10	過去に、身近な人や病院、支援機関等に相談したが、解決しなかった(嫌な思いをした)	90
11	その他	84

その他

- ・悩みやストレスをあまり感じない。
- ・行政の相談窓口は気軽に相談できないイメージがある
- ・相談できる人がいるのでない
- ・内容に適切な相談相手を考えて進める
- ・町内でない方に相談します。
- ・お互いに性格を理解していない人には相談したくない
- ・本当に親身になってくれる気がしない
- ・相談して解決するか疑問



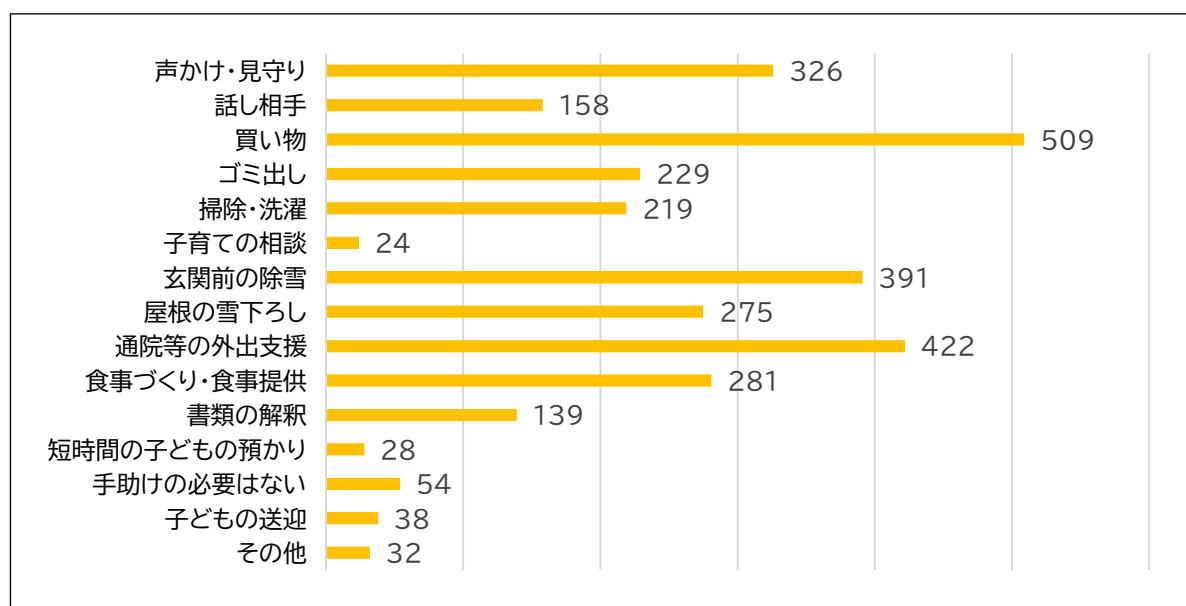
- 気軽に相談できる相手がない
- どこに相談してよいかわからない
- 顔見知りの人に相談するのは気まずい
- 知らない人に相談するのは不安
- 自分や家族のことを他人に相談するのが恥ずかしい
- 自分や家族のことを他人に知られたくない
- 他人に頼りたくないで、自分で何とかしたい
- 気持ちが落ち込んで相談する元気もない
- 病院や支援機関等(行政の相談窓口や保健所など)の専門家に相談したいが、ハードルが高く感じる
- 過去に、身近な人や病院、支援機関等に相談したが、解決しなかった(嫌な思いをした)
- その他

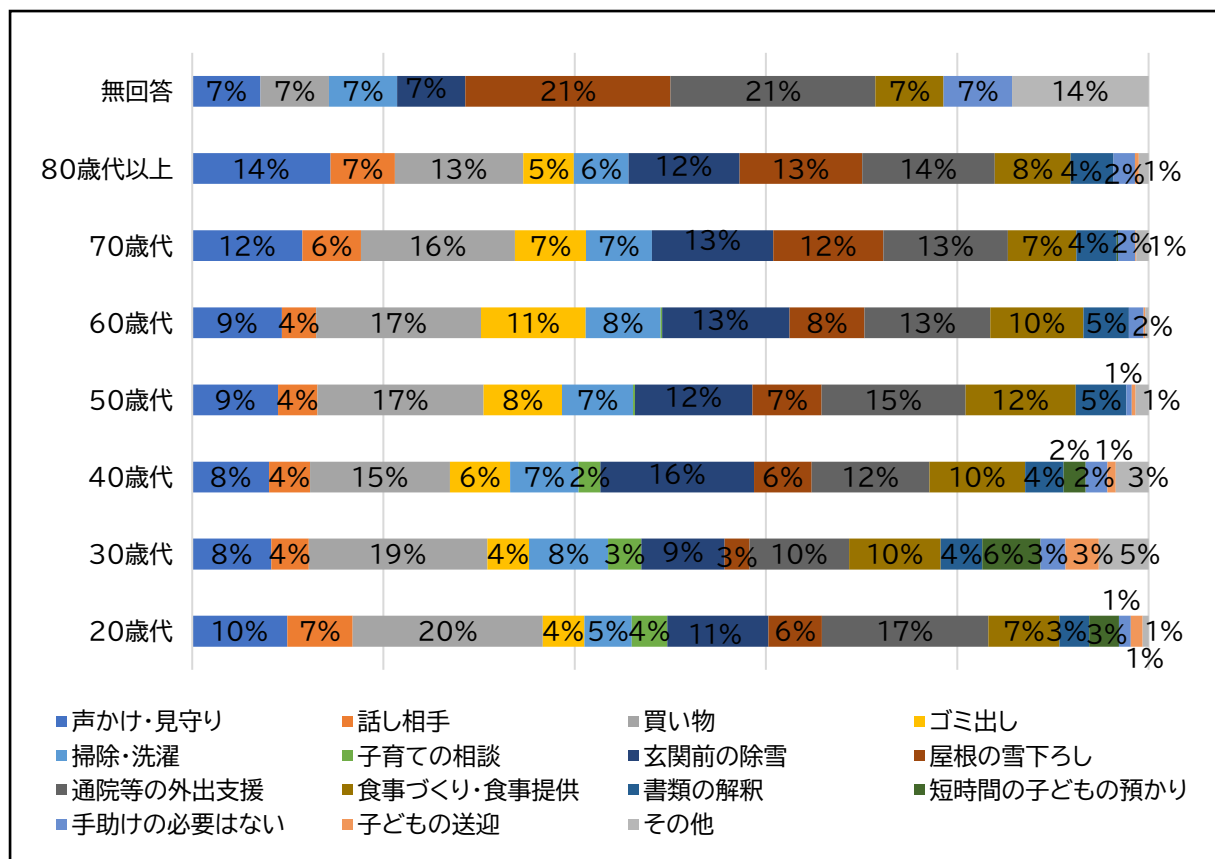
問 18 あなたは、自分が高齢や病気などで日常生活が不自由になった場合、地域の中で手助けしてほしいと思うことは、どのようなことですか。(優先順位が高いもの3つに○)

1	声かけ・見守り	326
2	話し相手	158
3	買い物	509
4	ゴミ出し	229
5	掃除・洗濯	219
6	子育ての相談	24
7	玄関前の除雪	391
8	屋根の雪下ろし	275
9	通院等の外出支援	422
10	食事づくり・食事提供	281
11	書類の解釈	139
12	短時間の子どもの預かり	28
13	手助けの必要はない	54
14	子どもの送迎	38
15	その他	32

その他

- ・全く思ったことがない
- ・子どもが近くに居るので、手伝ってくれると思います
- ・不自由がないので選択できない
- ・今の所、考えた事がない
- ・具体的にそうっていないので、想像できない。



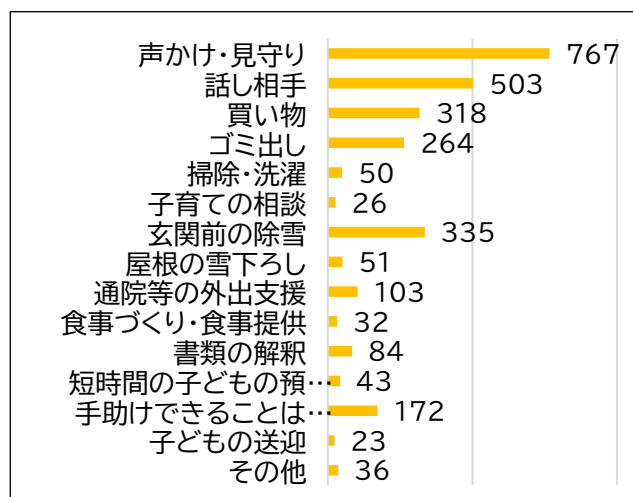


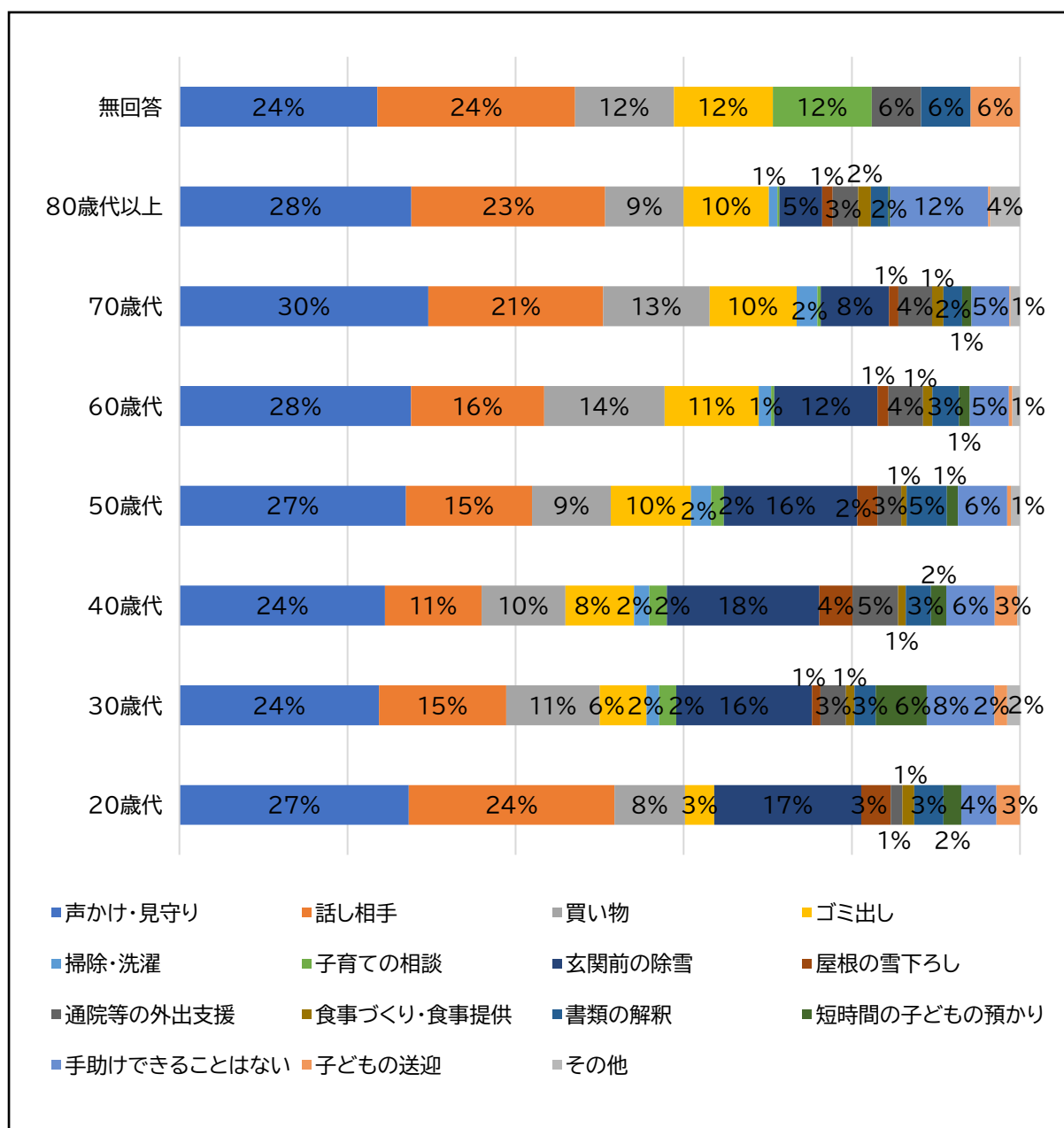
問19 地域で日常生活に困っている人がいる場合、あなたが手助けできるのは、どのようなことですか。(優先順位が高いもの3つに○)

1	声かけ・見守り	767
2	話し相手	503
3	買い物	318
4	ゴミ出し	264
5	掃除・洗濯	50
6	子育ての相談	26
7	玄関前の除雪	335
8	屋根の雪下ろし	51
9	通院等の外出支援	103
10	食事づくり・食事提供	32
11	書類の解釈	84
12	短時間の子どもの預かり	43
13	手助けできることはない	172
14	子どもの送迎	23
15	その他	36

その他

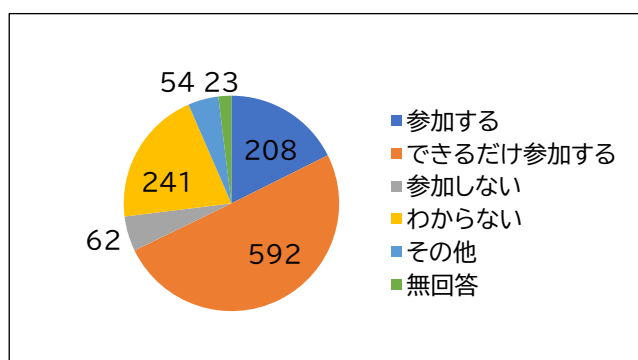
- ・自分のことでいっぱいいっぱい無理
- ・老齢のため人の世話まで考えられない
- ・身体が不自由なので手助けが出来ない
- ・手助けできる程の人間関係が出来ていない

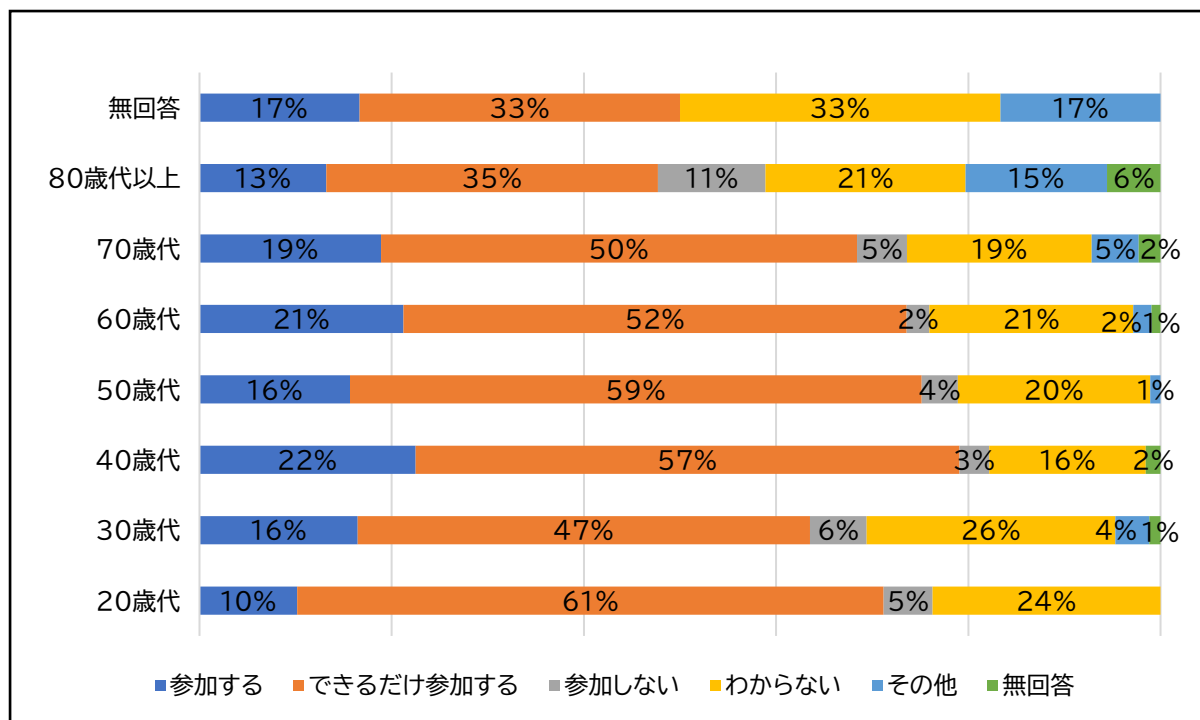




問 20 あなたの地域で災害が起こり、被災者がいれば救援・復旧活動に参加しますか。(最も近いものの1つに○)

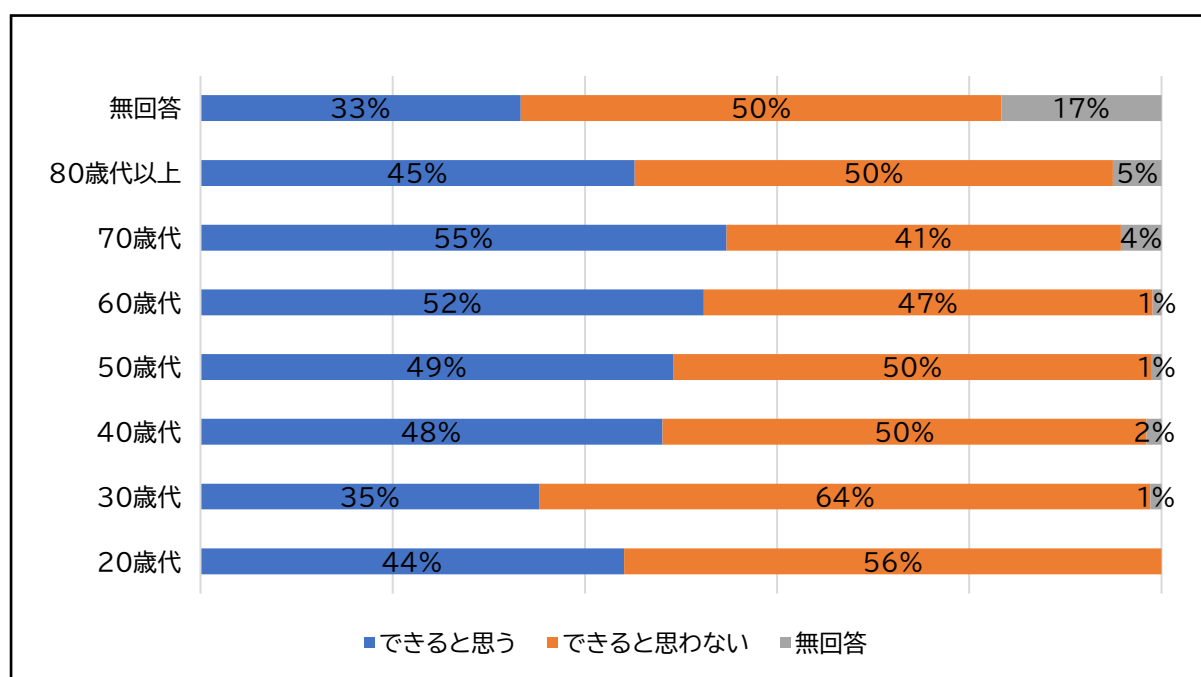
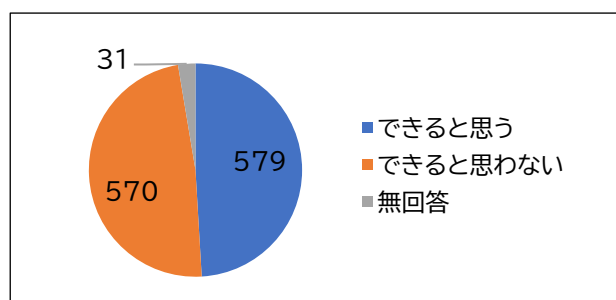
1	参加する	208 人
2	できるだけ参加する	592 人
3	参加しない	62 人
4	わからない	241 人
5	その他	54 人
6	無回答	23 人





問 21 もし災害などの緊急事態が発生した場合、あなたは適切に避難できると思いますか。(いずれか1つに○)

1	できると思う	579 人
2	できると思わない	570 人
3	無回答	31 人

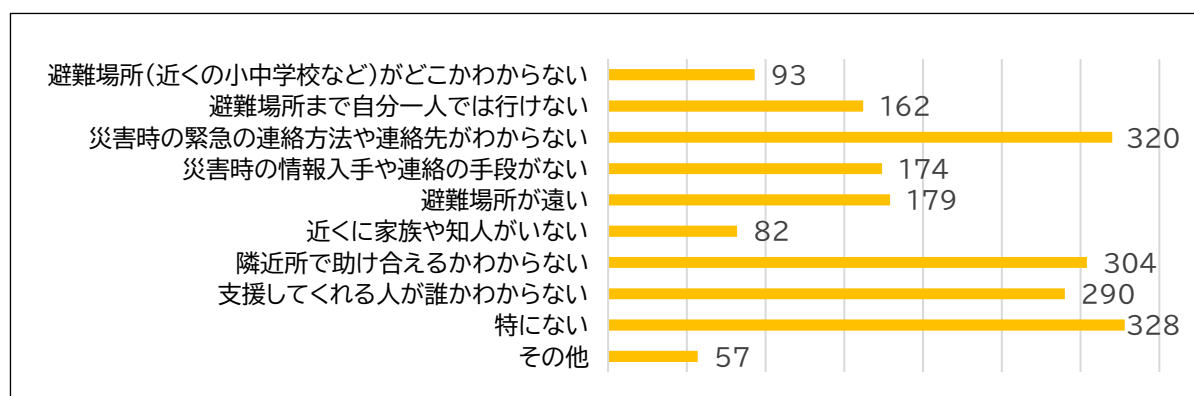


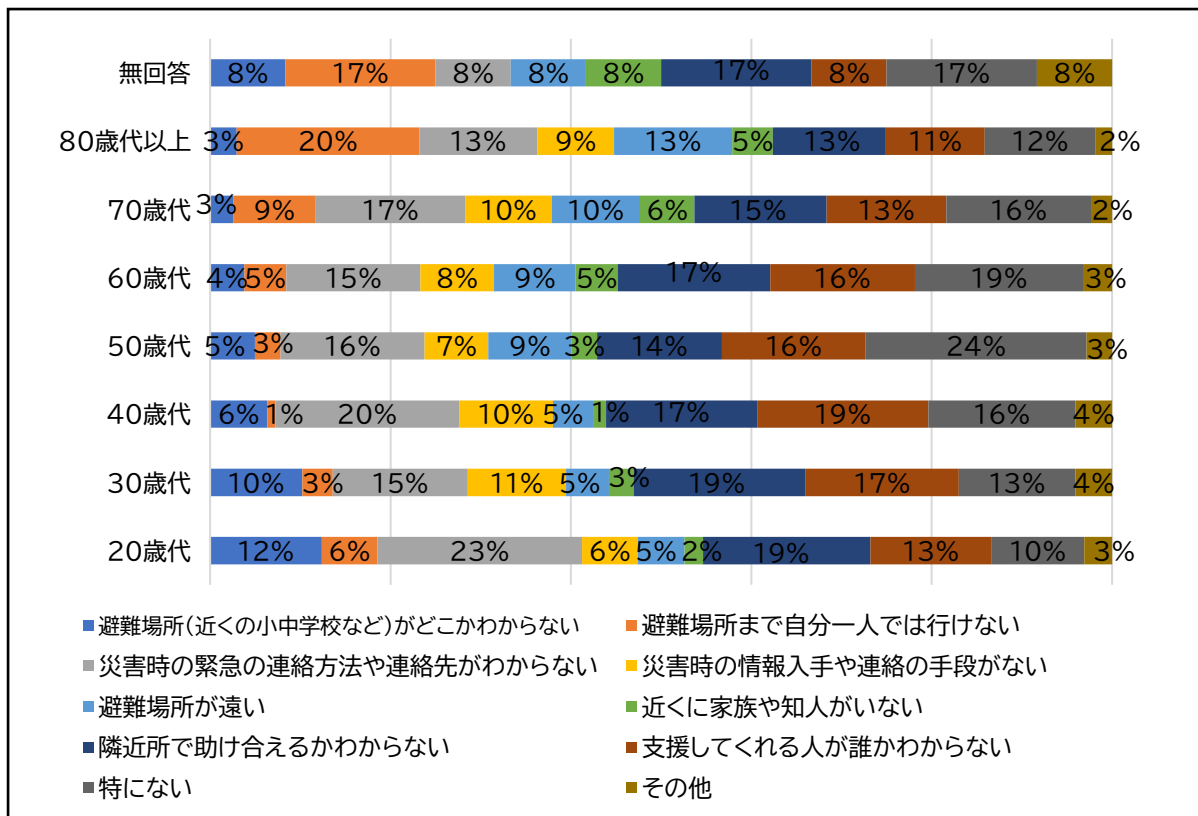
問 22 地震や台風などの災害発生時に、困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	避難場所(近くの小中学校など)がどこかわからない	93
2	避難場所まで自分一人では行けない	162
3	災害時の緊急の連絡方法や連絡先がわからない	320
4	災害時の情報入手や連絡の手段がない	174
5	避難場所が遠い	179
6	近くに家族や知人がいない	82
7	隣近所で助け合えるかわからない	304
8	支援してくれる人が誰かわからない	290
9	特にない	328
10	その他	57

その他

- ・今は大丈夫ですが、歩いていけるかわからない
- ・指定された避難場所が適当でない
- ・ペットがいる為避難所には行けない・その場合にならないとわからない
- ・仕事の時、家族とすぐ合流できるかわからず心配
- ・家族と一緒になら出来るが、一人の場合どうしたら良いか分からなくなると思う
- ・避難できた場合のその後の生活と復旧
- ・避難先でのプライバシーの確保



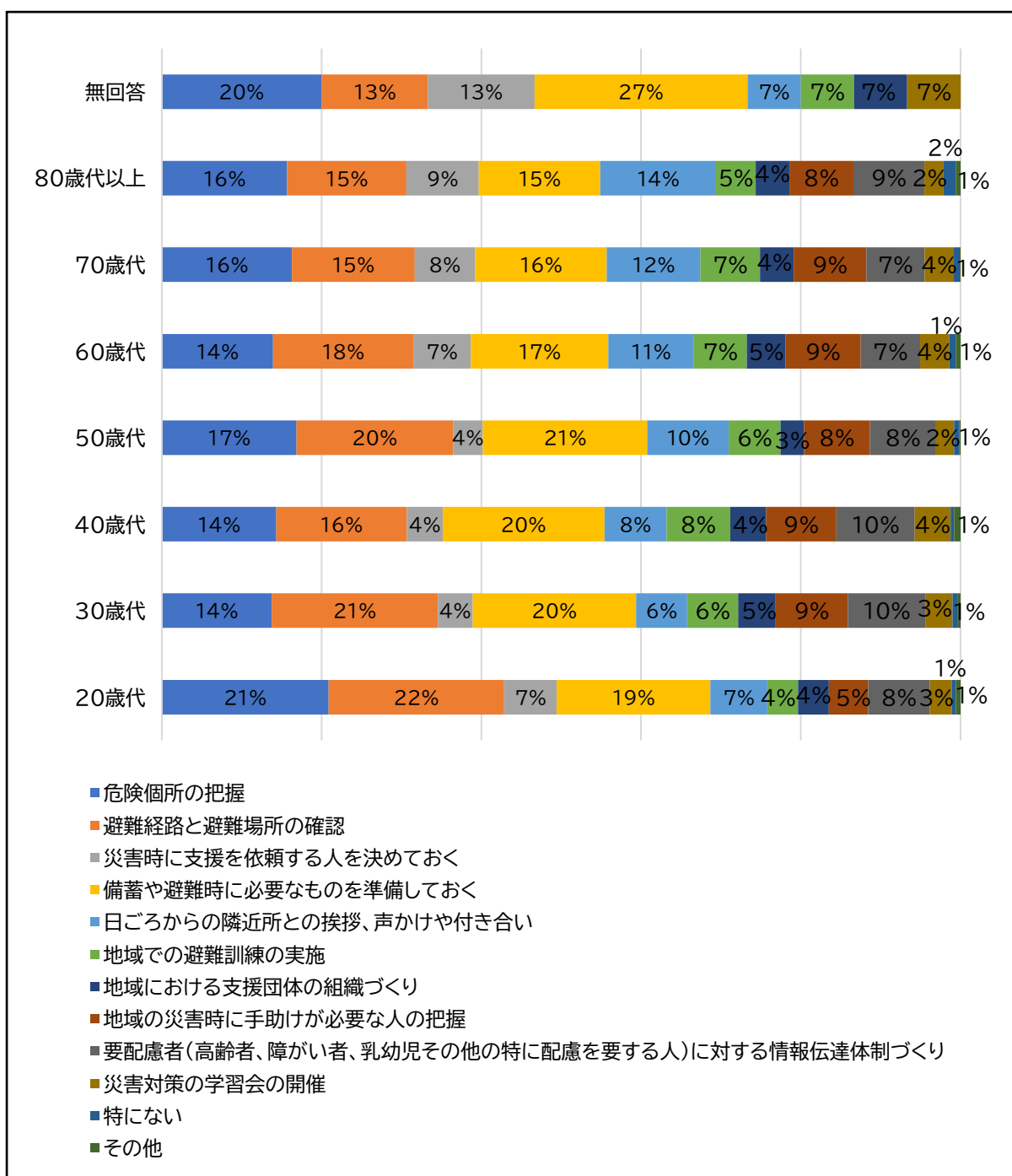
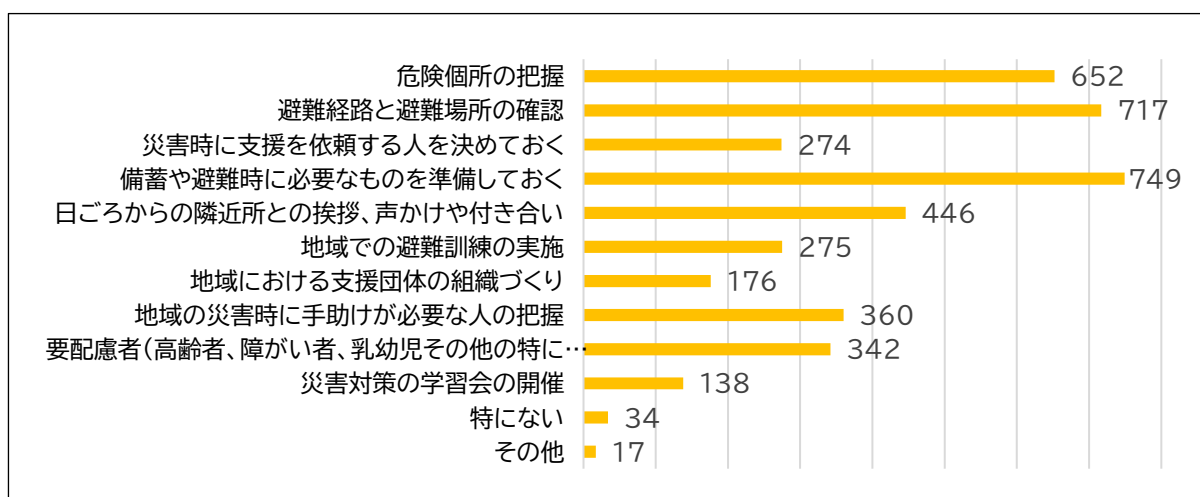


問 23 地震や台風などの災害発生時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	危険個所の把握	652
2	避難経路と避難場所の確認	717
3	災害時に支援を依頼する人を決めておく	274
4	備蓄や避難時に必要なものを準備しておく	749
5	日ごろからの隣近所との挨拶、声かけや付き合い	446
6	地域での避難訓練の実施	275
7	地域における支援団体の組織づくり	176
8	地域の災害時に手助けが必要な人の把握	360
9	要配慮者(高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する人)に対する情報伝達体制づくり	342
10	災害対策の学習会の開催	138
11	特にない	34
12	その他	17

その他

- ・家族との安否確認の方法についての共通理解
- ・避難したくないと言い張る老人の説得
- ・情報伝達体制づくりに日本語がまだ慣れてない外国人の方もいれるべきかと思います。

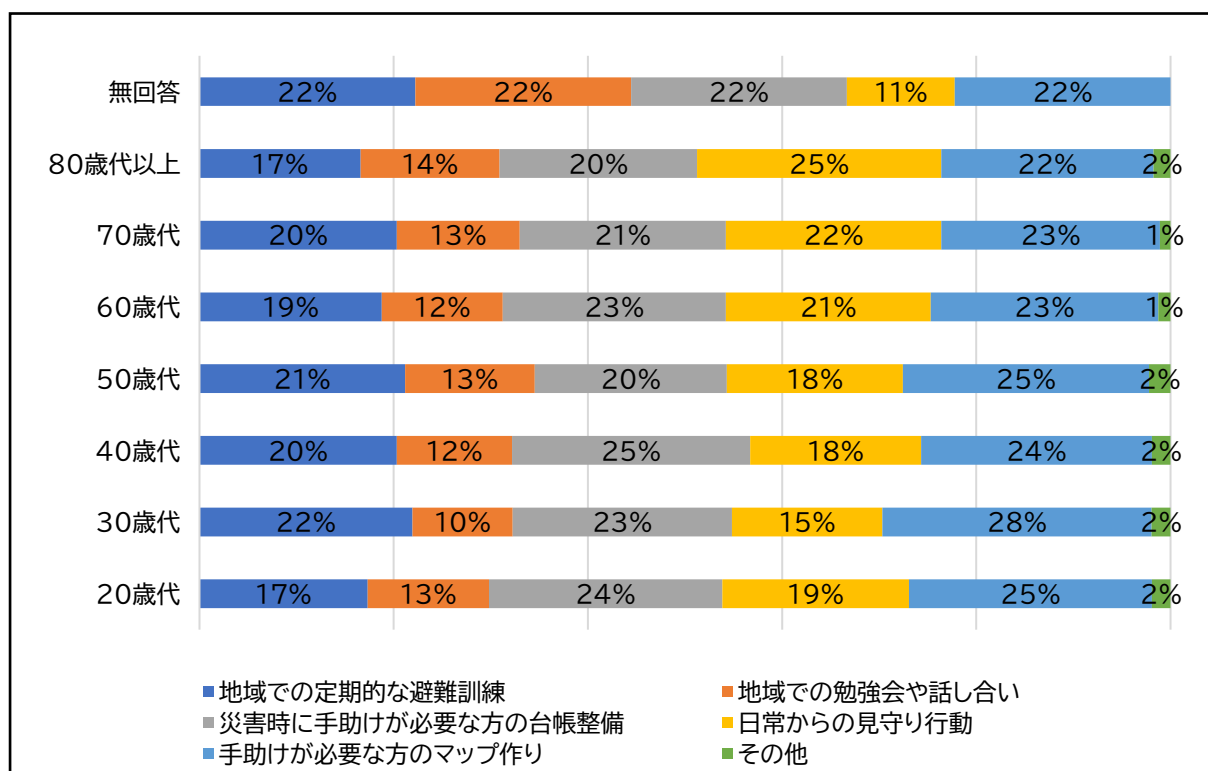
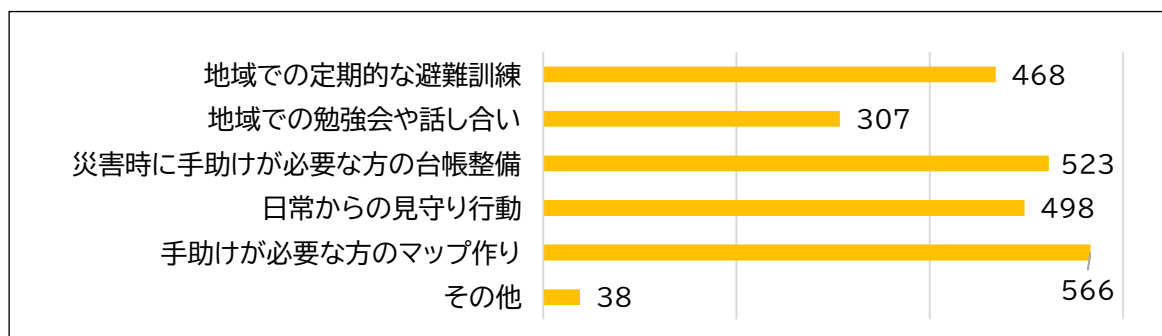


問24 災害時に住民が支えあう地域づくりに何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	地域での定期的な避難訓練	468
2	地域での勉強会や話し合い	307
3	災害時に手助けが必要な方の台帳整備	523
4	日常からの見守り行動	498
5	手助けが必要な方のマップ作り	566
6	その他	38

その他

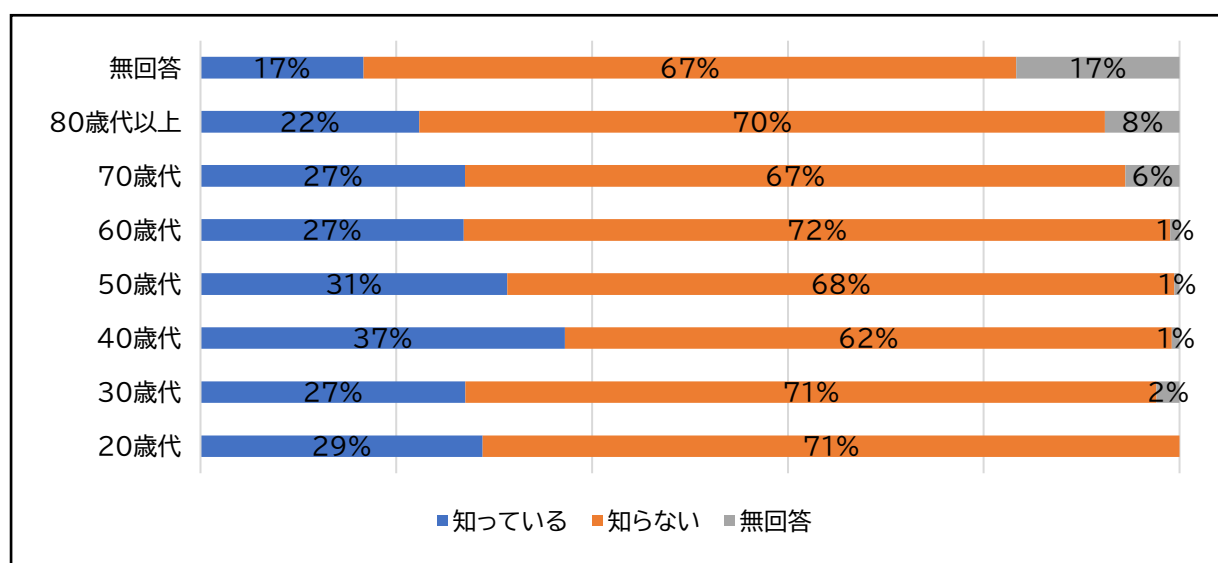
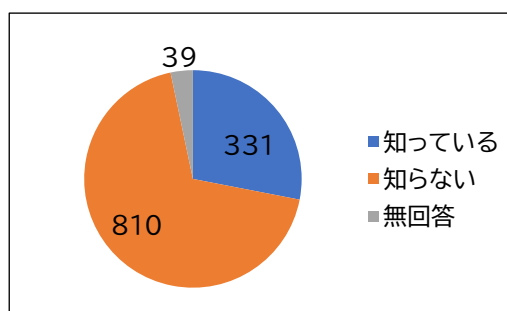
- ・訓練等は参加者が少なく、あまり意味がない
- ・支えあう地域ではない
- ・個人情報保護法などで個人の情報の取り扱いが難しい
- ・日ごろからの隣近所との挨拶、声かけや付き合い



生活困窮者の支援のあり方についてお答えください。

問 25 あなたは、「生活困窮」についての相談窓口を知っていますか。(いずれか1つに○)

1	知っている	331 人
2	知らない	810 人
3	無回答	39 人

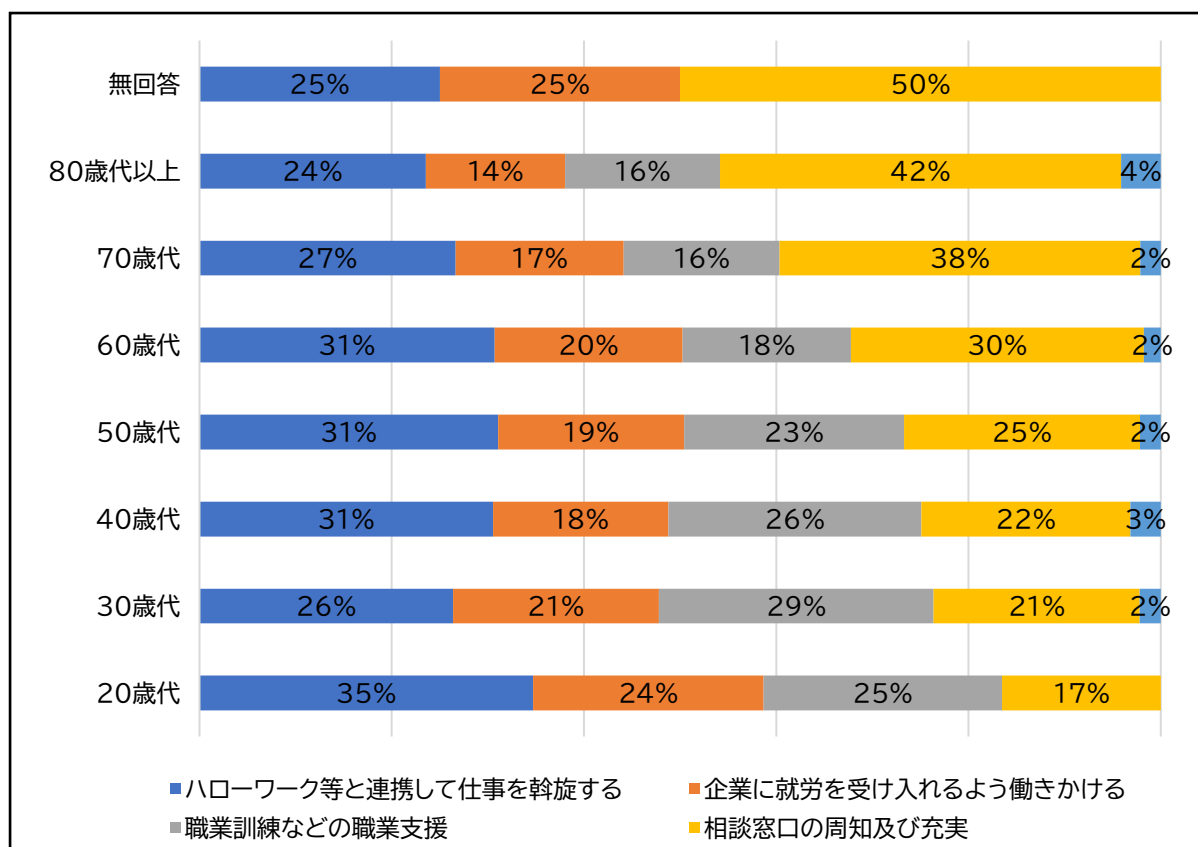
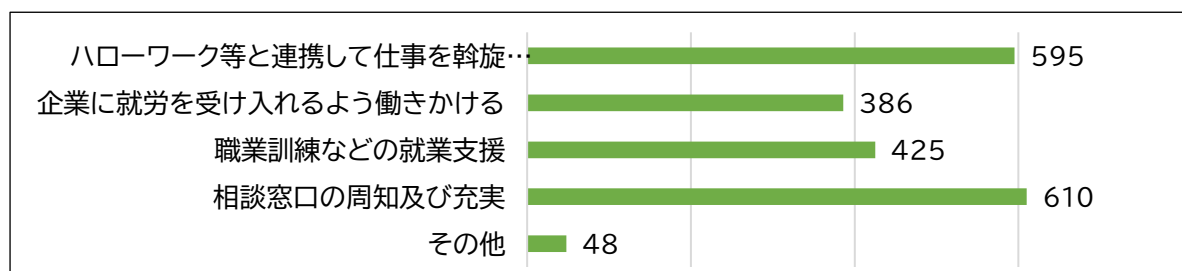


問 26 生活困窮者の自立支援に向けて、支援として望ましいと思うのはどのような取組ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	ハローワーク等と連携して仕事を斡旋する	595
2	企業に就労を受け入れるよう働きかける	386
3	職業訓練などの就業支援	425
4	相談窓口の周知及び充実	610
5	その他	48

その他

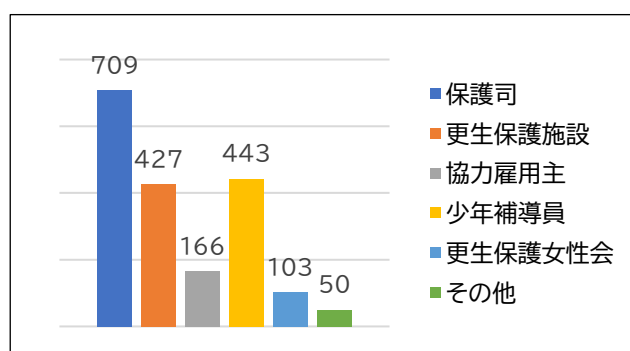
- ・生活保護者の自立できる支援が必要だと思う。年金受給者よりも高額な支援制度の見直し
- ・自立の教育
- ・精神的ケア自立できない理由などカウンセリングが必要
- ・厳しいかもしれませんが、働かざる者は食うべからず。どれだけ支援してもおかわりを言ってきます。福祉にかかる予算は、何%と決めてもう無いと言ったらどうでしょうか。
- ・生活困窮者といいながら、自分たちよりよい生活を送っている人もいるときく。・どうして生活困窮者になったのか、そのいきさつを知った上で仕方ない理由なら支援の優先はとても良いと思う。



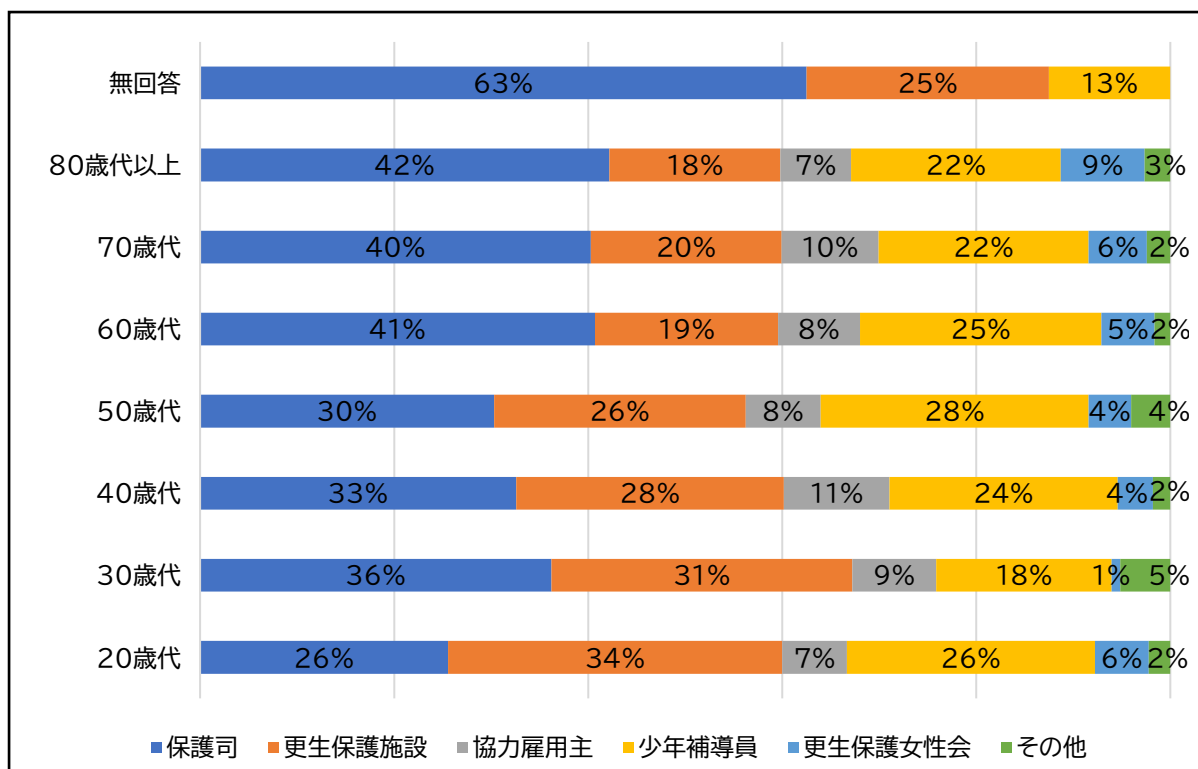
地域における再犯防止についてお答えください。

問 27 あなたは、犯罪をした人が立ち直り、再犯しないようにすることに協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。(知っているものすべてに○)

1	保護司	709
2	更生保護施設	427
3	協力雇用主	166
4	少年補導員	443
5	更生保護女性会	103
6	その他	50



その他
・知らない

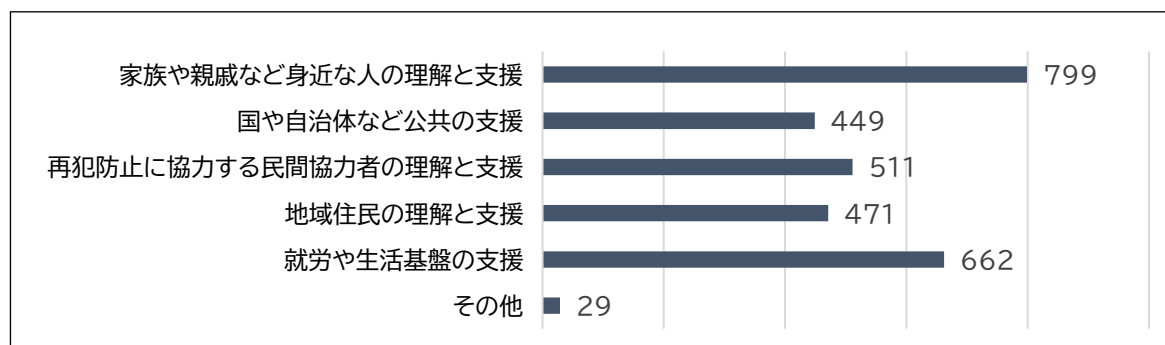


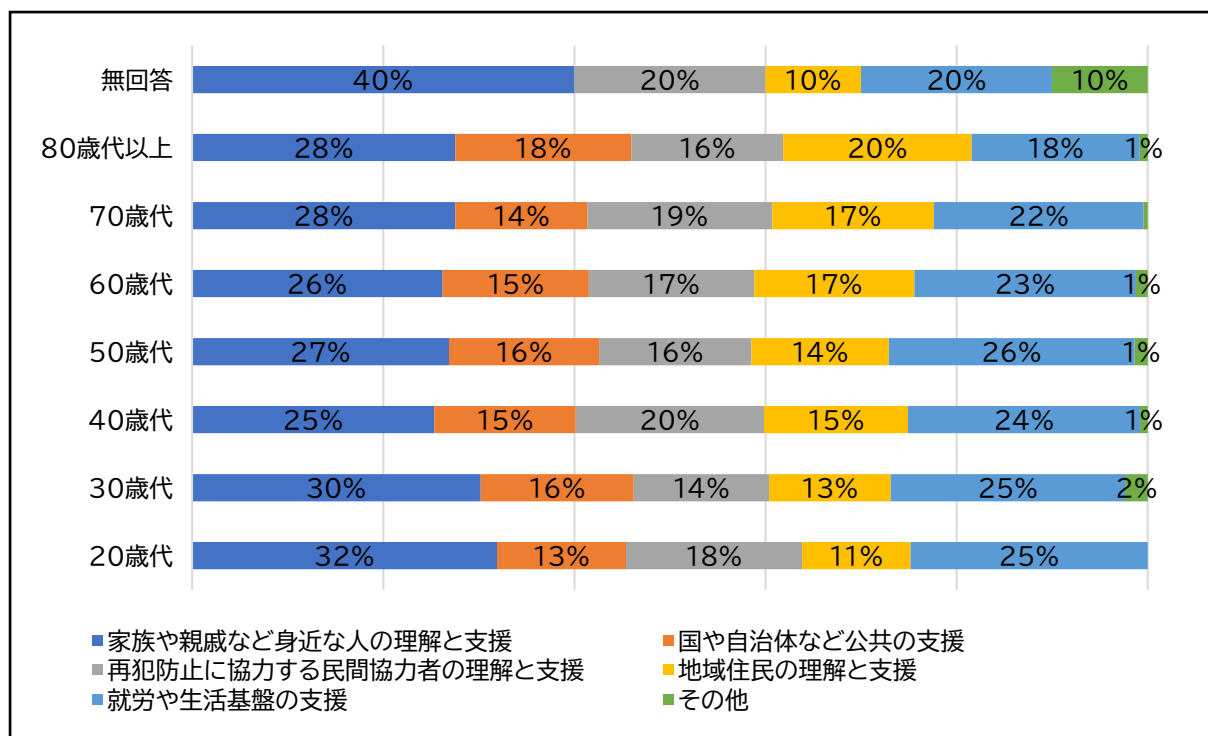
問28 再犯防止(犯罪をした人が立ち直り、再犯しないようにすること)のために必要だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	家族や親戚など身近な人の理解と支援	799
2	国や自治体など公共の支援	449
3	再犯防止に協力する民間協力者の理解と支援	511
4	地域住民の理解と支援	471
5	就労や生活基盤の支援	662
6	その他	29

その他

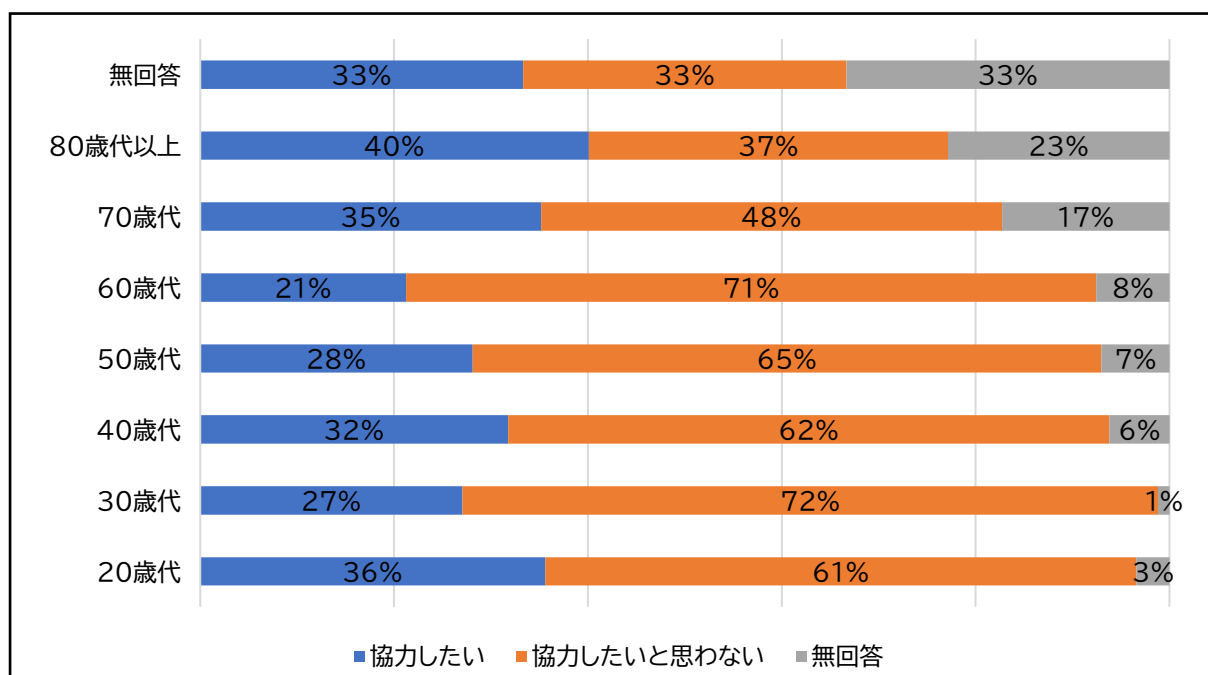
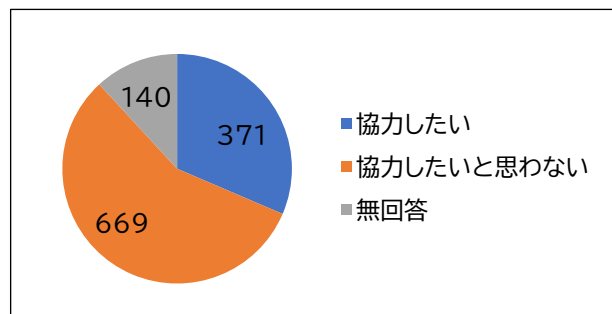
- ・犯罪をしにくくするような環境作り、道路などに防犯カメラの設置
- ・初犯の原因究明による対策
- ・声かけ、あいさつ
- ・犯罪にならない環境





問 29 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(いずれか1つに○)

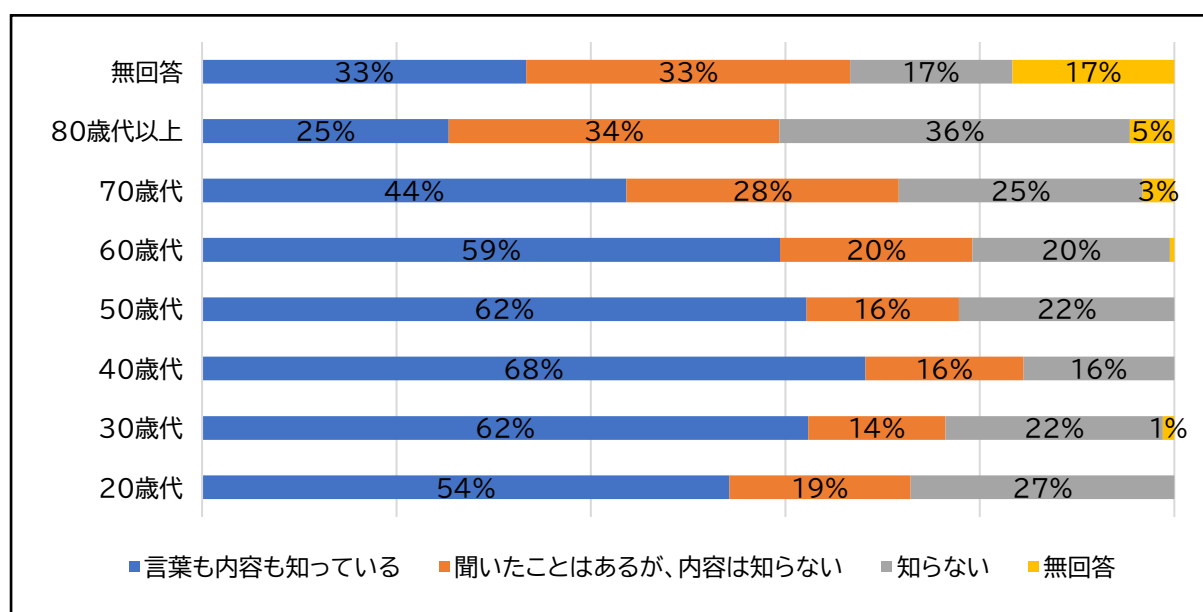
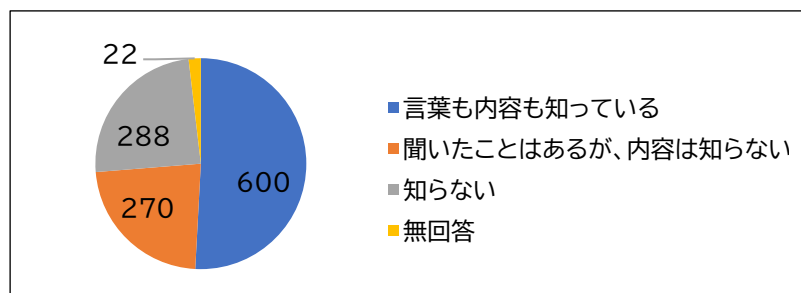
1	協力したい	371 人
2	協力したいと思わない	669 人
3	無回答	140 人



ヤングケアラーについてお答えください。

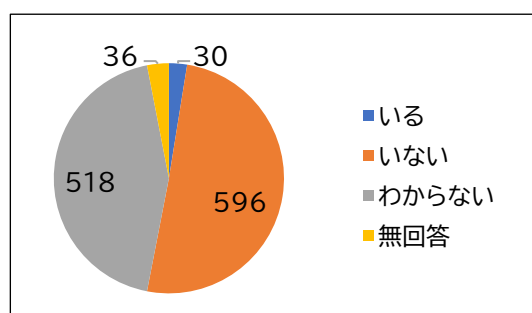
問 30 あなたは、「ヤングケアラー(※)」という言葉や内容を知っていますか。(いずれか1つに○)

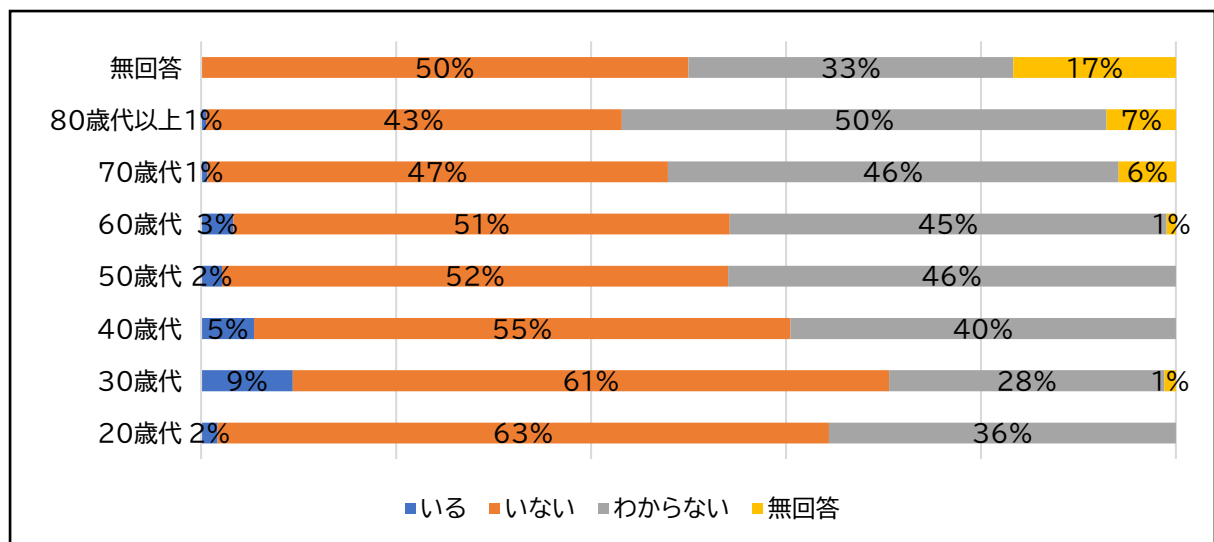
1	言葉も内容も知っている	600 人
2	聞いたことはあるが、内容は知らない	270 人
3	知らない	288 人
4	無回答	22 人



問 31 あなたの周りに「ヤングケアラー」の状態にあって困ってそうな人はいますか。(いずれか1つに○)

1	いる	30 人
2	いない	596 人
3	わからない	518 人
4	無回答	36 人

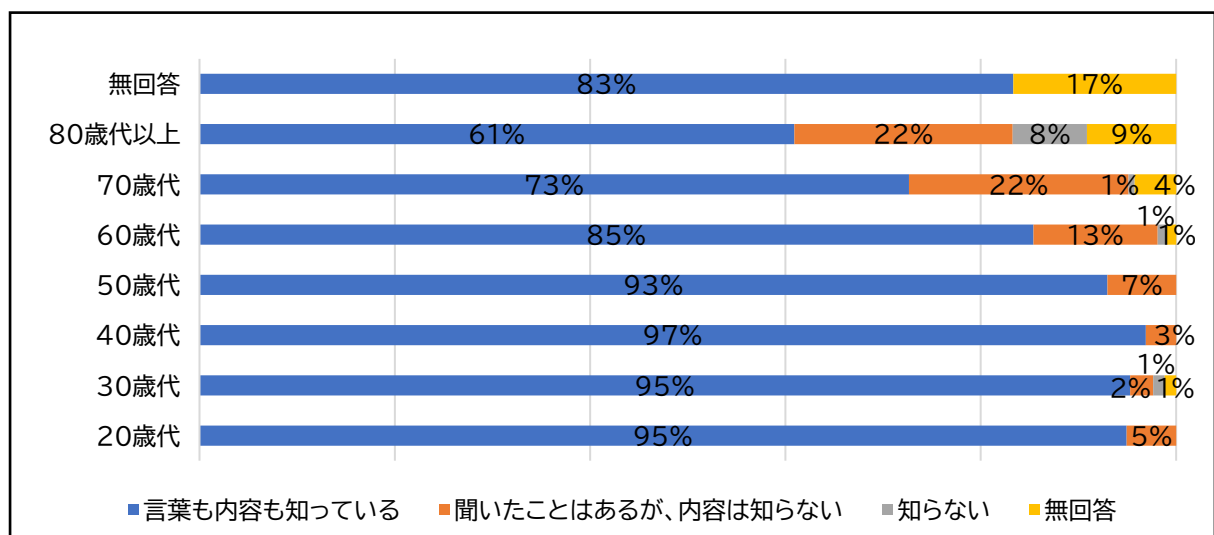
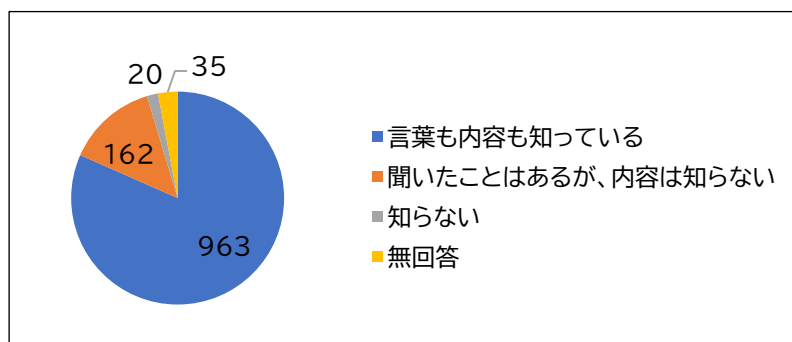




ひきこもりについてお答えください。

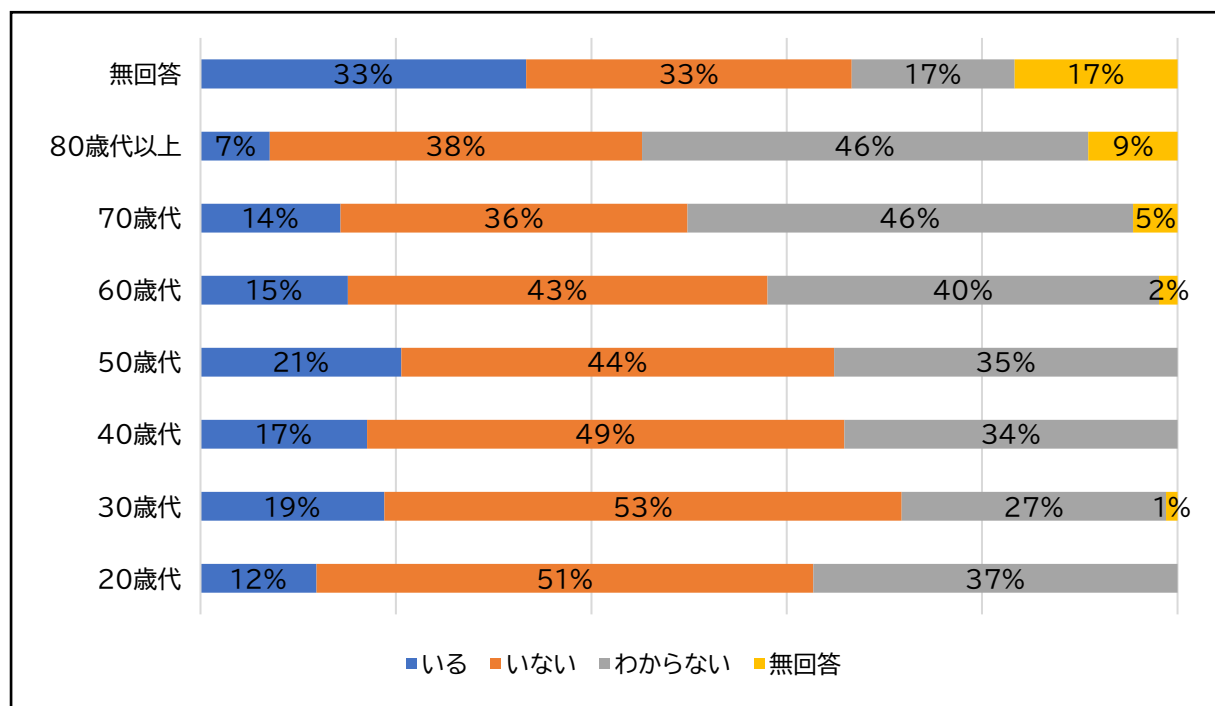
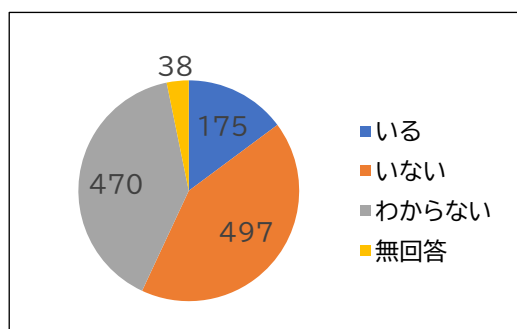
問 32 あなたは、「ひきこもり」という言葉や内容を知っていますか。(いずれか1つに○)

1	言葉も内容も知っている	963 人
2	聞いたことはあるが、内容は知らない	162 人
3	知らない	20 人
4	無回答	35 人



問 33 あなたの周りに「ひきこもり」の状態にあって困ってそうな人はいますか。(いずれか1つに○)

1	いる	175 人
2	いない	497 人
3	わからない	470 人
4	無回答	38 人

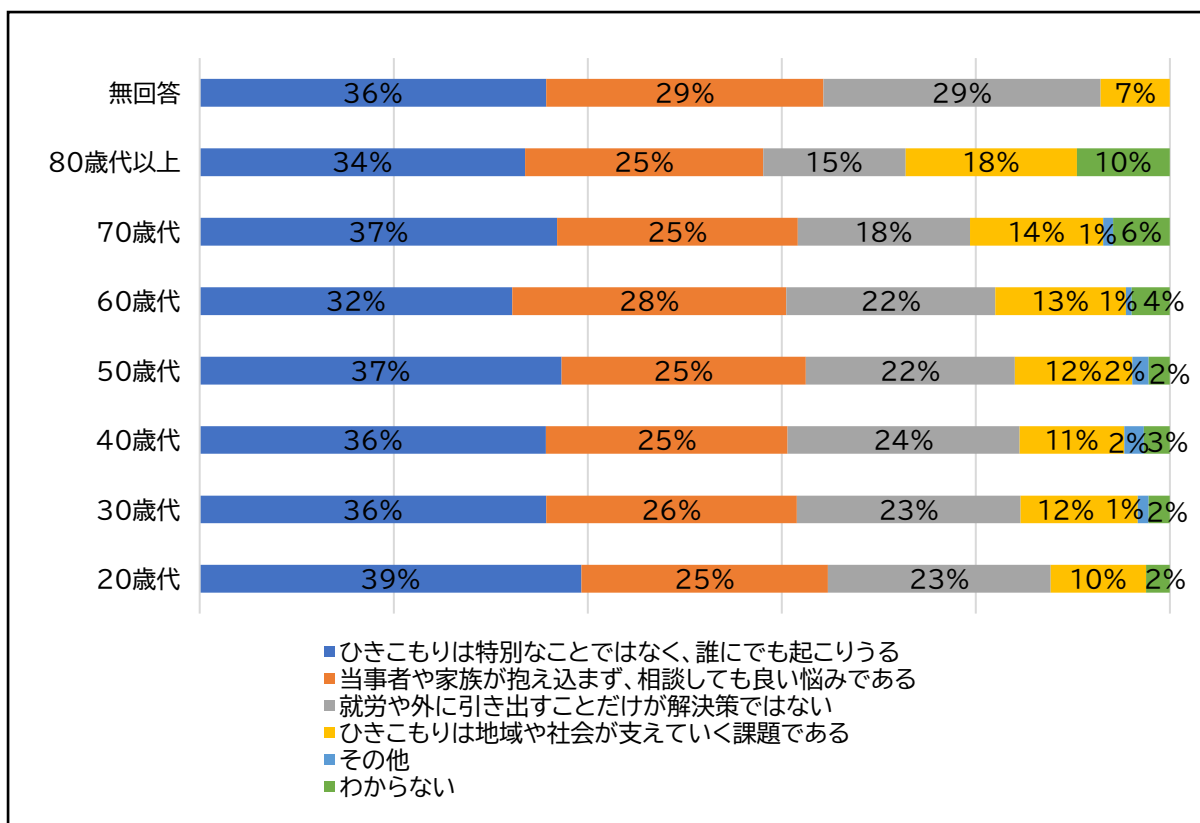
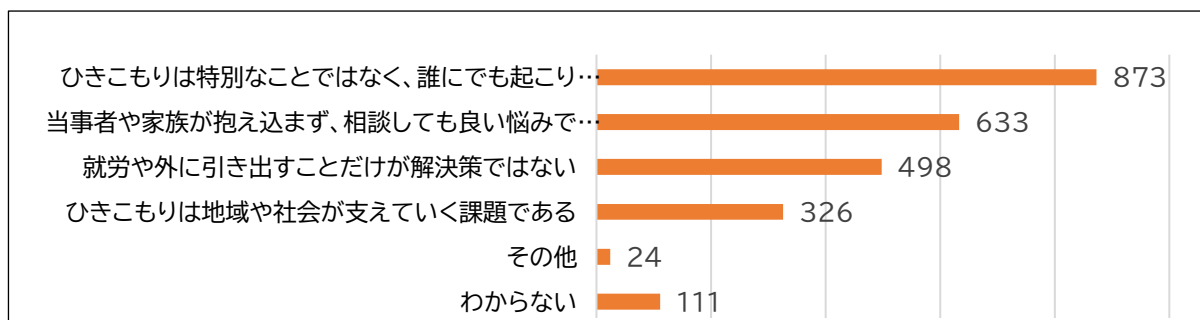


問 34 「ひきこもり」について、あなたはどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1	ひきこもりは特別なことではなく、誰にでも起こりうる	873
2	当事者や家族が抱え込まず、相談しても良い悩みである	633
3	就労や外に引き出すことだけが解決策ではない	498
4	ひきこもりは地域や社会が支えていく課題である	326
5	その他	24
6	わからない	111

その他

- ・本人が思い込んでいる事を、どう解きほぐすかが難しい
- ・ひきこもりの人の家族の相談にも乗ってあげる事も必要
- ・そもそも定義がおかしい。精神科医が言えばなんでも精神の病気になるのはおかしい。人間の在り方に正常も異常もない。

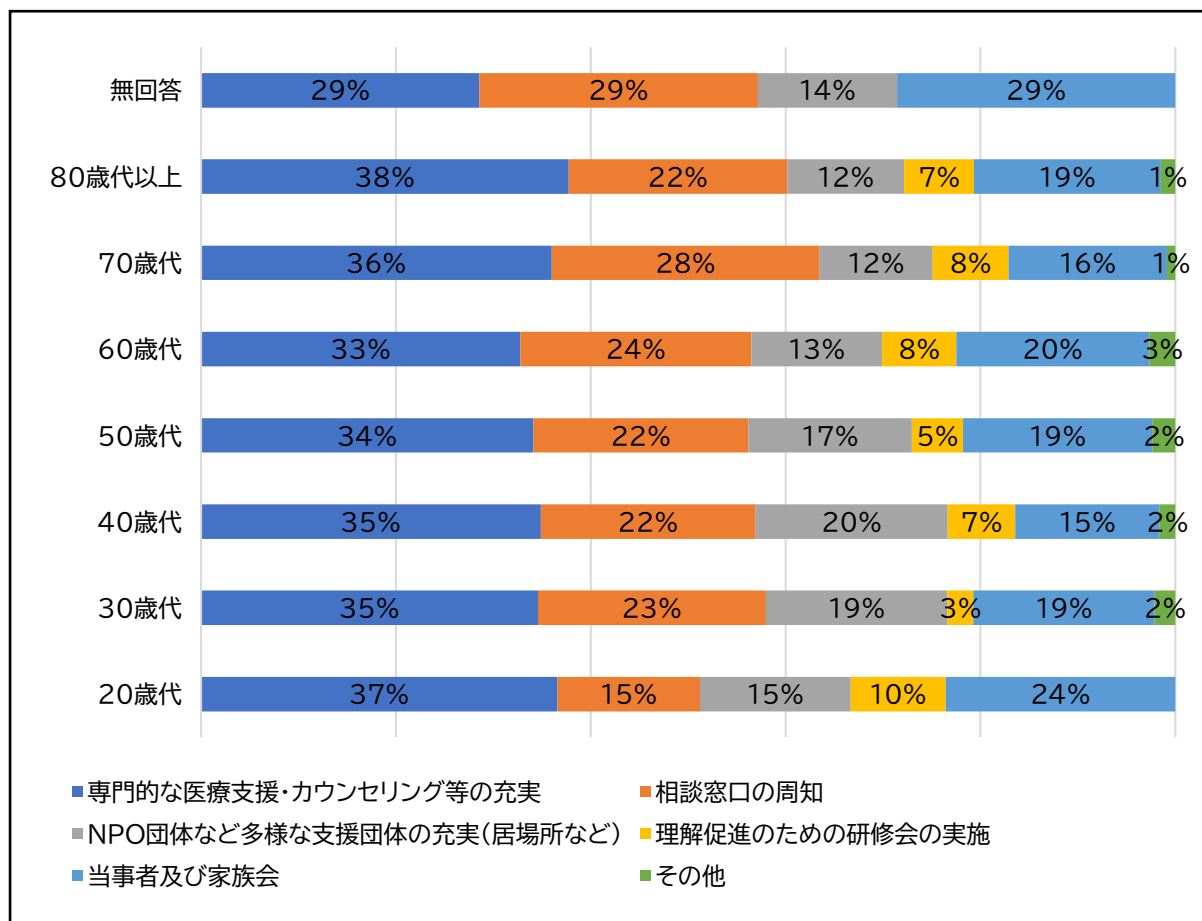
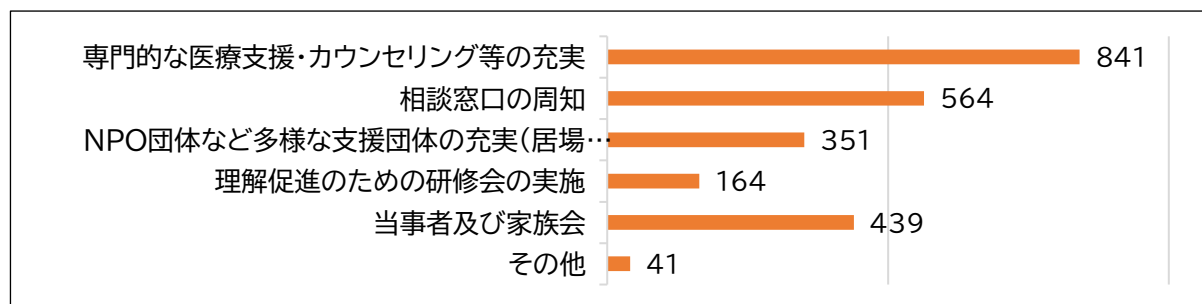


問 35 「ひきこもり」の状態の人への支援策として必要だと感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	専門的な医療支援・カウンセリング等の充実	841
2	相談窓口の周知	564
3	NPO 団体など多様な支援団体の充実(居場所など)	351
4	理解促進のための研修会の実施	164
5	当事者及び家族会	439
6	その他	41

その他

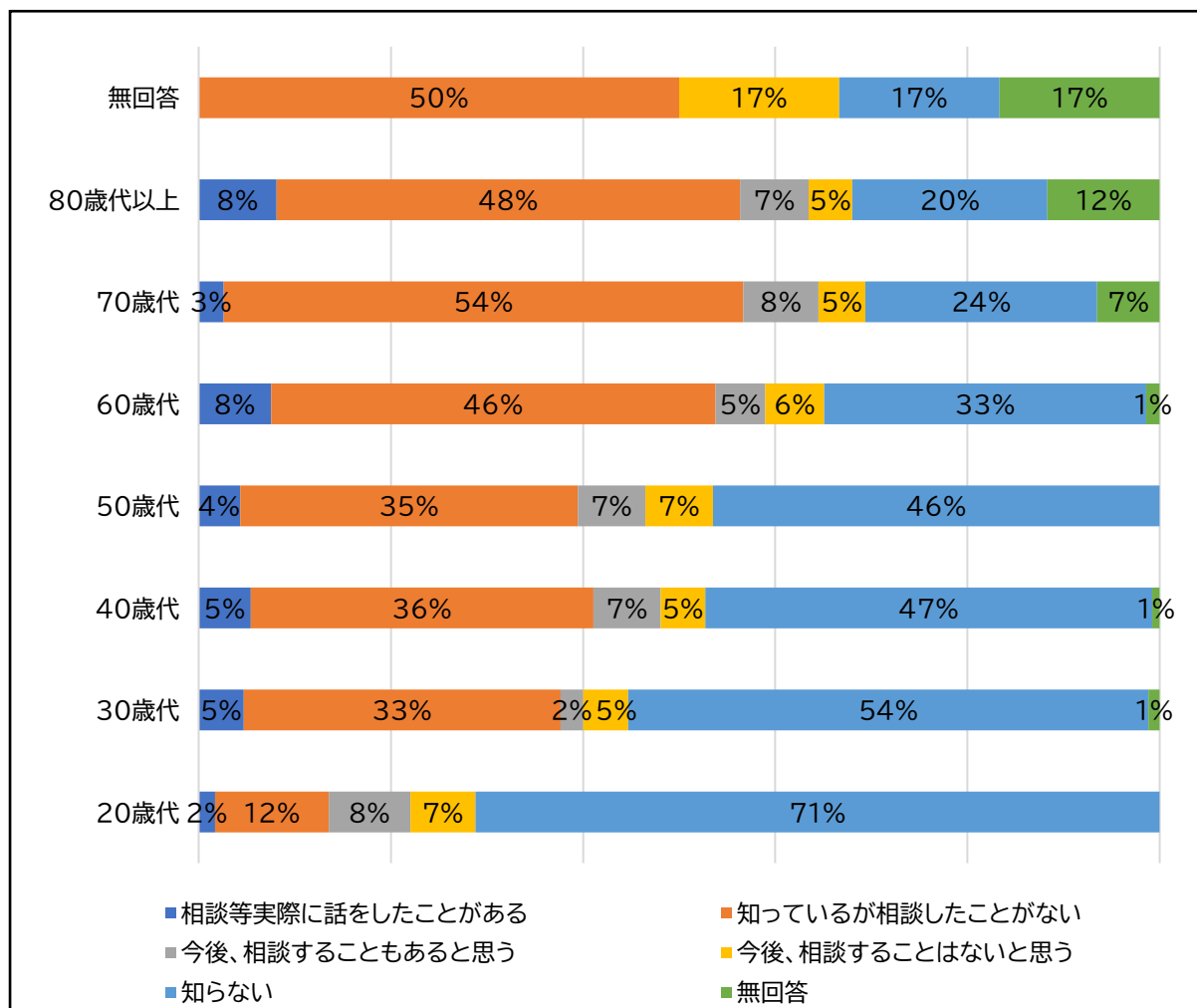
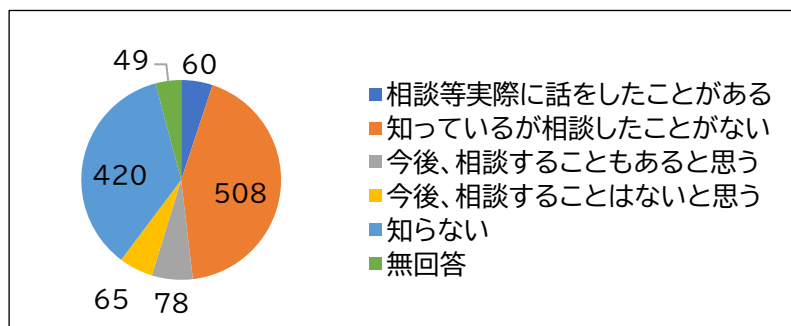
- ・「ひきこもり」きっかけをなくす社会づくり。「信頼」
- ・会話の中でその人の一番好きな事を(したい事)を見つけ出す。
- ・うわべだけの支援では解決しない



地域の相談窓口についてお答えください。

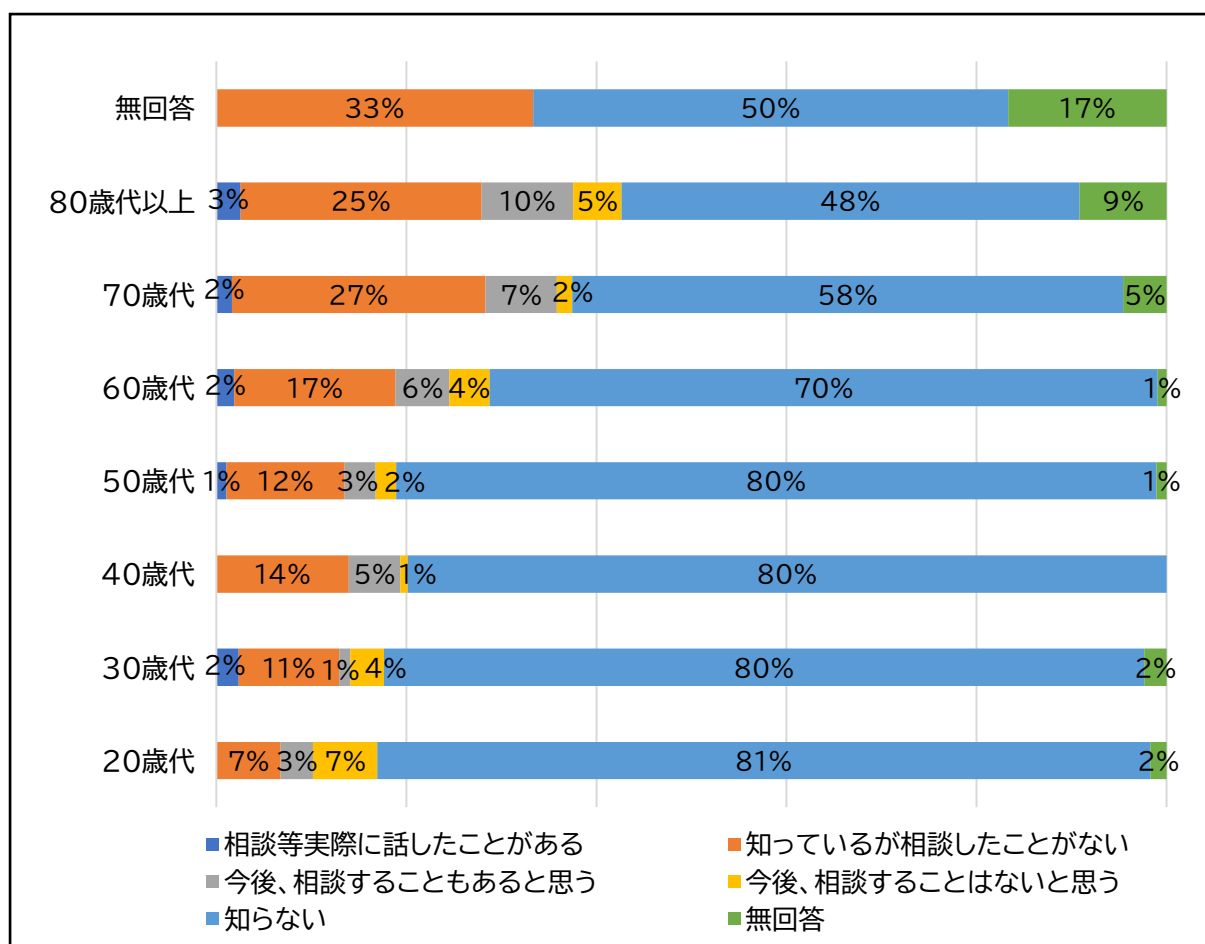
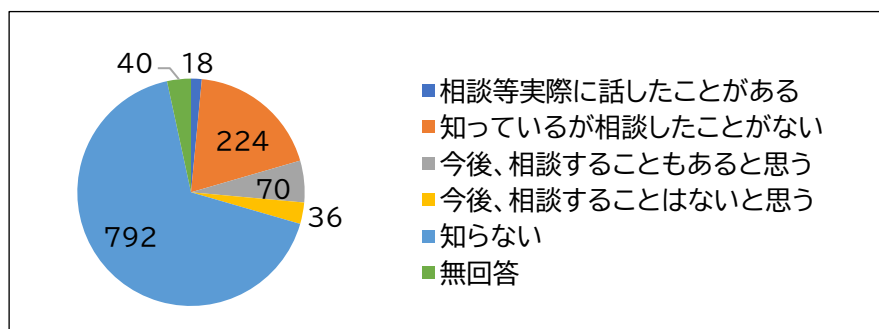
問 36 福祉に関する身近な相談相手として、民生委員児童委員(※)がいますが、あなたがお住まいの地区の民生委員児童委員を知っていますか。(最も近いもの1つに○)

1	相談等実際に話をしたことがある	60
2	知っているが相談したことがない	508
3	今後、相談することもあると思う	78
4	今後、相談することはないと思う	65
5	知らない	420
6	無回答	49



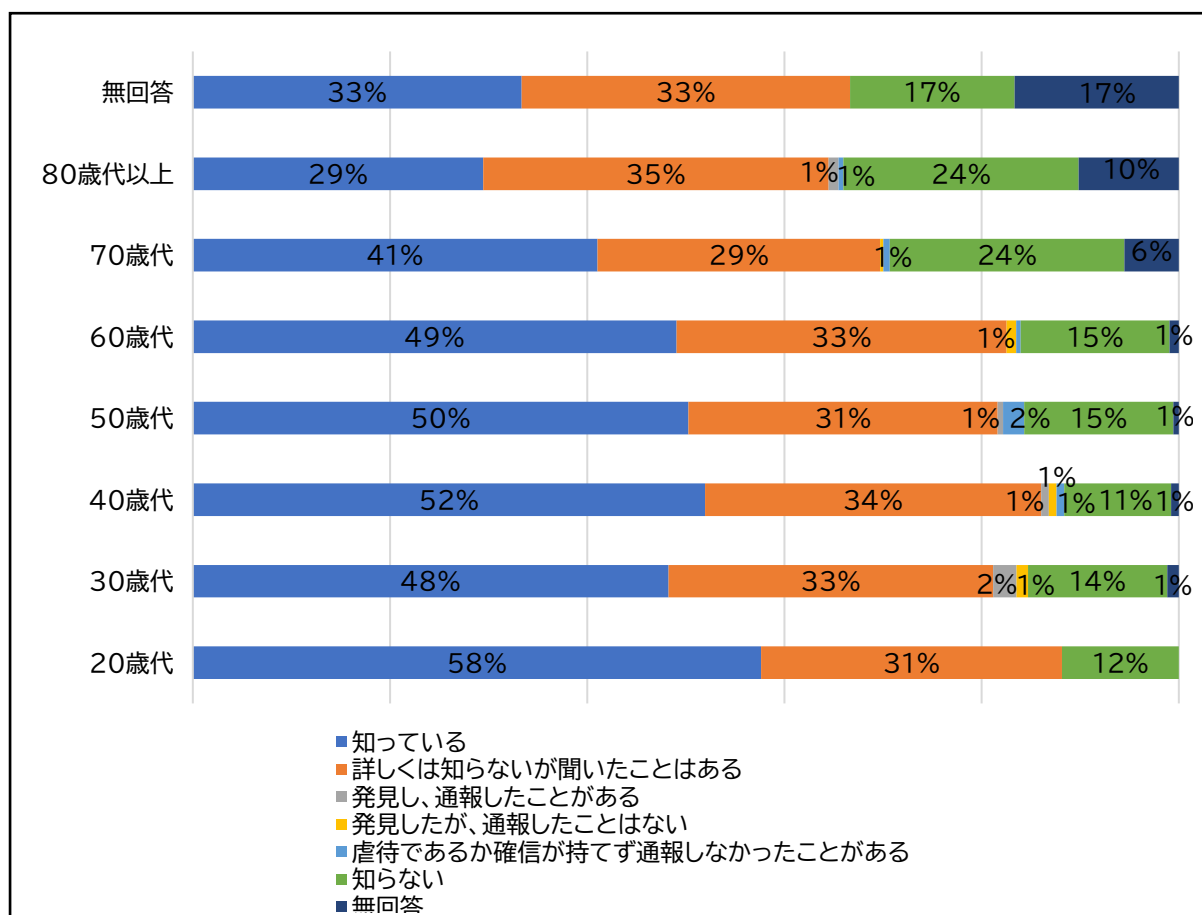
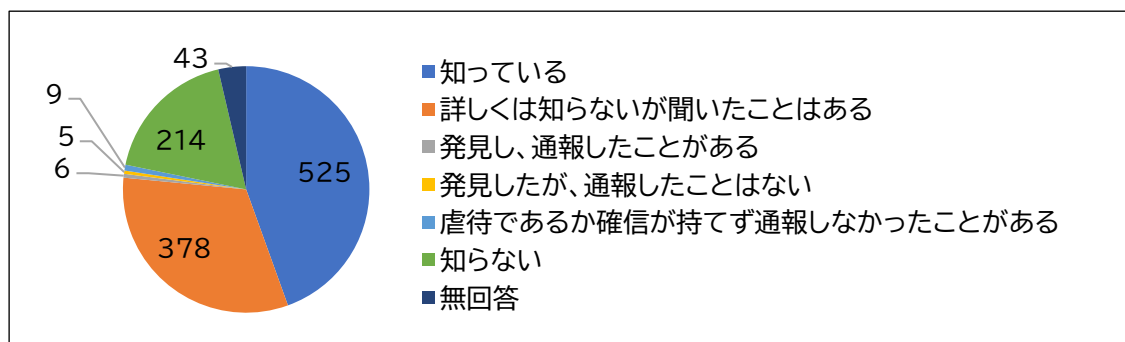
問 37 あなたがお住まいの地区の福祉協力員(※)を知っていますか。(最も近いもの1つに○)

1	相談等実際に話をしたことがある	18
2	知っているが相談したことがない	224
3	今後、相談することもあると思う	70
4	今後、相談することはないと思う	36
5	知らない	792
6	無回答	40



問 38 あなたは虐待を連絡(通報)しなければならないことを知っていますか。(最も近いもの1つに○)

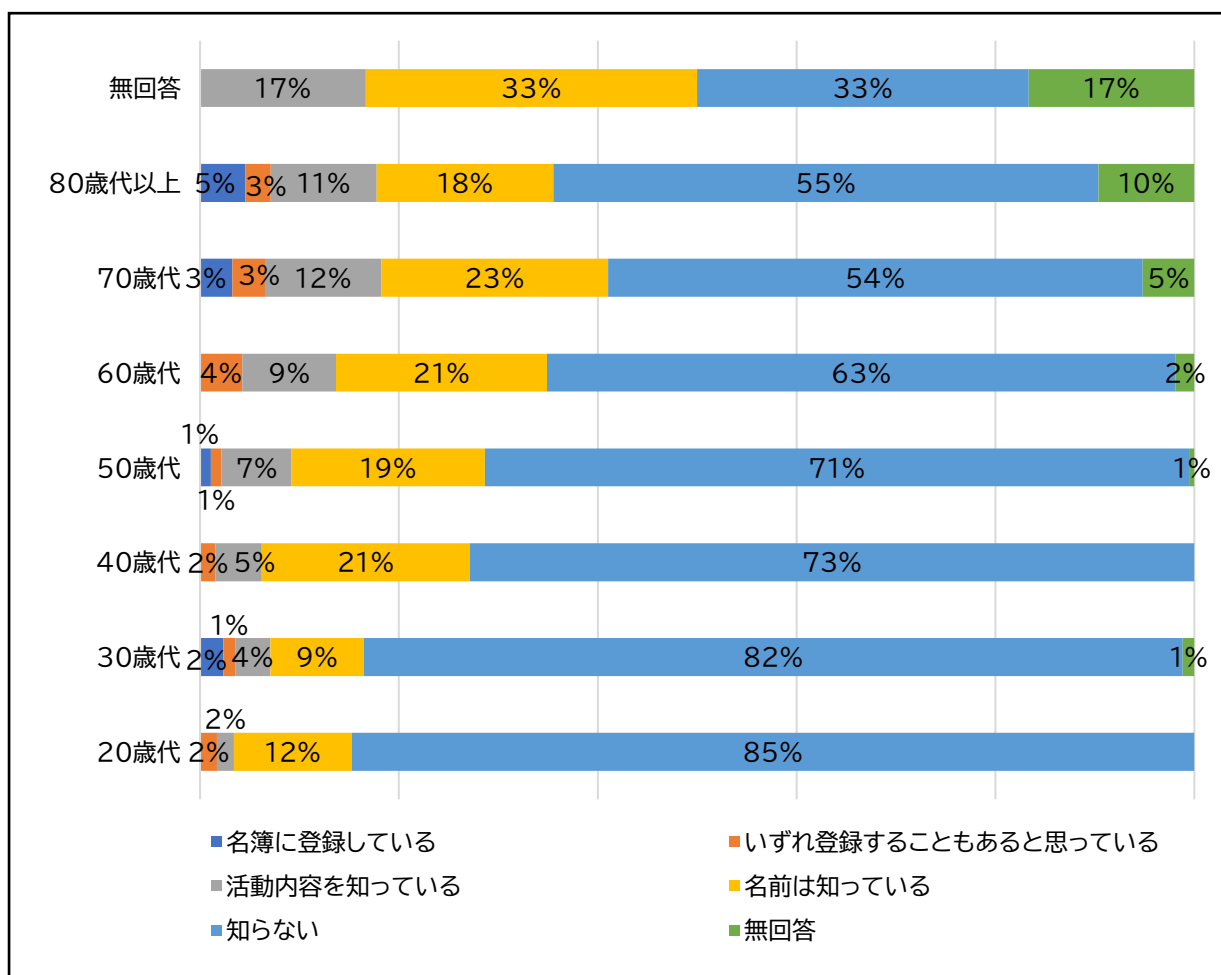
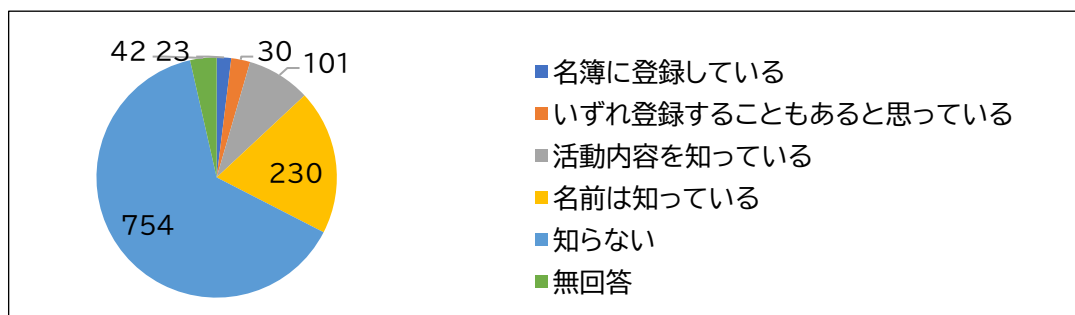
1	知っている	525
2	詳しくは知らないが聞いたことはある	378
3	発見し、通報したことがある	6
4	発見したが、通報したことはない	5
5	虐待であるか確信が持てず通報しなかったことがある	9
6	知らない	214
7	無回答	43



地域見守り支えあいネットワークについてお答えください。

問 39 あなたは、加賀市地域見守り支えあいネットワークについて知っていますか。(最も近いもの1つに○)

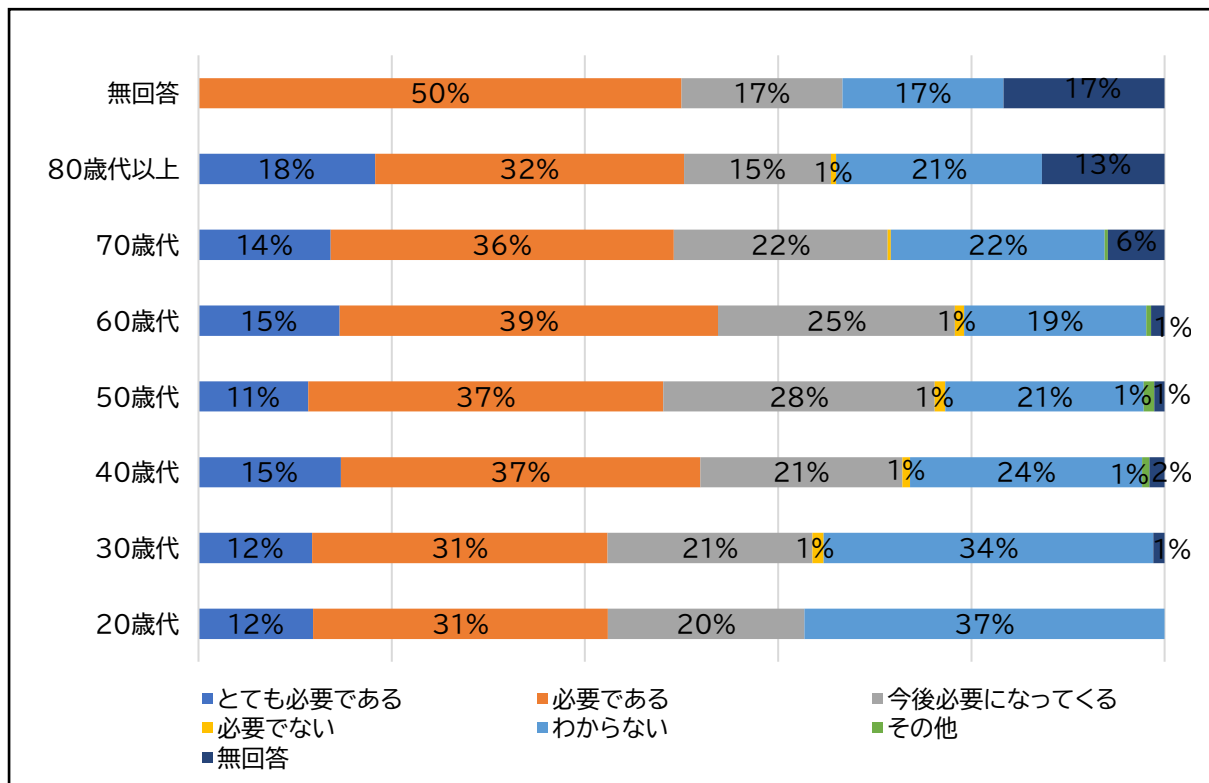
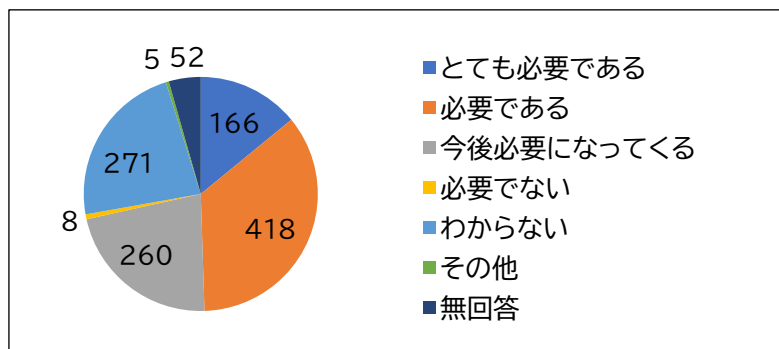
1	名簿に登録している	23
2	いずれ登録することもあると思っている	30
3	活動内容を知っている	101
4	名前は知っている	230
5	知らない	754
6	無回答	42



問 40 あなたが住んでいる地域にとって、このような「地域見守り支えあいネットワーク」は必要だと思いますか。(最も近いもの1つに○)

1	とても必要である	166
2	必要である	418
3	今後必要になってくる	260
4	必要でない	8
5	わからない	271
6	その他	5
7	無回答	52

その他
 ・活動が不明
 ・孤独死を減らすために IT 活用するべき
 ・高齢者の1人暮らし人が増えてきたら必要になってくると思う。

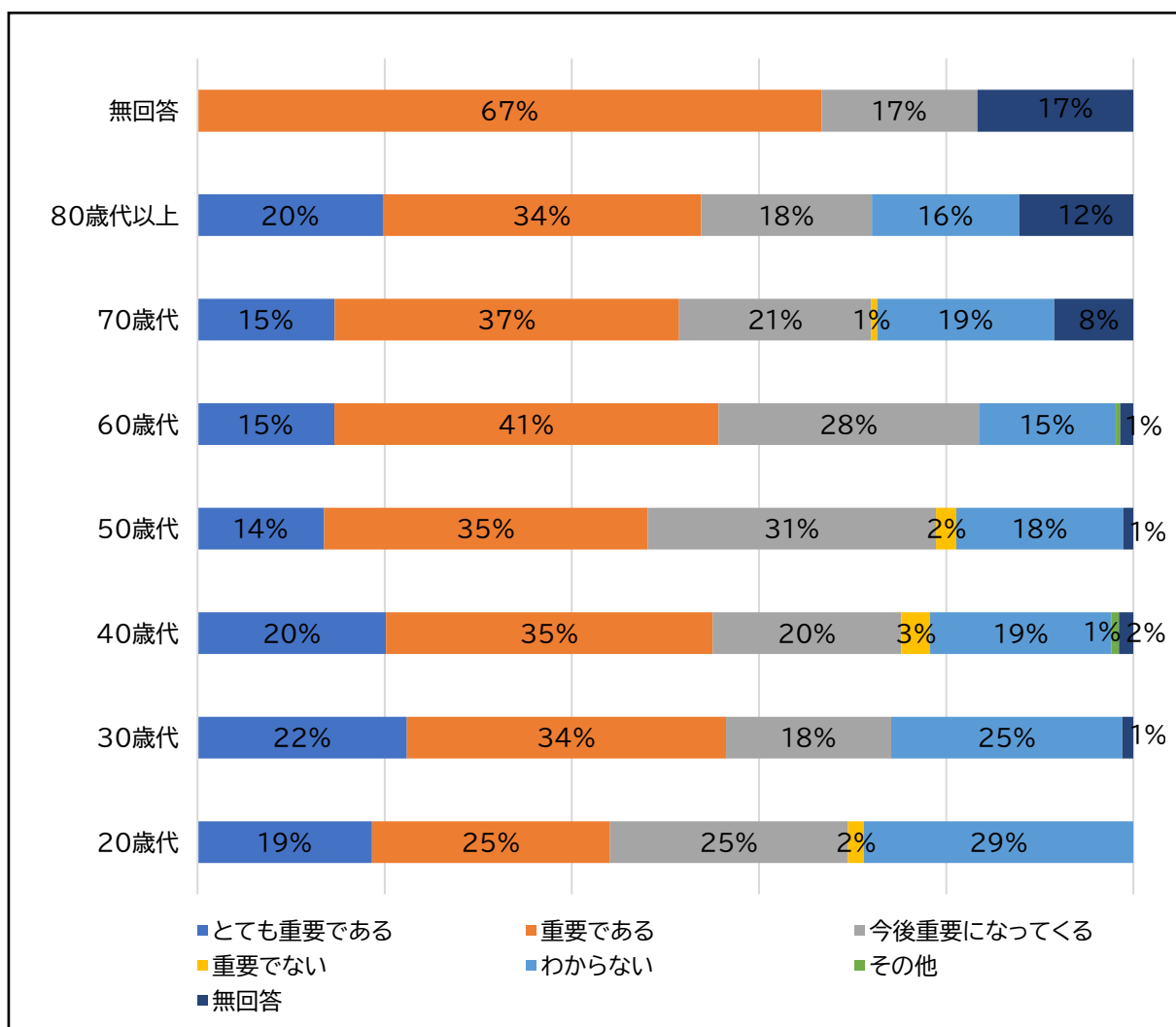
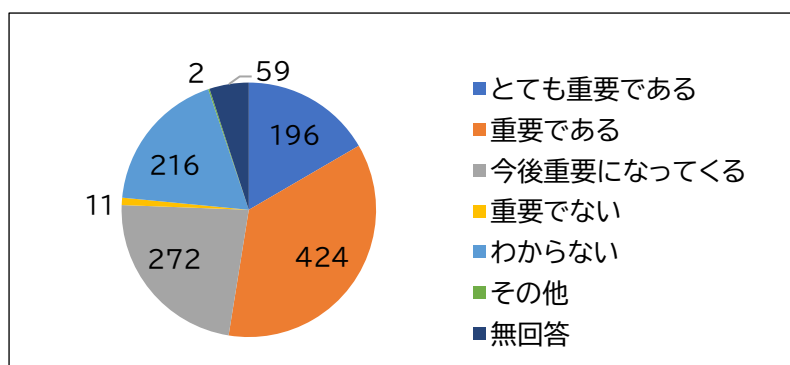


問 41 地域での名簿(避難行動要支援者名簿)の活用は重要だと思いますか。(最も近いもの1つに○)

1	とても重要である	196
2	重要である	424
3	今後重要になってくる	272
4	重要でない	11
5	わからない	216
6	その他	2
7	無回答	59

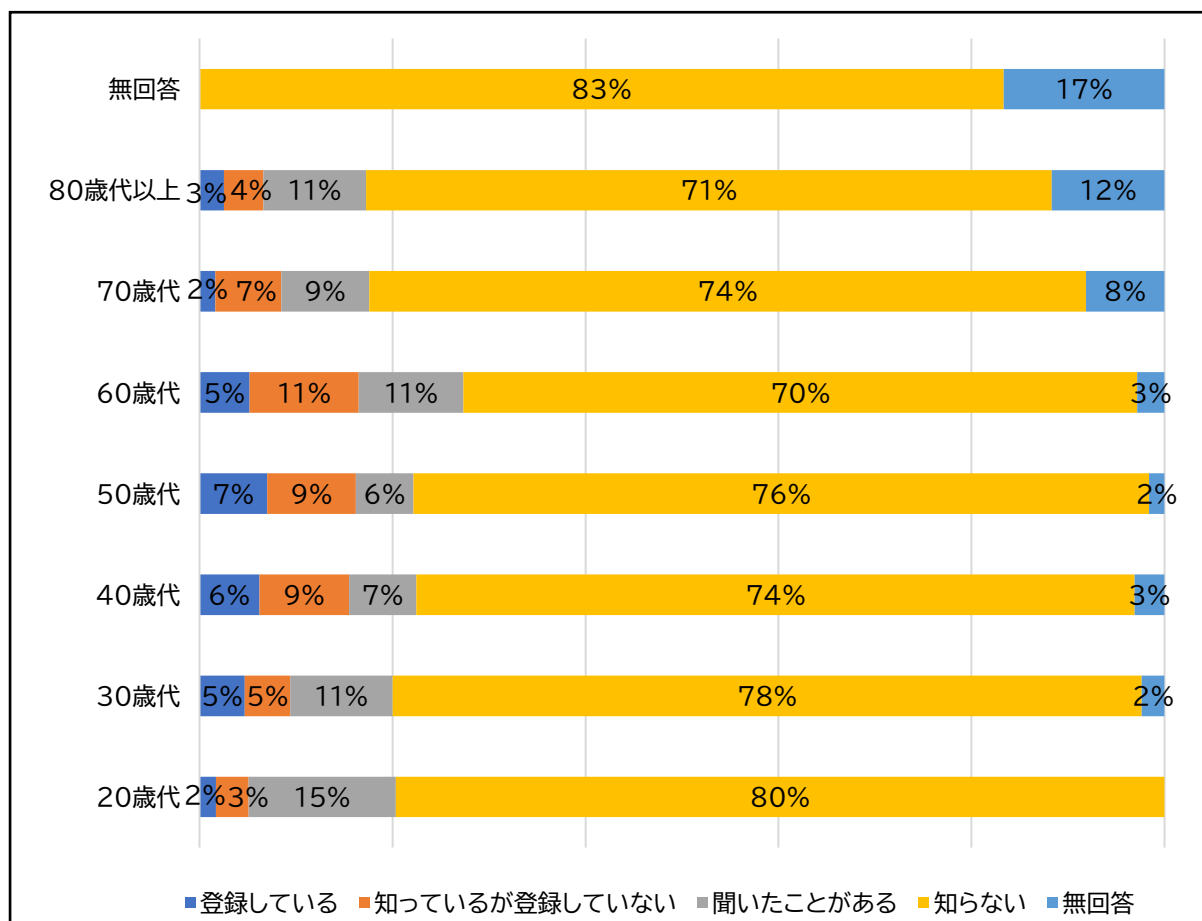
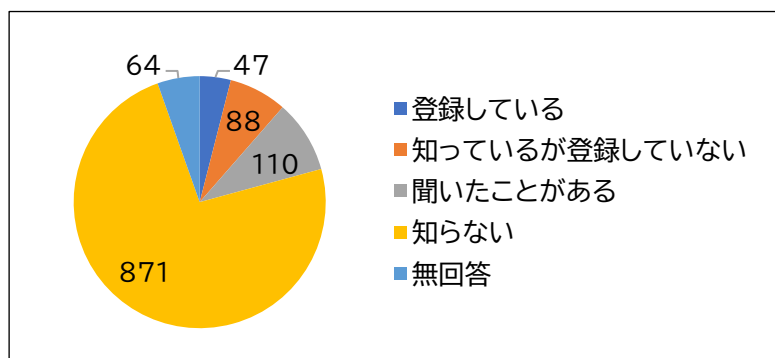
その他

- ・知っておくことは必要
- ・警察や消防が持つなら意味はある。l



問 42 あなたは、加賀市安心メールを知っていますか。(最も近いもの1つに○)

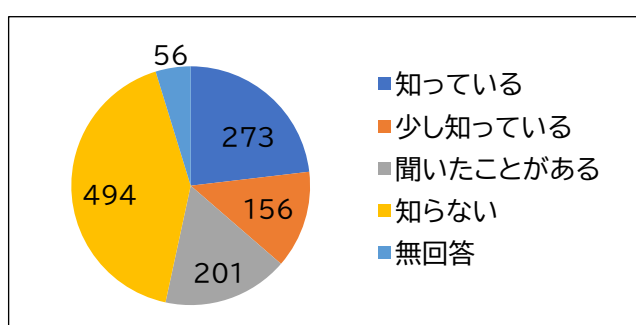
1	登録している	47
2	知っているが登録していない	88
3	聞いたことがある	110
4	知らない	871
5	無回答	64

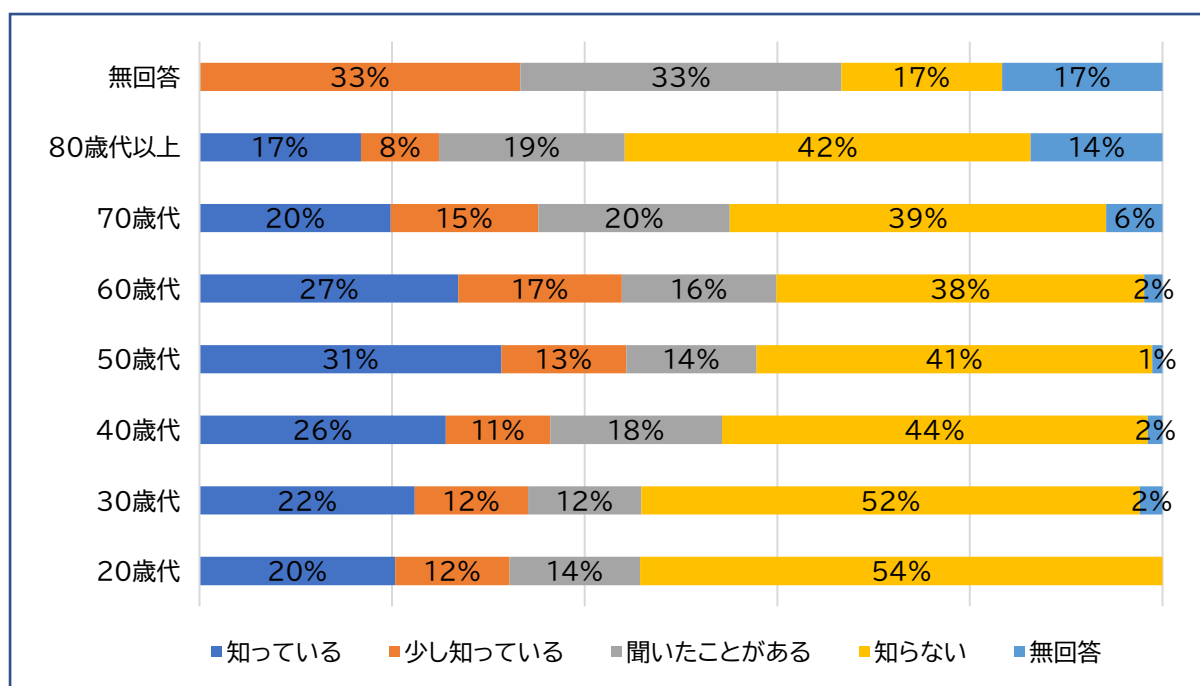


成年後見制度についてお答えください。

問 43 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(最も近いもの1つに○)

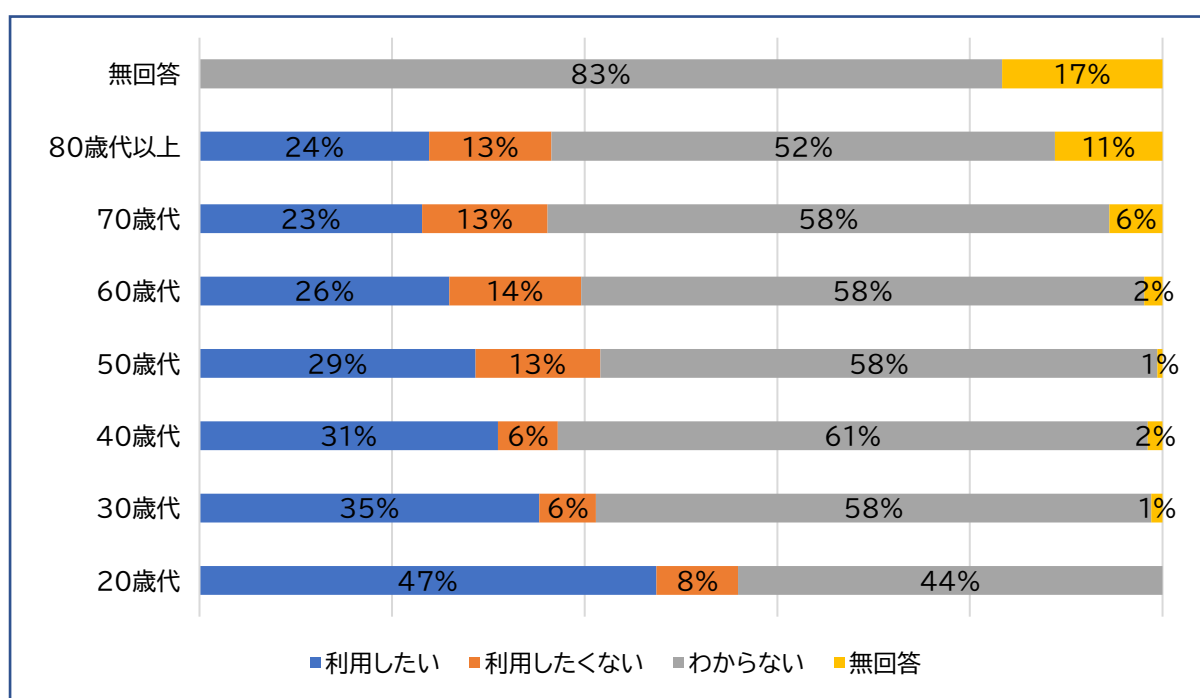
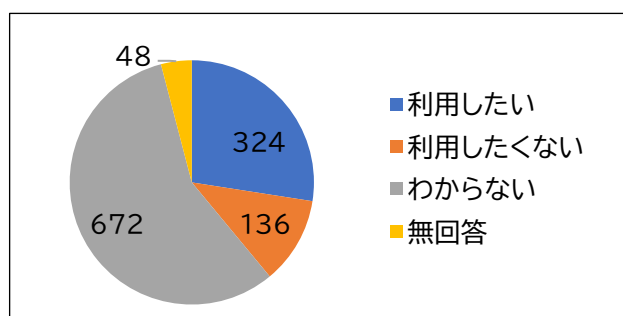
1	知っている	273
2	少し知っている	156
3	聞いたことがある	201
4	知らない	494
5	無回答	56





問 44 あなたやあなたの家族が、判断能力が十分でなくなってきた場合に、成年後見制度を利用したいと思いますか。(最も近いもの1つに○)

1	利用したい	324
2	利用したくない	136
3	わからない	672
4	無回答	48

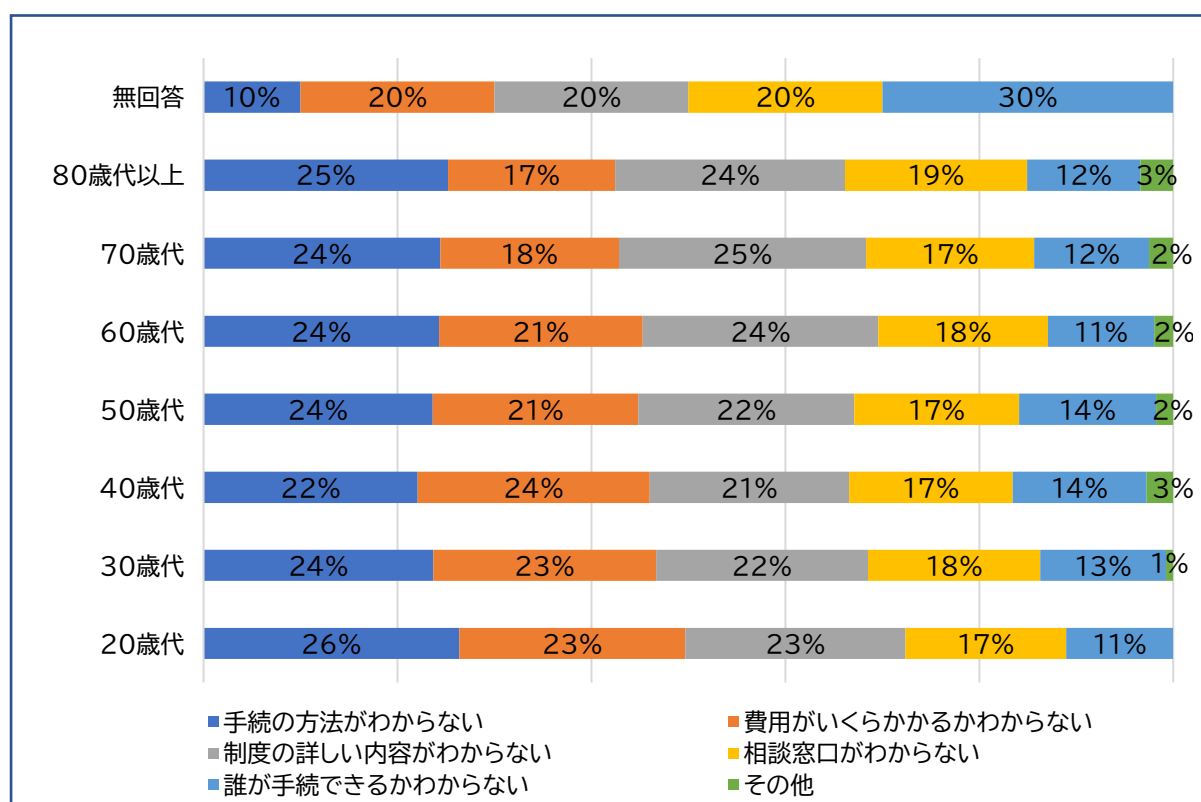
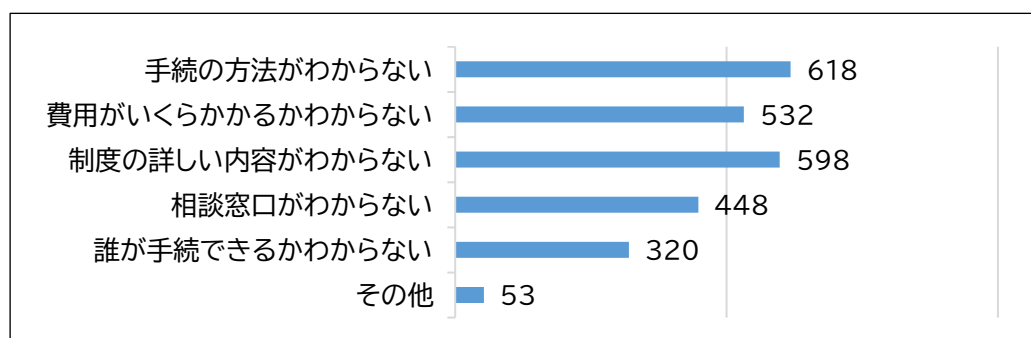


問 45 成年後見制度を利用したいと思った時、どのようなことで困ると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	手続の方法がわからない	618
2	費用がいくらかかるかわからない	532
3	制度の詳しい内容がわからない	598
4	相談窓口がわからない	448
5	誰が手続できるかわからない	320
6	その他	53

その他

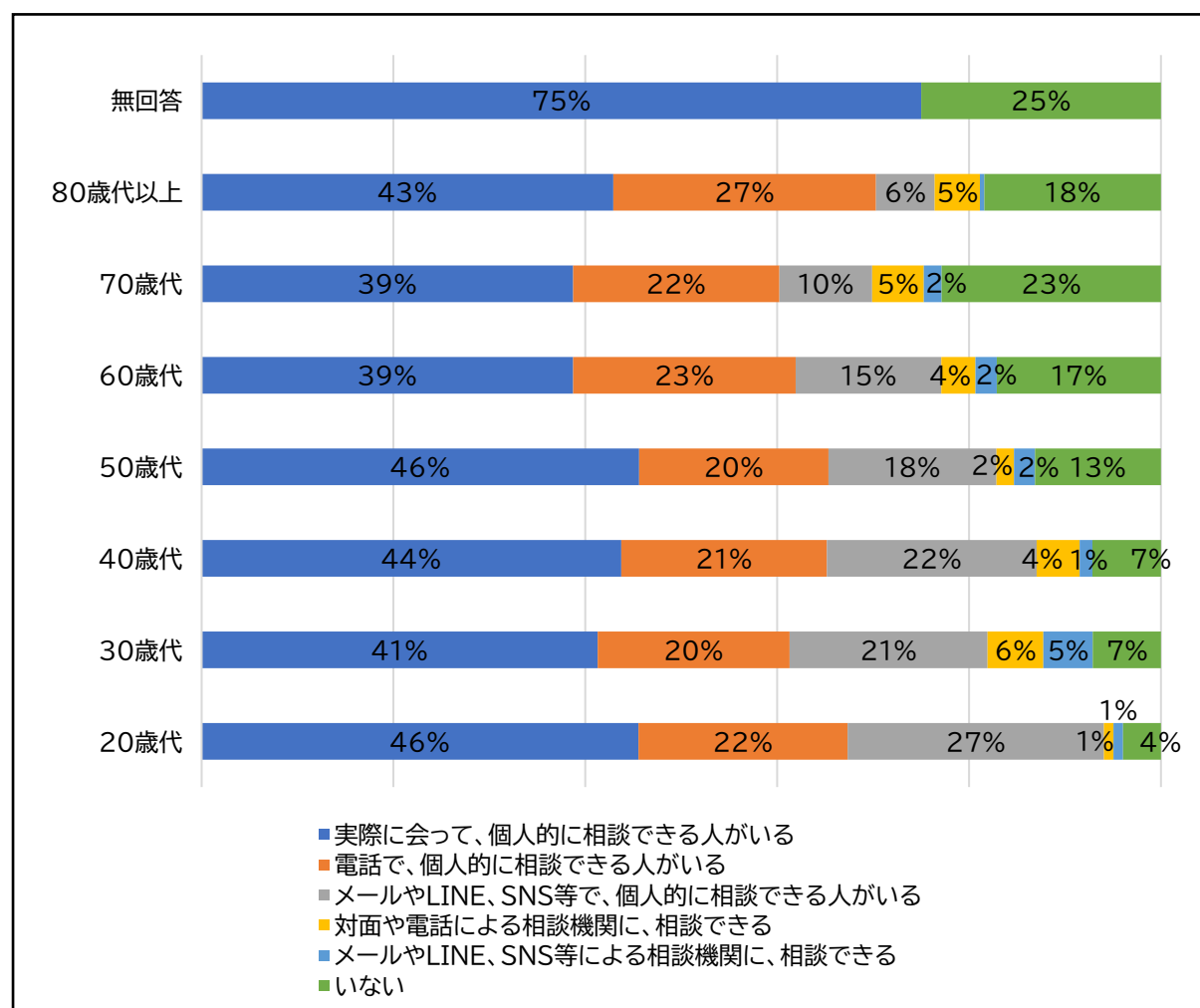
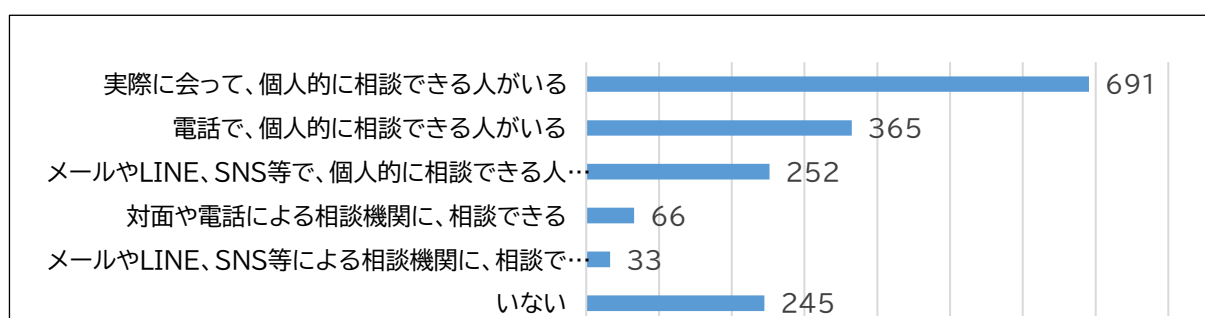
- ・後見人の方の信用問題
- ・後見人選任に信頼がおけない
- ・手続きが煩雑である
- ・手続きが複雑で時間とお金がかかる



あなたの悩みやストレスに関することについてお答えください。

問 46 あなたの不満や悩みやつらい気持ちを受け止め、耳を傾けてくれる人はいると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1	実際に会って、個人的に相談できる人がいる	691
2	電話で、個人的に相談できる人がいる	365
3	メールや LINE、SNS 等で、個人的に相談できる人がいる	252
4	対面や電話による相談機関に、相談できる	66
5	メールや LINE、SNS 等による相談機関に、相談できる	33
6	いない	245

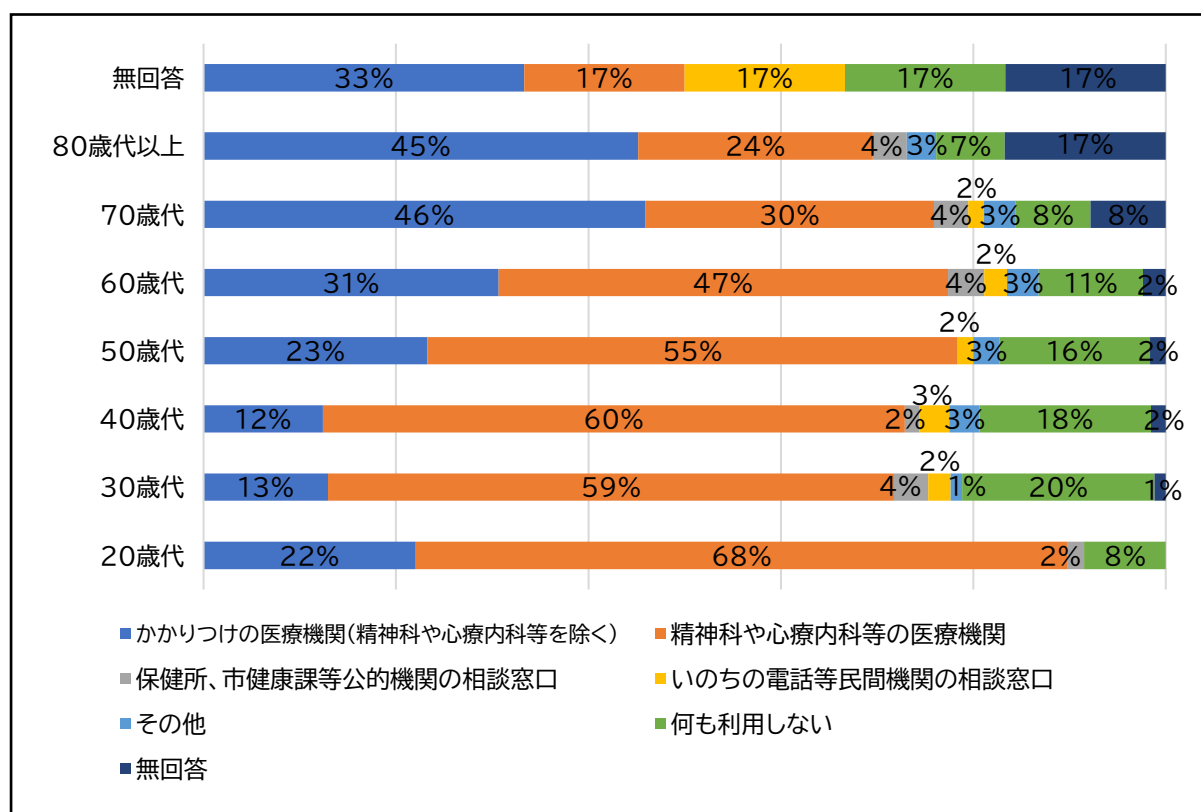
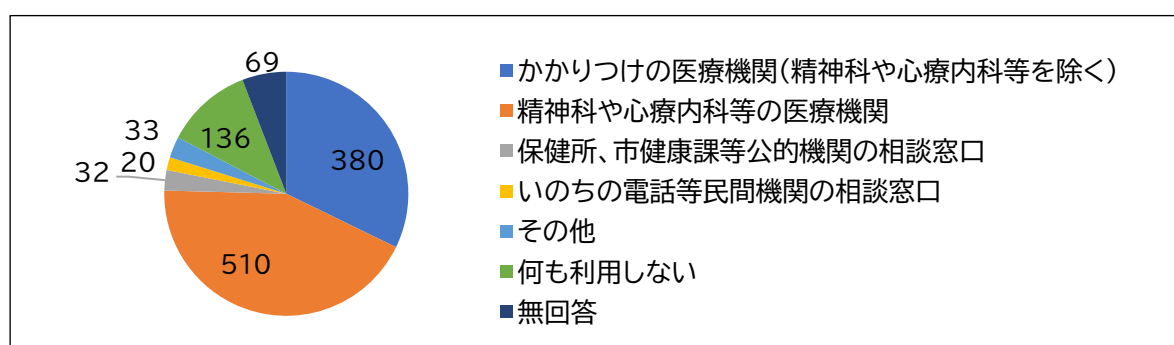


問47 あなたが自分自身の「うつ病のサイン」に気づいたら、以下の専門の相談窓口のうち、どれを利用したいと思いますか。(最も近いもの1つに○)

1	かかりつけの医療機関(精神科や心療内科等を除く)	380
2	精神科や心療内科等の医療機関	510
3	保健所、市健康課等公的機関の相談窓口	32
4	いのちの電話等民間機関の相談窓口	20
5	その他	33
6	何も利用しない	136
7	無回答	69

その他

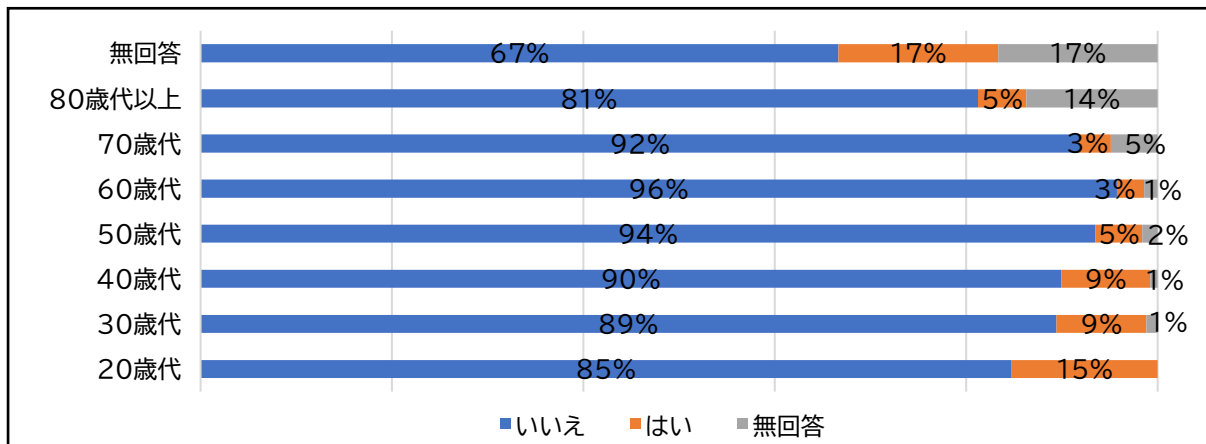
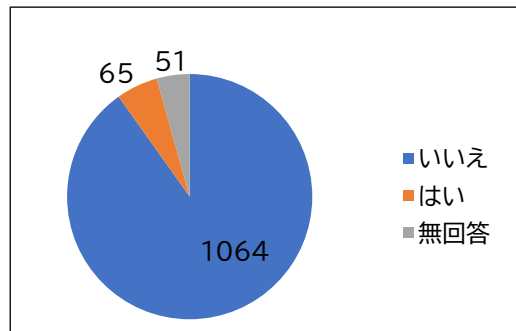
- ・サポートネットなどでチャット形式で対話したい。その後、必要であればカウンセリングのステップだと安心できる。
- ・なった時でないとわからないと思います。
- ・どうしたらいいかわからない



自殺対策に関することについてお答えください。

問48-1 あなたは、最近1年以内に自殺したいと思ったことがありますか。(いずれか1つに○)

1	いいえ	1064
2	はい	65
3	無回答	51

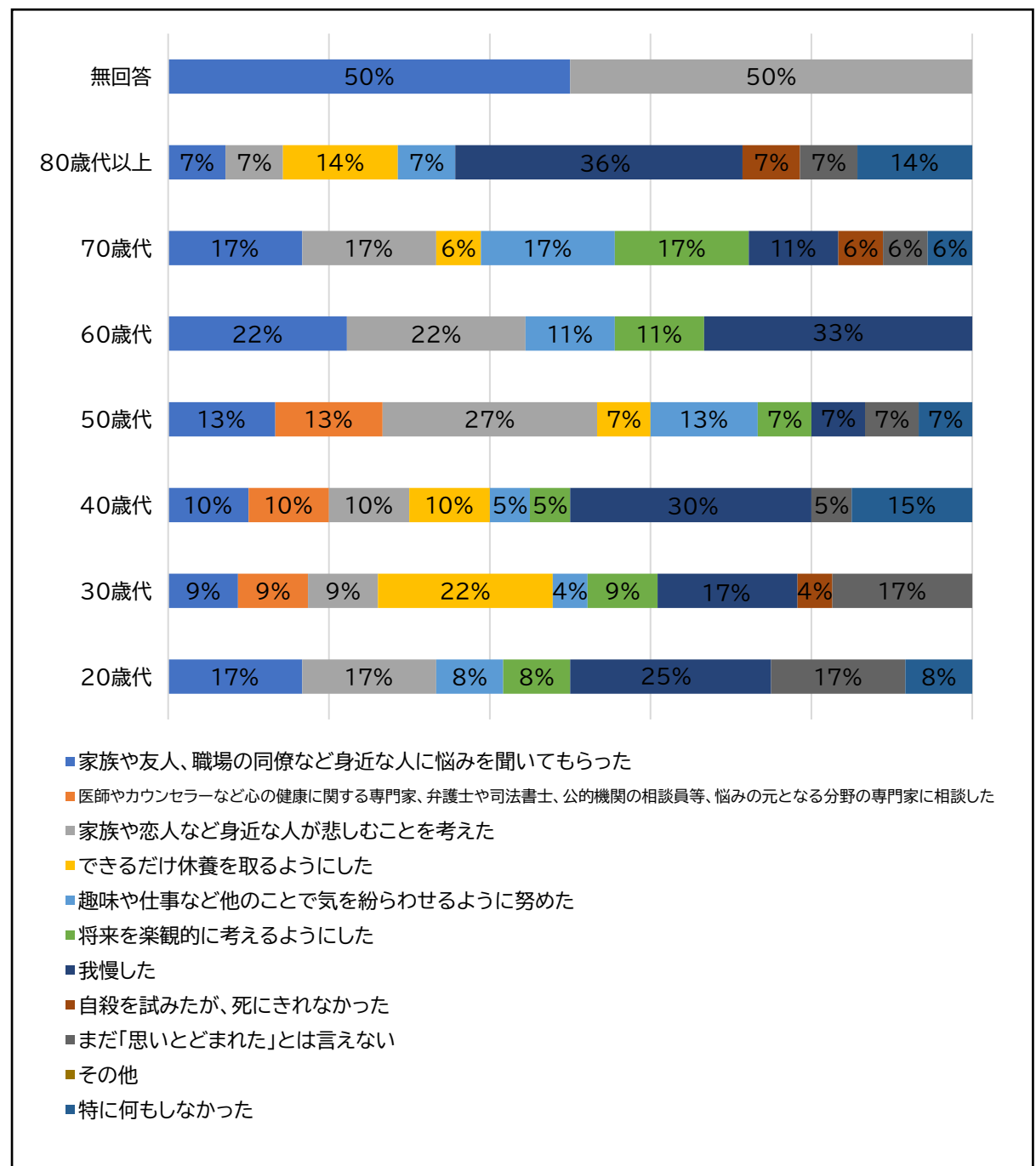
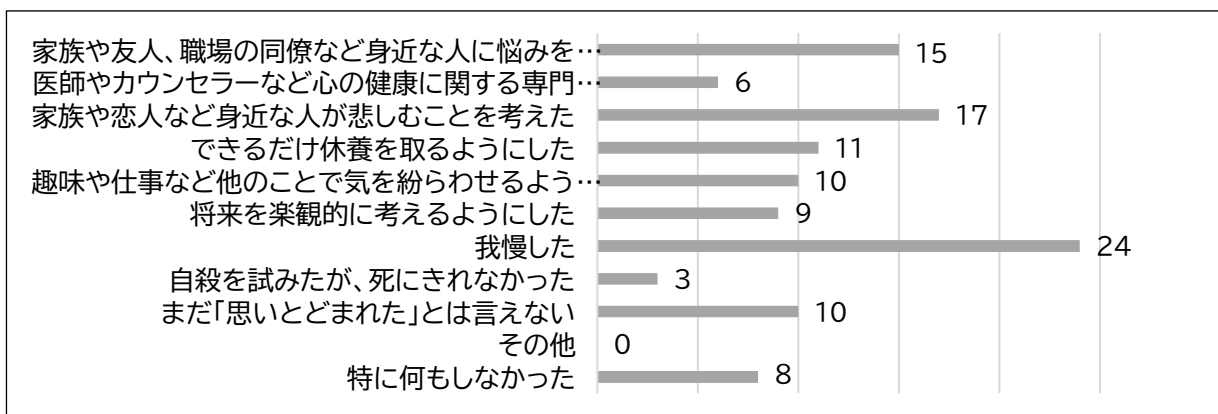


→ 1を選んだ人は問48-3へ

→ 2を選んだ人は問48-2、48-3へ

問48-2 あなたがそのように考えたとき、どのようにして自殺を思いとどまりましたか。(あてはまるものすべてに○)

1	家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった	15
2	医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家、弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した	6
3	家族や恋人など身近な人が悲しむことを考えた	17
4	できるだけ休養を取るようにした	11
5	趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた	10
6	将来を楽観的に考えるようにした	9
7	我慢した	24
8	自殺を試みたが、死にきれなかった	3
9	まだ「思いとどまれた」とは言えない	10
10	その他	0
11	特に何もしなかった	8

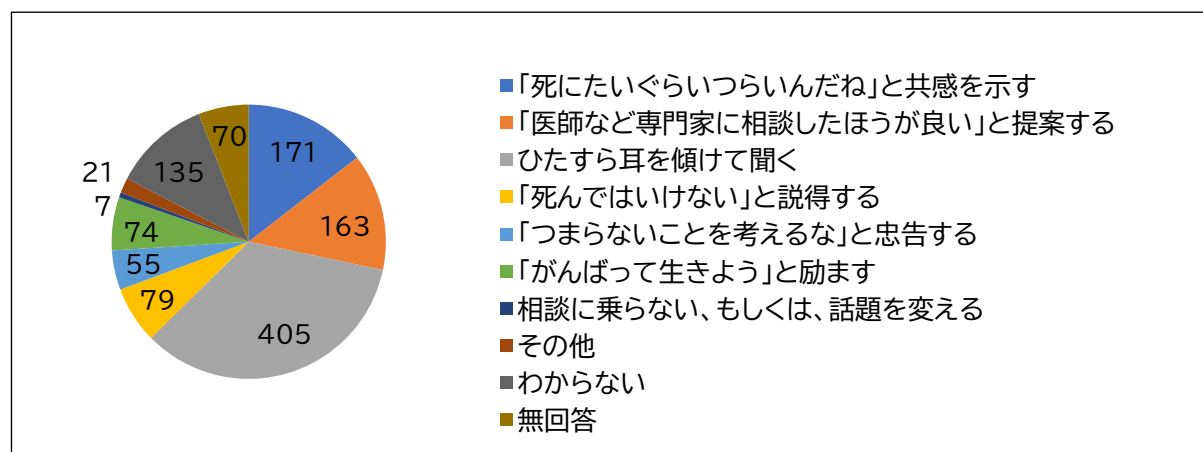


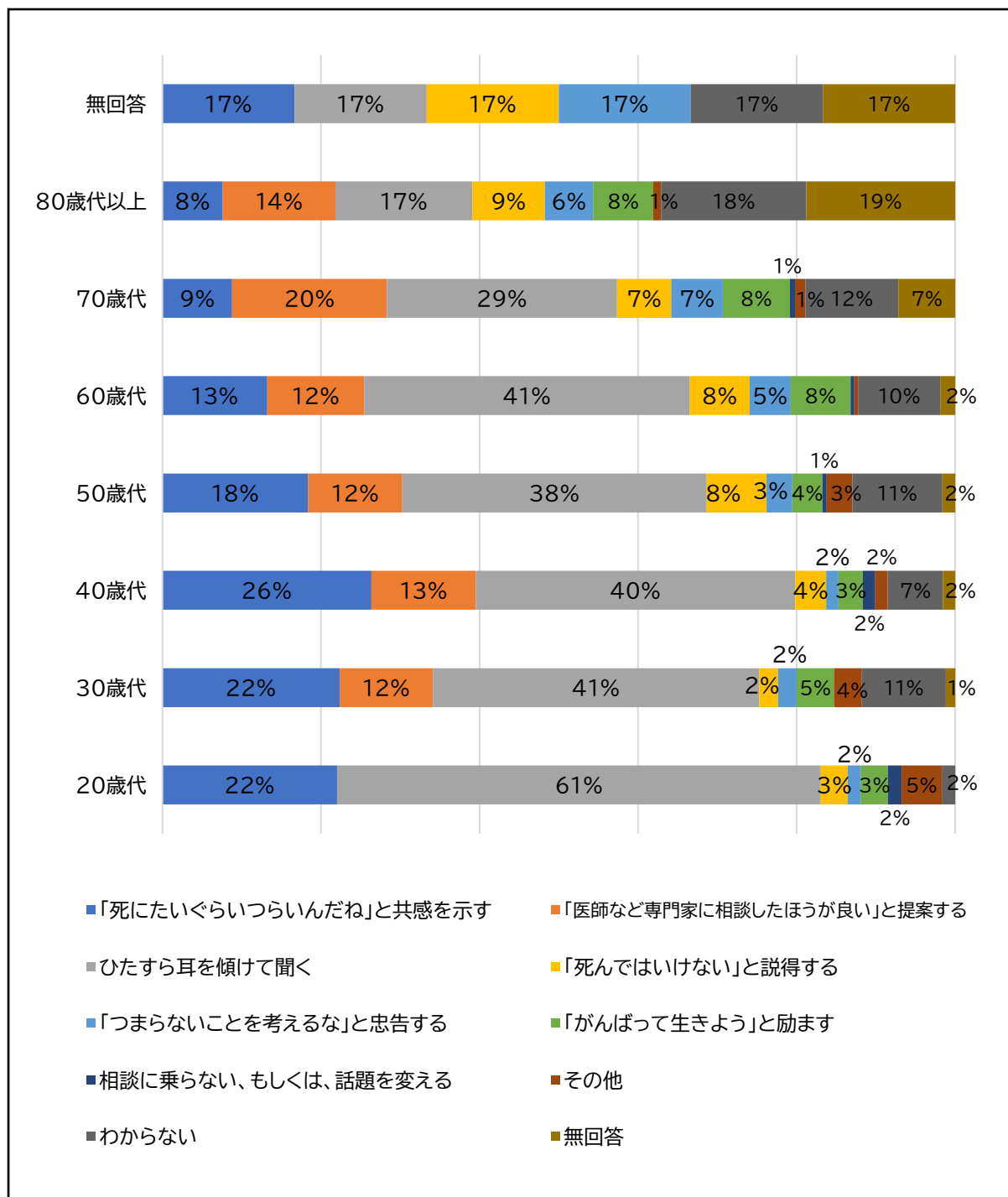
問48-3 あなたは、もしも身近な人から「死にたい」と打ち明けられたら、どう対応するのが良いと思いますか。(最も近いもの1つに○)

1	「死にたいぐらいつらいんだね」と共感を示す	171
2	「医師など専門家に相談したほうが良い」と提案する	163
3	ひたすら耳を傾けて聞く	405
4	「死んではいけない」と説得する	79
5	「つまらないことを考えるな」と忠告する	55
6	「がんばって生きよう」と励ます	74
7	相談に乗らない、もしくは、話題を変える	7
8	その他	21
9	わからない	135
10	無回答	70

その他

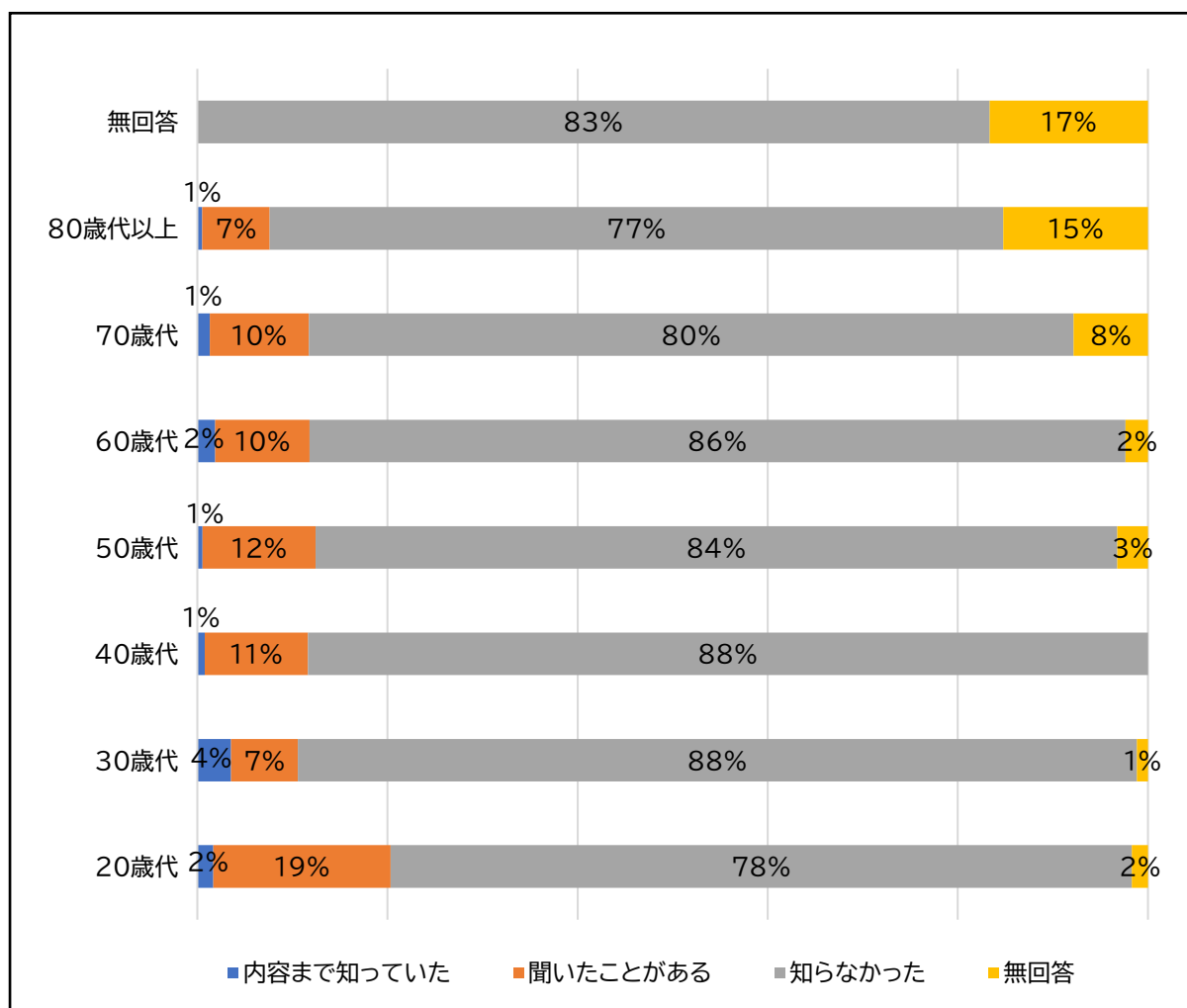
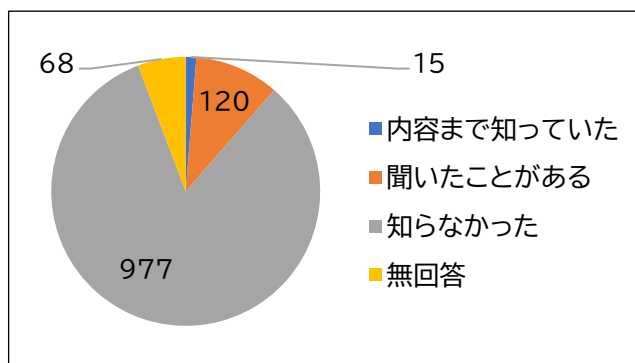
- ・共感を示し、その後仕事や趣味等、気持ちを外の事に持っていく
- ・おもしろい事を言って笑わす
- ・一緒に楽しいことをする
- ・解決策を一緒に考える
- ・一緒に病院に行く、付き添う





問 49 あなたは自殺対策におけるゲートキーパー(自殺のサインに気づき、適切な対応を取れる人)を知っていましたか。(いずれか1つに○)

1	内容まで知っていた	15
2	聞いたことがある	120
3	知らなかった	977
4	無回答	68

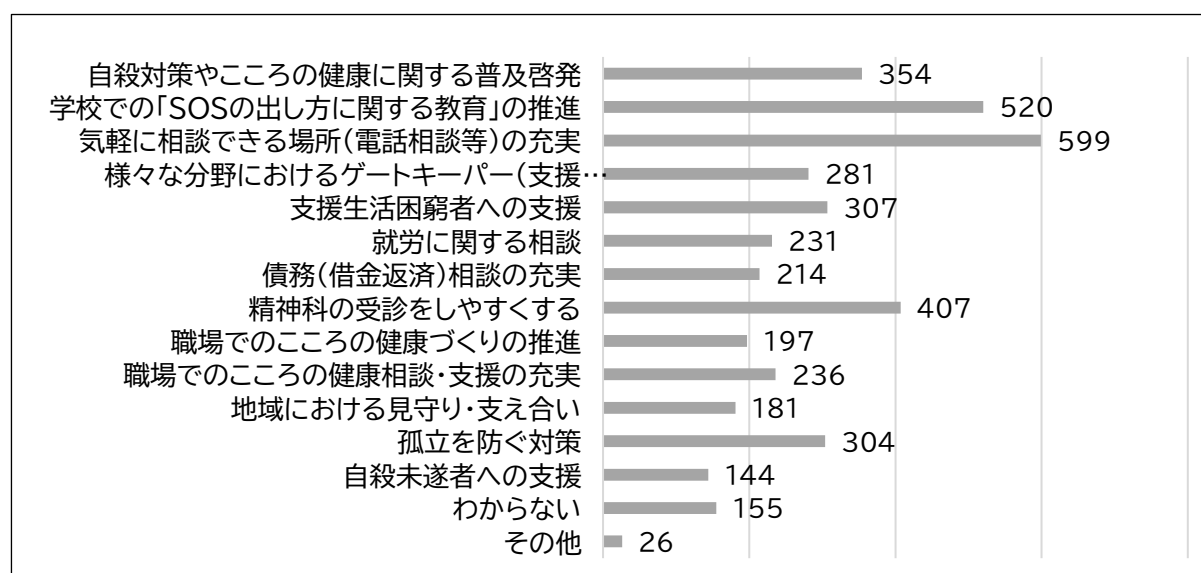


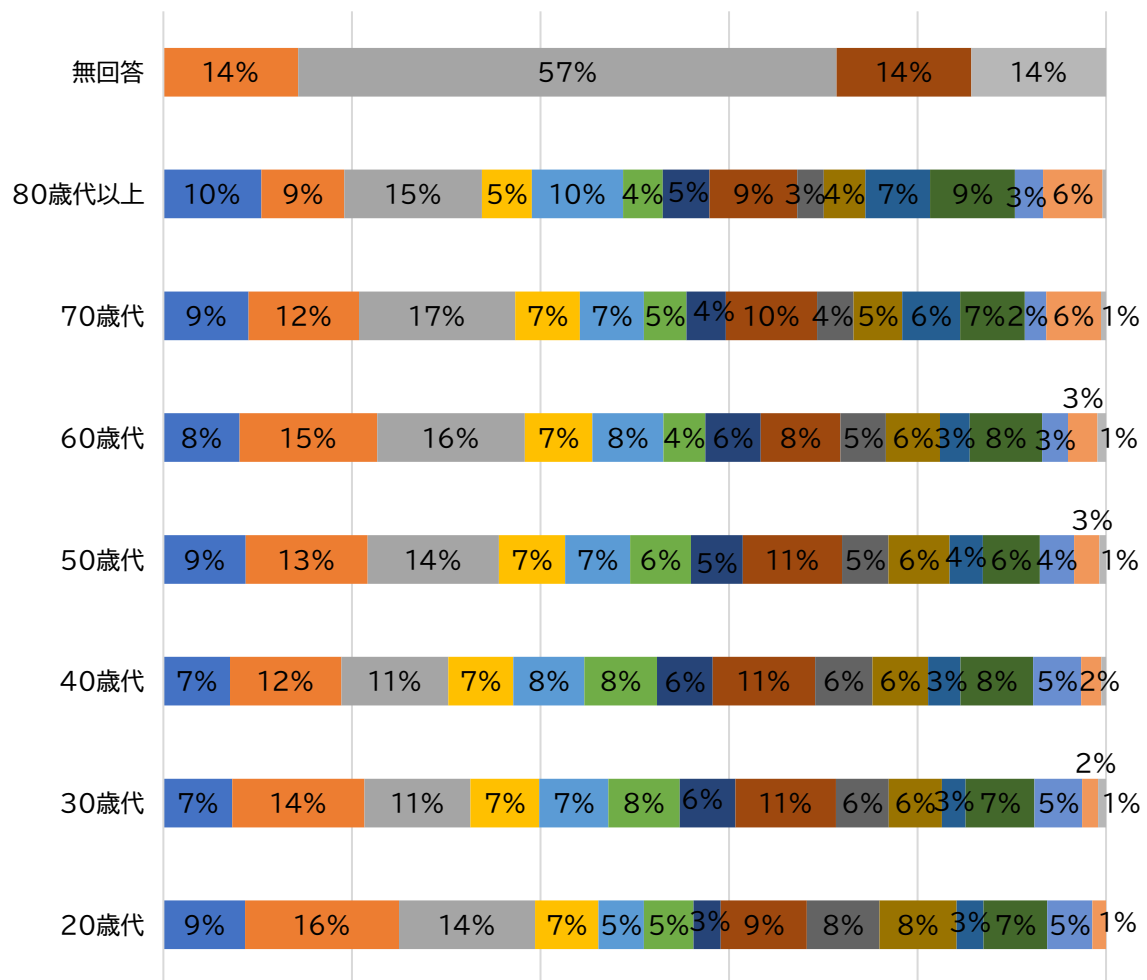
問50 今後、どのような自殺対策が必要になると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	自殺対策やこころの健康に関する普及啓発	354
2	学校での「SOS の出し方に関する教育」の推進	520
3	気軽に相談できる場所(電話相談等)の充実	599
4	様々な分野におけるゲートキーパー(支援者、教師、職場の上司、かかりつけ医等の相談に応じる人)への研修	281
5	支援生活困窮者への支援	307
6	就労に関する相談	231
7	債務(借金返済)相談の充実	214
8	精神科の受診をしやすくする	407
9	職場でのこころの健康づくりの推進	197
10	職場でのこころの健康相談・支援の充実	236
11	地域における見守り・支え合い	181
12	孤立を防ぐ対策	304
13	自殺未遂者への支援	144
14	わからない	155
15	その他	26

その他

- ・自殺したいと追い込んだ方へのカウンセリング
- ・自殺したい原因によって対応が違うのでは
- ・精神科の受診、予約制ばかりで当日受診を増やしてほしい(加賀市は全滅だった)





- 自殺対策やこころの健康に関する普及啓発
- 学校での「SOSの出し方に関する教育」の推進
- 気軽に相談できる場所(電話相談等)の充実
- 様々な分野におけるゲートキーパー(支援者、教師、職場の上司、かかりつけ医等の相談に応じる人)への研修
- 支援生活困窮者への支援
- 就労に関する相談
- 債務(借金返済)相談の充実
- 精神科の受診をしやすくする
- 職場でのこころの健康づくりの推進
- 職場でのこころの健康相談・支援の充実
- 地域における見守り・支え合い
- 孤立を防ぐ対策
- 自殺未遂者への支援
- わからない
- その他

問51 福祉に関するご意見や、日常生活でお困りのこと、こういうところをこうすれば、もっと住みやすくなるのではないかとといった点など、ご自由にお書きください。

(一部抜粋)

- ・病院に通院していない高齢者などは、介護保険のサービスとか制度のことを知らない。特に単身の高齢者に対してはそういった情報をもっと発信すべきだと思う。
- ・本当に一人で生活している 70 歳以上の住宅に大丈夫か、困りごとはないかなど、10 日に 1 回ぐらい見回ってくださると大変助かると思います。
- ・介護用タクシーを利用するための支援。介護用タクシーをもっと増やしてほしい。
- ・福祉施設の高齢者だけではなく、他の障害者への利便性をよくしてほしい。ケースワーカーやケアマネの人をもっと増やしてほしい。
- ・車を使わなくなった時、買い物、通院等が心配。公共の交通網の整備をしてほしい。
- ・相談窓口まで行けない人をどうやって発見し、手当てにいくのか？内にこもる人は何も言わないし、何も発信しない。
- ・シングルマザーなので地域の活動などはなかなか参加しにくく、家を空けることもできない状態です。引っ越してきて1・2年ほどなので、隣近所の方しかわからず、周辺にどんな方が住んでいるかもわかりません。いざ困った時、どうすればいいか少し不安に思うことはあります。
- ・障害を持つ子供がいます。担当の相談支援員がいますが、何年も連絡してこなかったりで全く意味がありません。支援員の数も足りてないようですし、知識もあまりなかったりで機能していません。
- ・組織や意識付けで問題の解決にならない。絵に描いた餅にならないよう願う
- ・近所に空き家や空き地が多くあり、草が生え放題、持ち主がわからず大変迷惑しています。市は区長さんを通じてそういう場所を見回り、解決に向けてやってほしいです。
- ・私事でいうと、祖母の介護について母ともめます。私は孫です。要介護4で独居には先がありません。つらいです…誰か間に入ってほしい、もう少しがんばれますが、いつまでもつか…施設を利用するメリットをもっと知らしめてほしい。姥捨て感覚の世代が強い。
- ・どこに困った人に対して相談してくれる人がいると。オープンにして(名前を出して)ほしいと思います。
- ・加賀市は車社会なので、免許返納後で困っている人を見る。(今後、自分も困ると思う)返納後の交通手段の確保を早期に考えて実現してほしい
- ・ちょうどコロナの流行時期に出産したのでイベントや同じ親同士の交流もなく保育園も親の交流がないので孤独感？みたいなを感じる事がある。しょうがないのですが…
- ・地域での支え合いや福祉課題の解決という問題は人材の確保と育成が一番の課題ではないでしょうか。自助・共助の機運の高まりが大切と考える行政の知恵に期待します。
- ・一人暮らしの母親をみていましたが福祉施設に入所して8年、今年 9 年目をと思っていた春、老衰の為亡くなりました。その間に思った事は本当に加賀市は福祉に関して充実しているなど本当にお世話になり有難かったです。